

2022 年度 滋賀医科大学

学修・学生生活実態調査報告書



医学・看護学教育センター

CONTENTS

はじめに	_____	2
調査概要	_____	3
学生生活編	_____	4
I. 回収率	_____	5
II. 生活について	_____	6
III. 交友関係について	_____	23
IV. 学業について	_____	25
V. 図書館の利用について	_____	40
VI. 課外活動について	_____	42
VII. 卒業後の進路について	_____	46
学修状況編	_____	49
自由記述編	_____	76

はじめに

本調査（学生生活実態調査）は、本学における学生生活のうち、「住居、経済生活、交友関係、学内施設の利用、課外活動、卒業後の進路」などについてその実情を把握し、学生生活の一層の向上及び修学上の支援、福利厚生の改善等への参考資料とすることを目的として2006年度に始まり、今回で17回目の実施となりました。2019年度調査から従来、医療人育成教育研究センター教育方法改善部門（医学・看護学教育センター内に包括）において実施していた「学習に関する実態調査」と統合し、学生の皆さんの様子を正課教育・正課外教育それぞれの側面から包括的に把握できるようにしました。

今回は新型コロナウイルス感染拡大状況下での調査となり、全体として約30%の回答に留まりましたが、今後も、学生の皆さんの意見をより多く集められるよう、調査方法などを改善していきたいと考えています。

前回に引き続き、自由記述分は記名式としましたが、今回も大学の課題やの改善方法について建設的なご提案を多数いただきました。寄せられた意見に対して、大学の各部署でしっかりと検討し、対応を進めていきます。

滋賀医科大学は常に学生の皆さんの教育や支援を主軸として施設や各種制度の改善を行っており、2024年度の開学50周年に向けて学生の皆さんのご意見も取り入れながら学内施設の改修を計画しています。また、新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じて、昨年度に引き続きハイフレックス講義を実施しました。こうした学内や社会情勢の変化に呼応して、学生の皆さんの要望にも変化が出てくると思います。

今後も、学生の皆さんからの様々な要望や意見を大学運営に取り込み、適切に学生支援に反映することで、修学上の支援や福利厚生改善、学生生活の向上をめざしていきます。

医学・看護学教育センター長

松浦 博

調査概要

本調査は、平成 16 年 7 月に医療人育成教育研究センター学生生活支援部門会議内に設置された専門委員会において検討を行い、平成 18 年度から開始した。以降、毎年実施し、滋賀医科大学における学生生活のうち、「住居・経済生活・交友関係・学内施設の利用・課外活動・卒業後の進路」などについてその実態を把握し、学生生活の一層の向上及び就学上の指導、福利厚生への改善等への参考資料とすることを目的としている。

また、2018 年度調査から、従来医療人育成教育研究センター教育方法改善部門において実施していた「学習に関する実態調査」と統合され、本学学生の実態を正課教育・正課外教育それぞれの側面から包括的に捉えることを可能とした。

調査期間

2022 年 4 月 1 日（金）～2022 年 5 月 9 日（月）

調査方法

調査はマークシートと記名式の自由記述にて行い、4 月の在学生オリエンテーション時に調査票を配付した。

調査対象

2022 年 4 月 1 日時点で在籍している学部学生（令和 4 年度新入生及び休学者は除く）。

※ 設問の内容を踏まえ、調査対象から新入生及び休学者を除いた全学部学生とした。

2022 年 4 月 1 日現在

調査対象	第 2 学年	第 3 学年	第 4 学年	第 5 学年	第 6 学年	計
医学科	109	127	142	142	128	648
看護学科	59	61	58			178
計	168	188	200	142	128	826

調査項目

次の 9 項目で構成

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| (1)基本項目 | (2)生活について |
| (3)交友関係について | (4)学業について |
| (5)図書館の利用について | (6)課外活動について |
| (7)卒業後の進路について | (8)「学修に関する実態調査」調査項目（記述式） |
| (9)大学への意見・要望（自由記述） | |

2022 年度

学修・学生生活実態調査

学生生活編

学生生活編では、「基本項目・生活について・交友関係について・学業について・図書館の利用について・課外活動について・卒業後の進路について」の学生生活に関連する7項目からなる選択式の設問を統計的に集計した結果を項目ごとに掲載しています。

I. 回収率

今年度の調査票回収率は、32.6%（医学科 26.1%、看護学科 56.2%）であった。

学科	学年	学生数	総提出数	提出率
医学科	1年生	-	-	-
	2年生	109	51	46.8%
	3年生	127	46	36.2%
	4年生	142	40	28.2%
	5年生	142	6	4.2%
	6年生	128	26	20.3%
医学科計	小計	648	169	26.1%
看護学科	1年生	-	-	-
	2年生	59	39	66.1%
	3年生	61	44	72.1%
	4年生	58	17	29.3%
看護学科計	小計	178	100	56.2%
全体計		826	269	32.6%

(参考：入学区分別)

学科	学年	推薦		前期	編入	計
		一般	地域			
医学科	1年生	—	—	—	—	0
	2年生	14	3	34	—	51
	3年生	8	5	20	13	46
	4年生	10	1	22	7	40
	5年生	1	0	4	1	6
	6年生	2	5	12	7	26
	小計	35	14	92	28	169
看護学科	1年生	—	—	—	—	0
	2年生	11	0	28	—	39
	3年生	9	0	35	—	44
	4年生	1	0	16	—	17
	小計	21	0	79	0	100
全体計		56	14	171	28	269

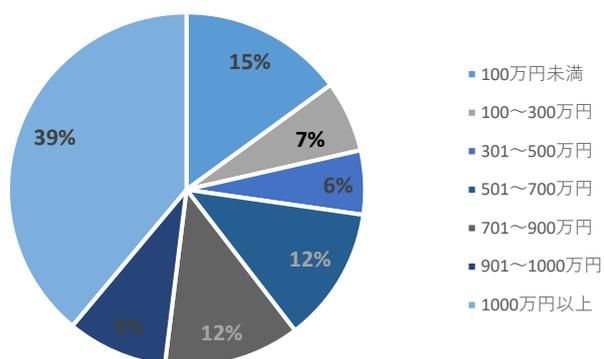
Ⅱ. 生活について

<家庭の年収>

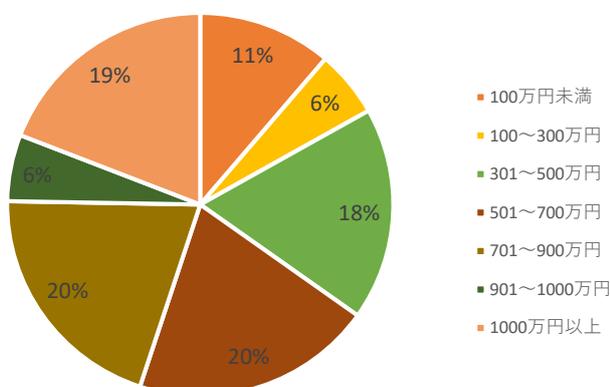
医学科は1000万円以上、看護学科は501～700万円、701～900万円の世帯が最も多かった。

	医学科		看護学科		計	
100万円未満	23	14.9%	10	11.2%	33	13.6%
100～300万円	10	6.5%	5	5.6%	15	6.2%
301～500万円	9	5.8%	16	18.0%	25	10.3%
501～700万円	19	12.3%	18	20.2%	37	15.2%
701～900万円	19	12.3%	18	20.2%	37	15.2%
901～1000万円	14	9.1%	5	5.6%	19	7.8%
1000万円以上	60	39.0%	17	19.1%	77	31.7%
計	154	100.0%	89	100.0%	243	100.0%

家庭の年収（医学科）



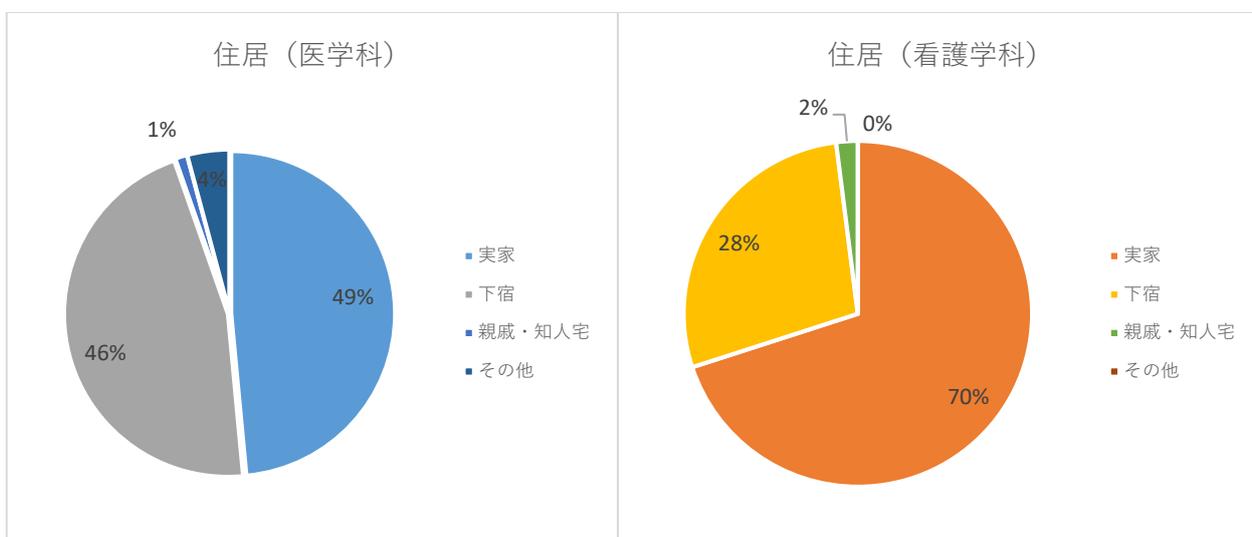
家庭の年収（看護学科）



<住居>

医学科では半数以上の学生が下宿をしており、一方で看護学科では自宅通学が7割を超えていた。

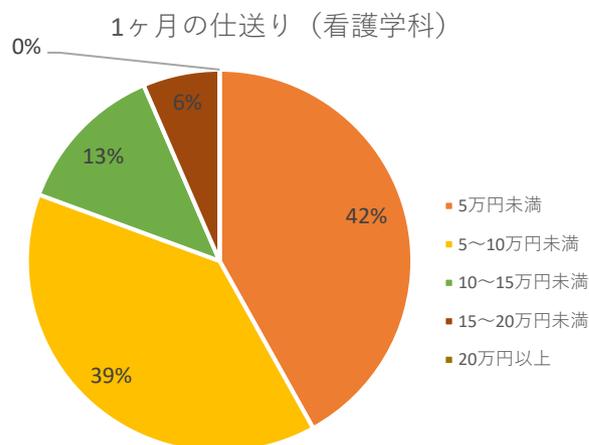
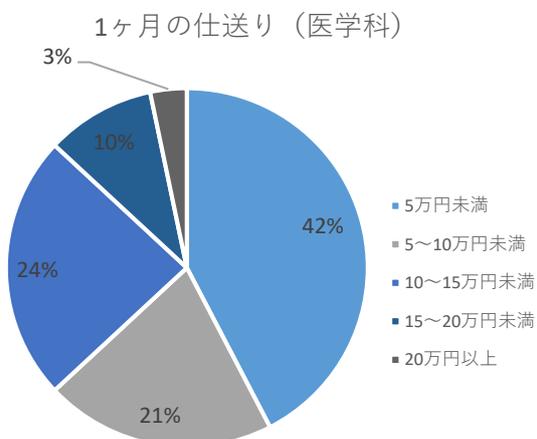
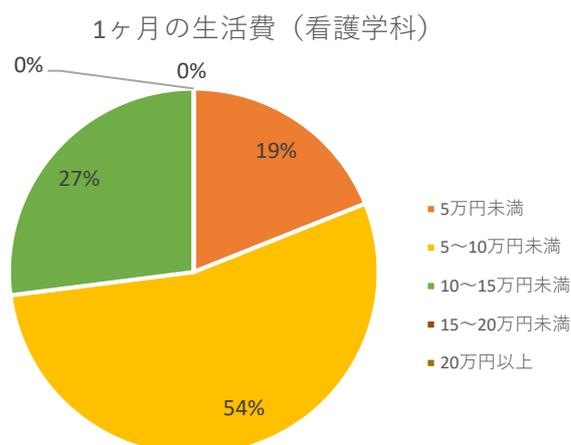
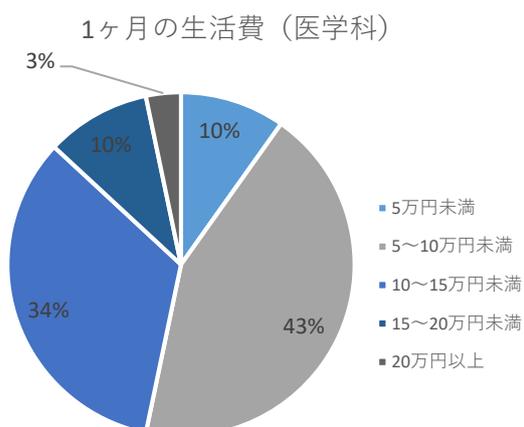
	医学科		看護学科		計	
実家	82	48.5%	70	70.0%	152	56.5%
下宿	78	46.2%	28	28.0%	106	39.4%
親戚・知人宅	2	1.2%	2	2.0%	4	1.5%
その他	7	4.1%	0	0.0%	7	2.6%
計	169	100.0%	100	100.0%	269	100.0%



<生活費・仕送り>

下宿生における1ヶ月の生活費は5～10万円が大多数であり、保護者からの仕送りは医学科・看護学科ともに5万円未満が最も多い状況であった。

		医学科		看護学科		計	
1ヶ月の生活費	5万円未満	9	9.8%	7	18.9%	16	12.4%
	5～10万円未満	40	43.5%	20	54.1%	60	46.5%
	10～15万円未満	31	33.7%	10	27.0%	41	31.8%
	15～20万円未満	9	9.8%	0	0.0%	9	7.0%
	20万円以上	3	3.3%	0	0.0%	3	2.3%
	計	92	100.0%	37	100.0%	129	100.0%
1ヶ月の仕送り	5万円未満	39	42.4%	13	41.9%	52	42.3%
	5～10万円未満	19	20.7%	12	38.7%	31	25.2%
	10～15万円未満	22	23.9%	4	12.9%	26	21.1%
	15～20万円未満	9	9.8%	2	6.5%	11	8.9%
	20万円以上	3	3.3%	0	0.0%	3	2.4%
	計	92	100.0%	31	100.0%	123	100.0%

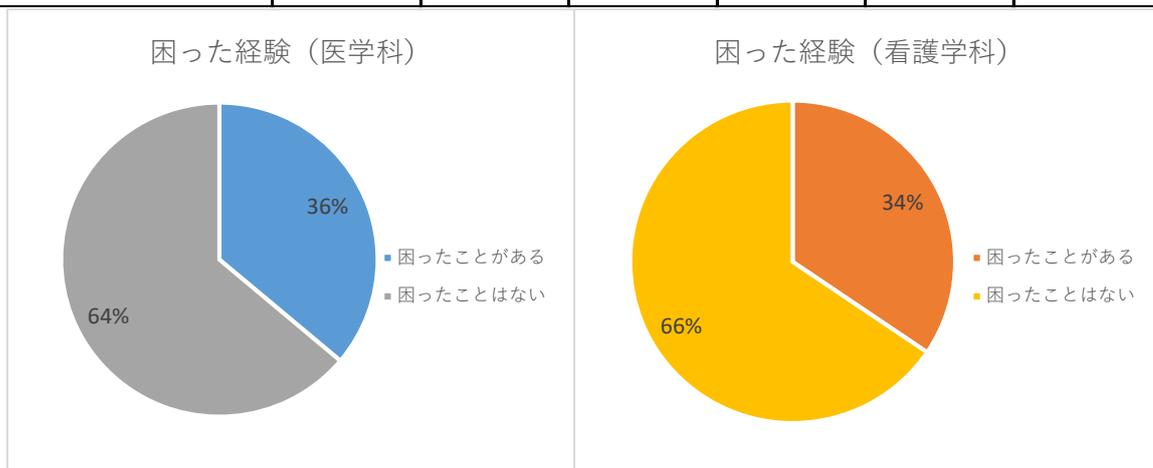


<一人暮らしで困った経験と援助>

下宿生のうち両学科ともに約 6 割の学生が、病気の時等に困った経験があり、困った際に援助したもらった相手を尋ねると、両学科ともに約 6 割が家族や友人の援助を受けることができているようであるが、一方で、医学科の学生では約 2 割、看護学科の学生では約 3 割の学生は援助を受けられていないようである。

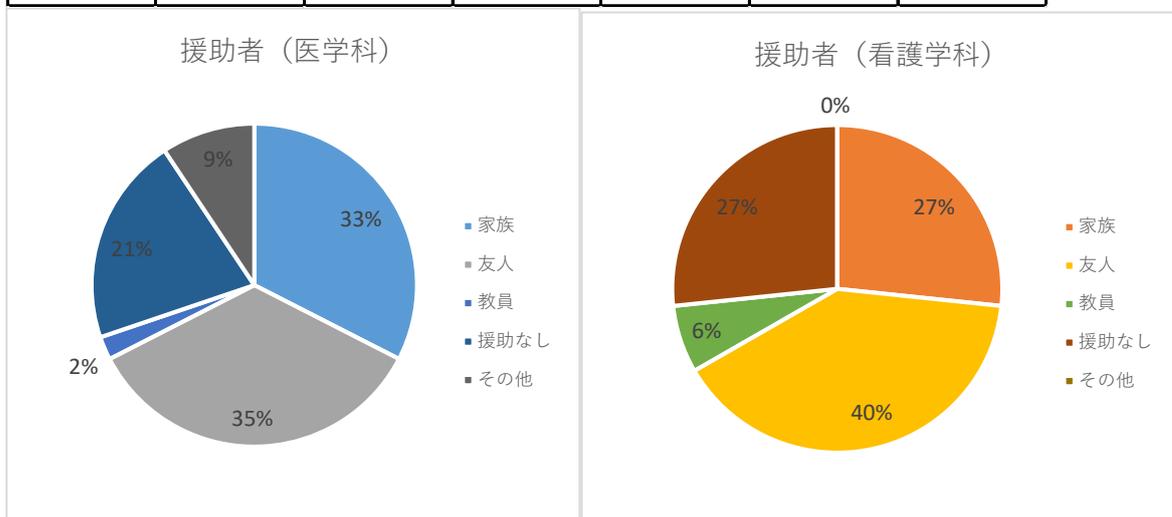
(困った経験)

	医学科		看護学科		計	
困ったことがある	30	36.1%	10	34.5%	40	35.7%
困ったことはない	53	63.9%	19	65.5%	72	64.3%
計	83	100.0%	29	100.0%	112	100.0%



(援助者)

	医学科		看護学科		計	
家族	14	32.6%	4	26.7%	18	31.0%
友人	15	34.9%	6	40.0%	21	36.2%
教員	1	2.3%	1	6.7%	2	3.4%
援助なし	9	20.9%	4	26.7%	13	22.4%
その他	4	9.3%	0	0.0%	4	6.9%
計	43	100.0%	15	100.0%	58	100.0%

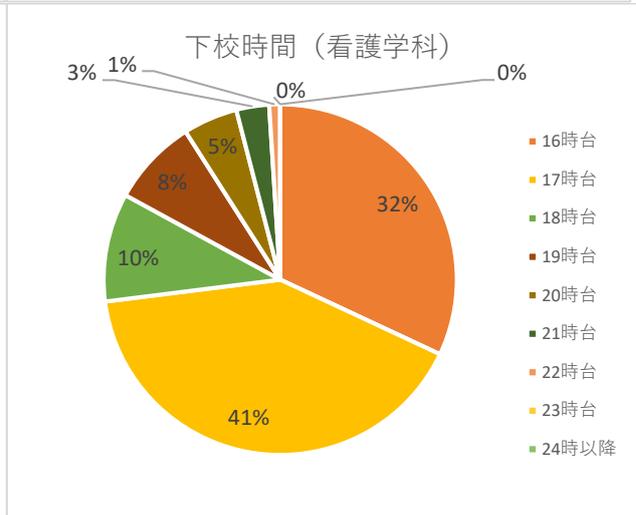
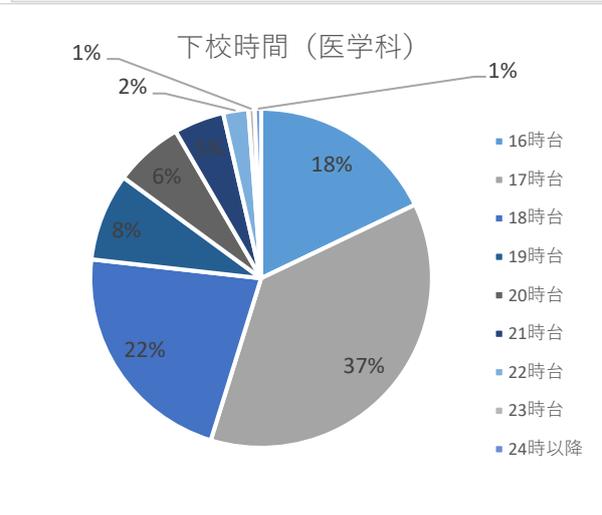
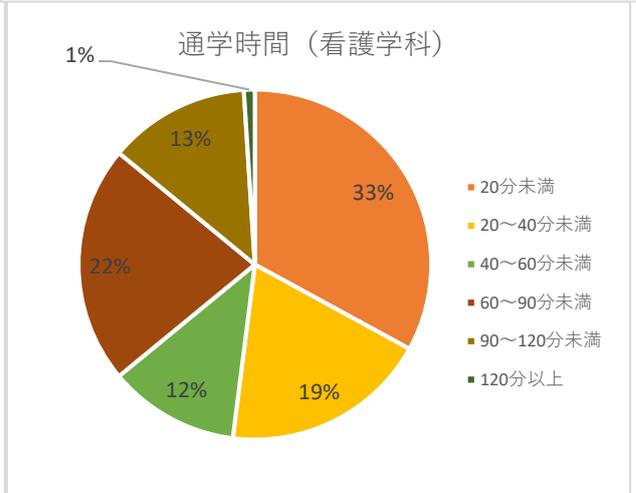
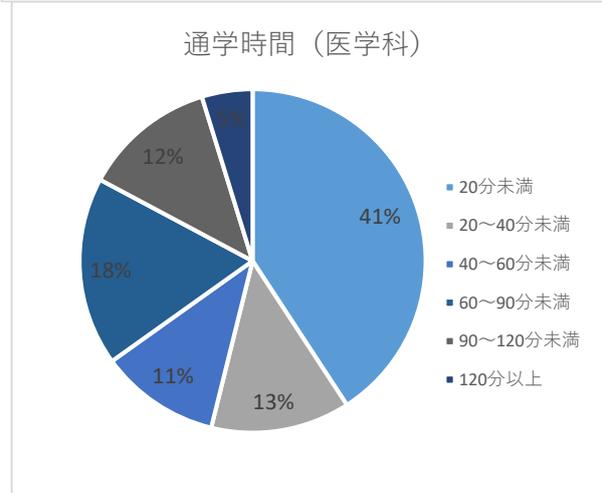
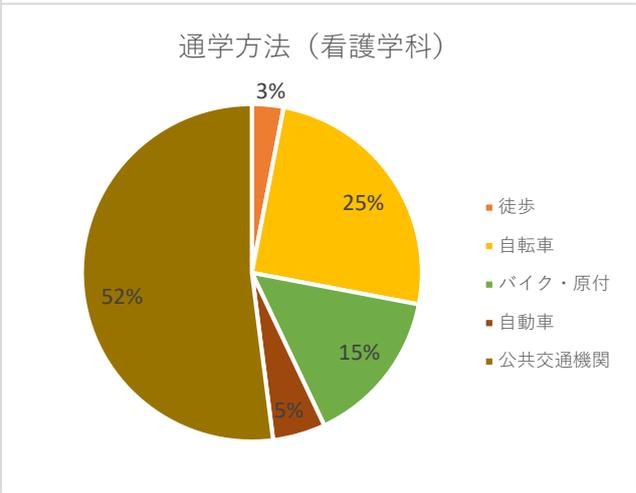
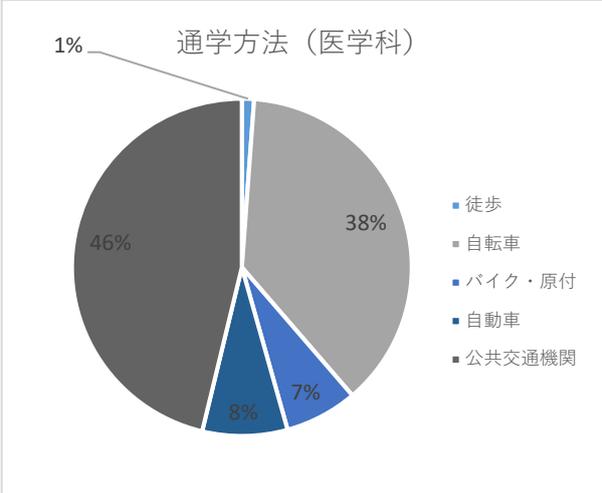


<通学方法等>

通学方法については、医学科では「公共交通機関」次いで、「自転車」が多く、看護学科では「公共交通機関」が半数以上を占めている。なお、通学時間については20分未満の学生が両学科とも最も多い。

また、下校時間については、ほとんどの学生が22時までには下校していることがわかるが、これは福利厚生施設や体育施設の利用時間を22時までとしていることや、瀬田駅までの最終バスが22時半前後であることが主な要因であると考えられる。

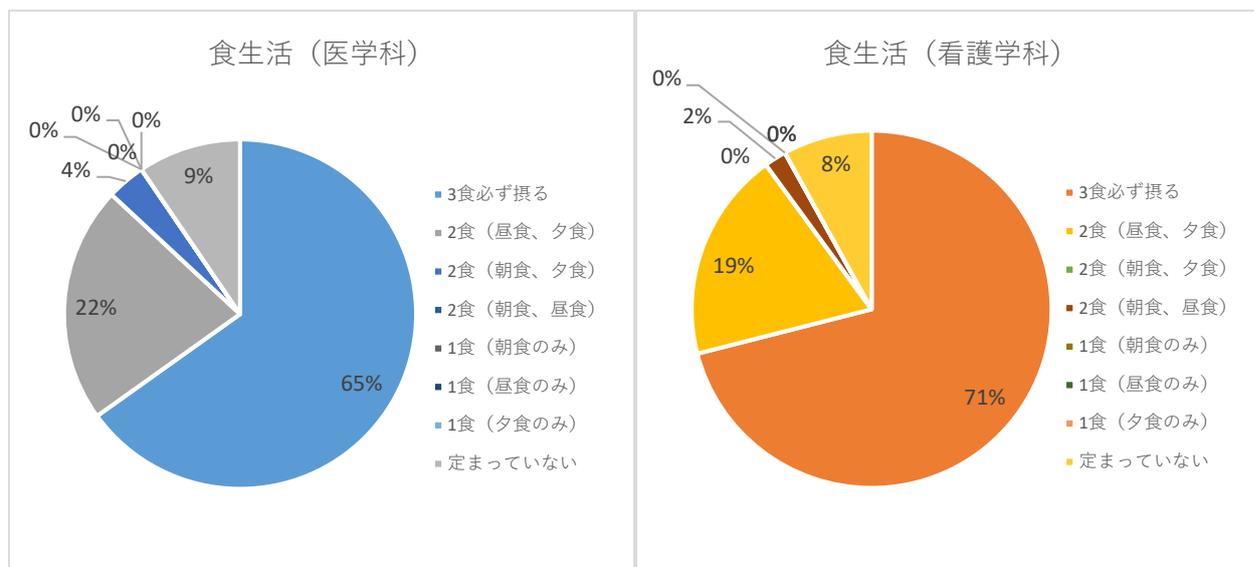
		医学科		看護学科		計	
通学方法	徒歩	2	1.2%	3	3.0%	5	1.8%
	自転車	65	37.6%	25	25.0%	90	33.0%
	バイク・原付	12	6.9%	15	15.0%	27	9.9%
	自動車	14	8.1%	5	5.0%	19	7.0%
	公共交通機関	80	46.2%	52	52.0%	132	48.4%
	計	173	100.0%	100	100.0%	273	100.0%
通学時間	20分未満	69	40.8%	33	33.0%	102	37.9%
	20～40分未満	22	13.0%	19	19.0%	41	15.2%
	40～60分未満	19	11.2%	12	12.0%	31	11.5%
	60～90分未満	30	17.8%	22	22.0%	52	19.3%
	90～120分未満	21	12.4%	13	13.0%	34	12.6%
	120分以上	8	4.7%	1	1.0%	9	3.3%
	計	169	100.0%	100	100.0%	269	100.0%
下校時間	16時台	30	17.9%	32	32.0%	62	23.1%
	17時台	62	36.9%	41	41.0%	103	38.4%
	18時台	37	22.0%	10	10.0%	47	17.5%
	19時台	14	8.3%	8	8.0%	22	8.2%
	20時台	11	6.5%	5	5.0%	16	6.0%
	21時台	8	4.8%	3	3.0%	11	4.1%
	22時台	4	2.4%	1	1.0%	5	1.9%
	23時台	1	0.6%	0	0.0%	1	0.4%
	24時以降	1	0.6%	0	0.0%	1	0.4%
	計	168	100.0%	100	100.0%	268	100.0%



<食事>

医学科では6割超、看護学科では7割超の学生が3食摂取している一方で、1割弱の学生は食事の回数が定まっていないとの結果であった。

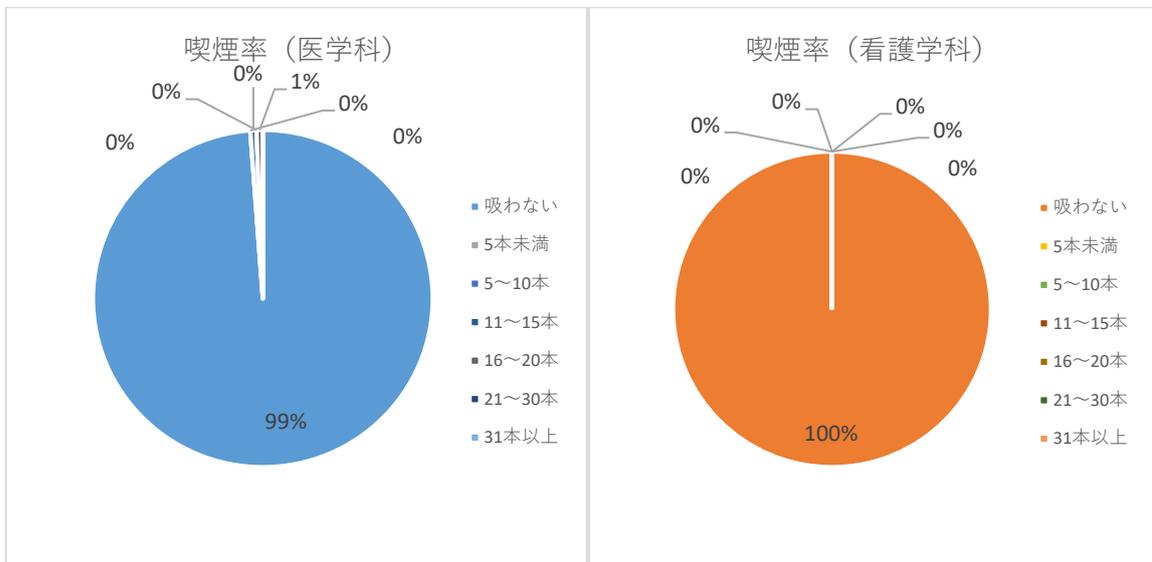
	医学科		看護学科		計	
3食必ず摂る	110	65.1%	71	71.0%	181	67.3%
2食（昼食、夕食）	37	21.9%	19	19.0%	56	20.8%
2食（朝食、夕食）	6	3.6%	0	0.0%	6	2.2%
2食（朝食、昼食）	0	0.0%	2	25.0%	2	0.7%
1食（朝食のみ）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
1食（昼食のみ）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
1食（夕食のみ）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
定まっていない	16	9.5%	8	8.0%	24	8.9%
計	169	100.0%	100	100.0%	269	100.0%



<喫煙>

100%に近い学生が喫煙をしていないとの結果であった。

	医学科		看護学科		計	
吸わない	167	98.8%	100	100.0%	267	99.3%
5本未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
5～10本	1	0.6%	0	0.0%	1	0.4%
11～15本	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
16～20本	1	0.6%	0	0.0%	1	0.4%
21～30本	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
31本以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	169	100.0%	100	100.0%	269	100.0%



<アルバイト>

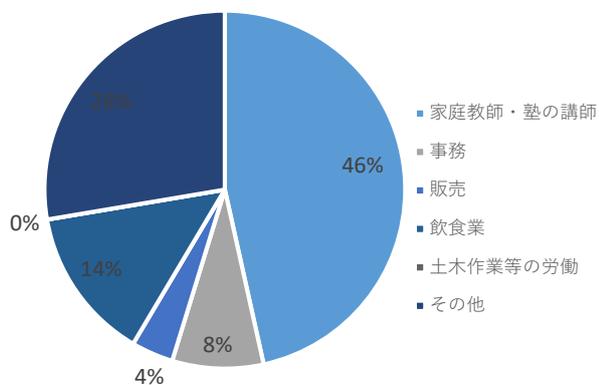
アルバイトの職種は、医学科では「家庭教師・塾講師」、看護学科では「販売・飲食業」が約半数を占めていた。1週間の労働時間については、医学科で4～8時間未満、看護学科で8～12時間未満が最も多かった。それに伴い、得られる給料が医学科では看護学科よりも若干少なくなっている。

また、両学科生ともアルバイトの目的としては、課外活動等費用が多数を占めていた。

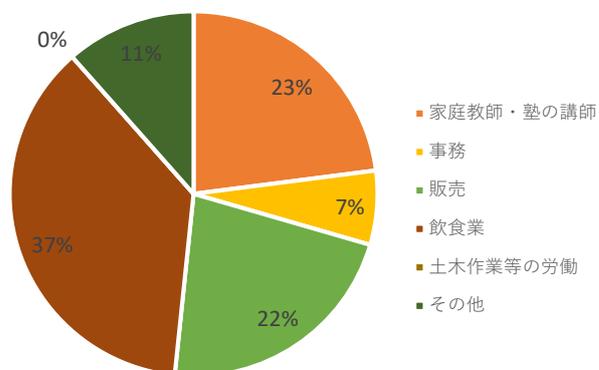
(アルバイトの種類)

	医学科		看護学科		計	
家庭教師・塾の講師	74	46.5%	28	23.0%	102	36.3%
事務	13	8.2%	8	6.6%	21	7.5%
販売	6	3.8%	27	22.1%	33	11.7%
飲食業	22	13.8%	45	36.9%	67	23.8%
土木作業等の労働	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	44	27.7%	14	11.5%	58	20.6%
計	159	100.0%	122	100.0%	281	100.0%

アルバイトの種類 (医学科)

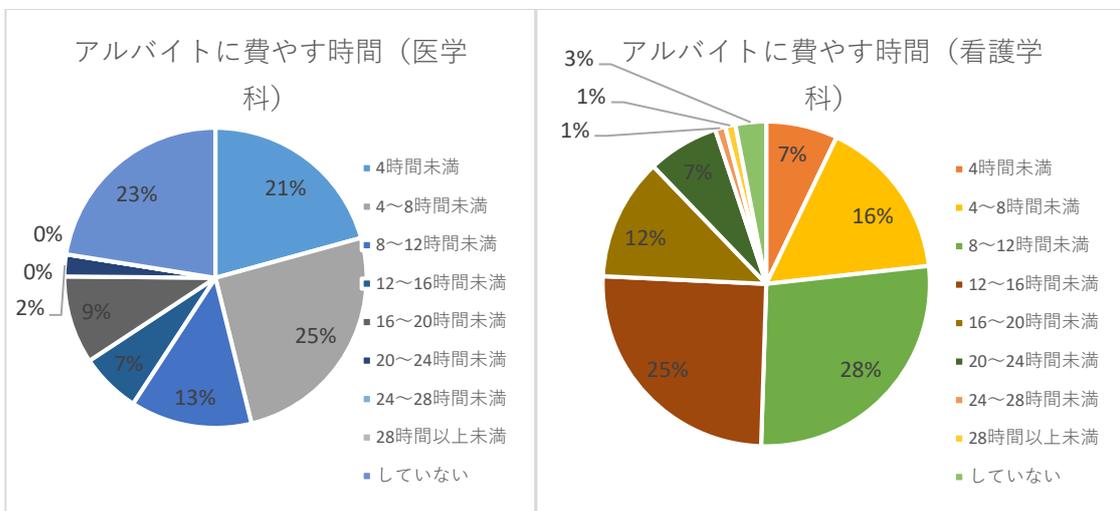


アルバイトの種類 (看護学科)



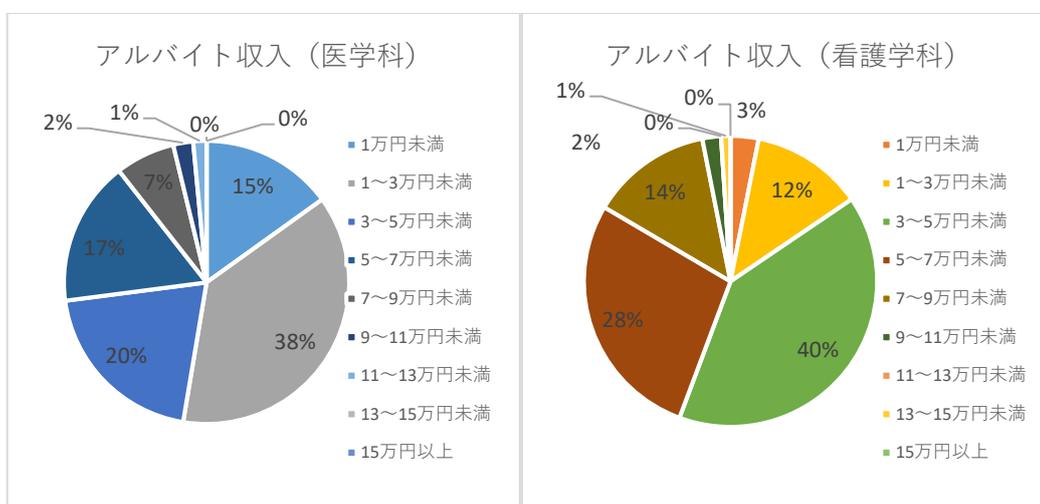
(1 週間の就業時間)

	医学科		看護学科		計	
4時間未満	35	20.7%	7	7.1%	42	15.7%
4～8時間未満	43	25.4%	16	16.2%	59	22.0%
8～12時間未満	22	13.0%	27	27.3%	49	18.3%
12～16時間未満	11	6.5%	25	25.3%	36	13.4%
16～20時間未満	16	9.5%	12	12.1%	28	10.4%
20～24時間未満	4	2.4%	7	7.1%	11	4.1%
24～28時間未満	0	0.0%	1	1.0%	1	0.4%
28時間以上未満	0	0.0%	1	1.0%	1	0.4%
していない	38	22.5%	3	3.0%	41	15.3%
計	169	100.0%	99	100.0%	268	100.0%



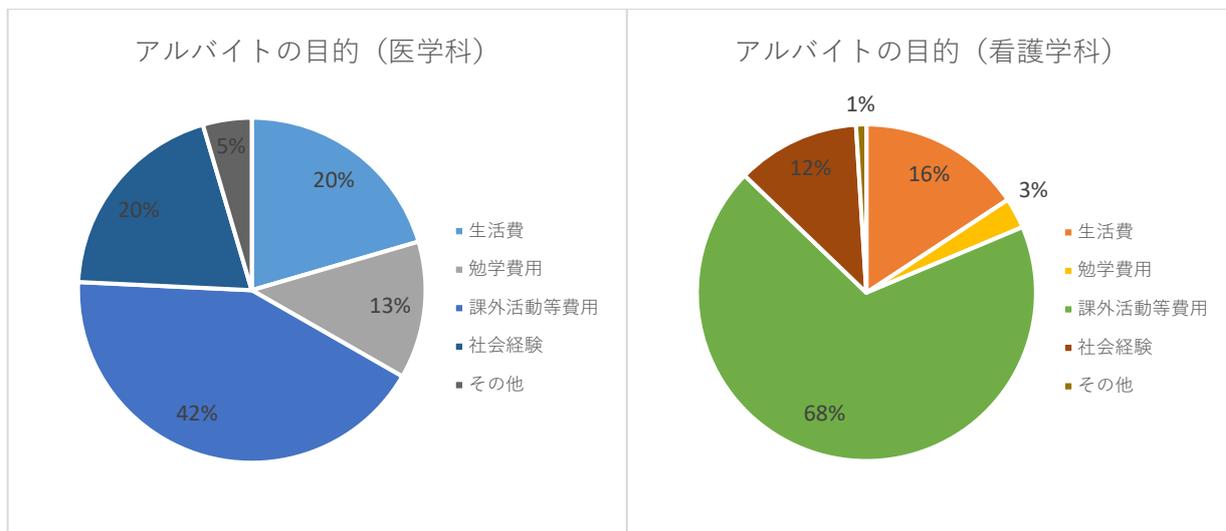
(1ヶ月の給料)

	医学科		看護学科		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1万円未満	20	15.0%	3	3.1%	23	10.0%
1～3万円未満	50	37.6%	12	12.4%	62	27.0%
3～5万円未満	27	20.3%	39	40.2%	66	28.7%
5～7万円未満	22	16.5%	27	27.8%	49	21.3%
7～9万円未満	9	6.8%	13	13.4%	22	9.6%
9～11万円未満	3	2.3%	2	2.1%	5	2.2%
11～13万円未満	2	1.5%	0	0.0%	2	0.9%
13～15万円未満	0	0.0%	1	1.0%	1	0.4%
15万円以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	133	100.0%	97	100.0%	230	100.0%



(アルバイトの目的)

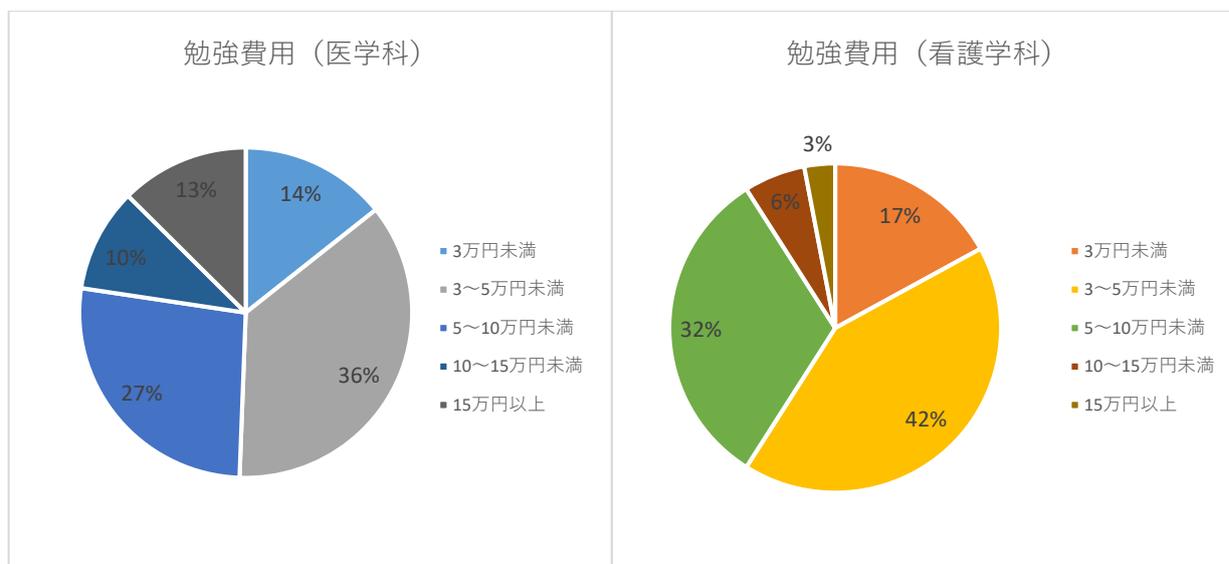
	医学科		看護学科		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
生活費	27	20.5%	16	15.7%	43	18.4%
勉学費用	17	12.9%	3	2.9%	20	8.5%
課外活動等費用	56	42.4%	70	68.6%	126	53.8%
社会経験	26	19.7%	12	11.8%	38	16.2%
その他	6	4.5%	1	1.0%	7	3.0%
計	132	100.0%	102	100.0%	234	100.0%



<勉強費用>

昨年度から1年間で教科書・参考書にかかった費用は、3～10万程度という回答が医学科で約6割、看護学科は約7割を占めていた。

	医学科		看護学科		計	
3万円未満	24	14.3%	17	17.0%	41	15.3%
3～5万円未満	61	36.3%	42	42.0%	103	38.4%
5～10万円未満	45	26.8%	32	32.0%	77	28.7%
10～15万円未満	17	10.1%	6	6.0%	23	8.6%
15万円以上	21	12.5%	3	3.0%	24	9.0%
計	168	100.0%	100	100.0%	268	100.0%



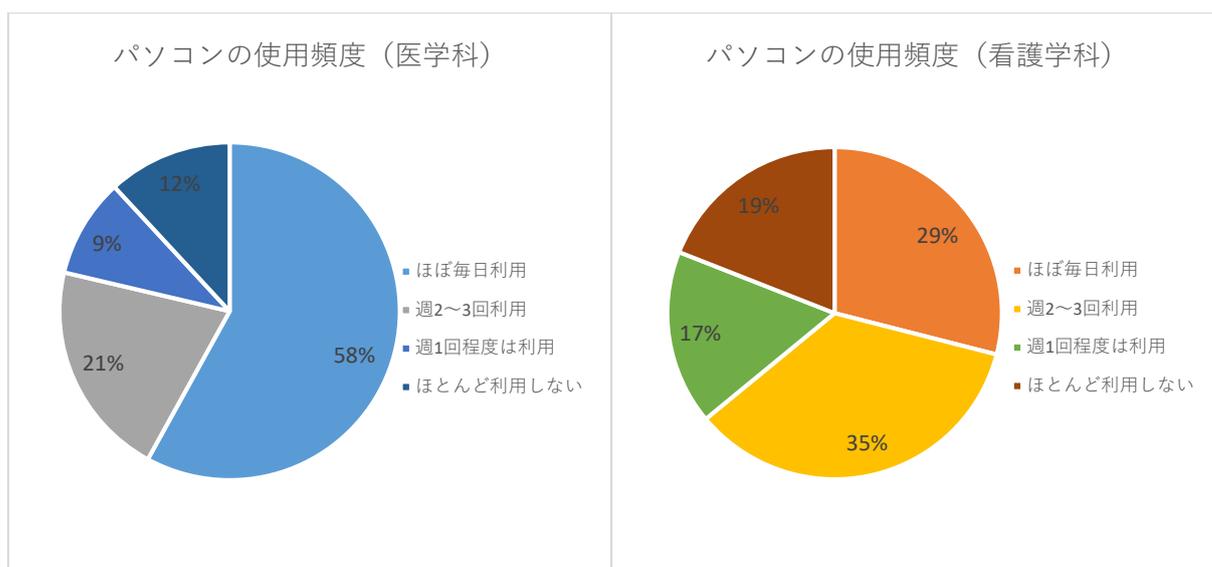
<パソコン利用率・SNS>

医学科では「ほぼ毎日利用」を選択した学生が最も多く、パソコンの利用率は比較的高いが、看護学科では「週2～3回利用」を選択した学生が約4割を占め、週1回以下の割合も比較的高く、パソコンの利用率は低い傾向にある。

また、利用しているSNSの種類に関する設問では、医学科学生ではTwitterとInstagramを、看護学科学生ではInstagramを利用しているとの回答が最も多かった。

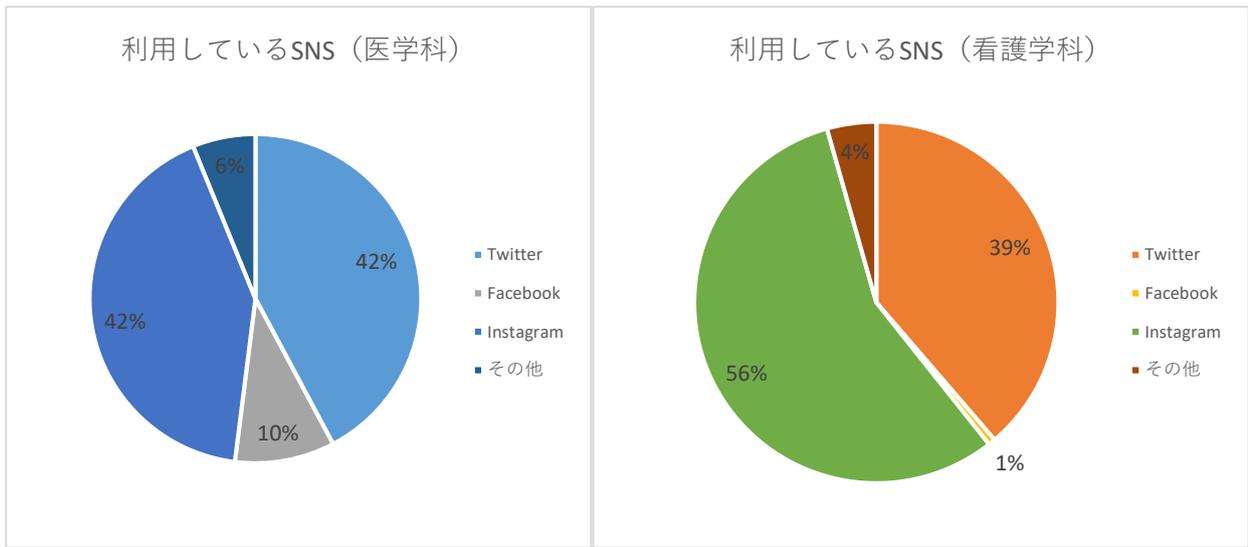
(パソコン利用率)

	医学科		看護学科		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
ほぼ毎日利用	98	58.0%	29	29.0%	127	47.2%
週2～3回利用	35	20.7%	35	35.0%	70	26.0%
週1回程度は利用	16	9.5%	17	17.0%	33	12.3%
ほとんど利用しない	20	11.8%	19	19.0%	39	14.5%
計	169	100.0%	100	100.0%	269	100.0%



(利用しているSNS (複数回答可))

	医学科		看護学科		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
Twitter	117	42.2%	62	38.8%	179	41.0%
Facebook	27	9.7%	1	0.6%	28	6.4%
Instagram	116	41.9%	90	56.3%	206	47.1%
その他	17	6.1%	7	4.4%	24	5.5%
計	277	100.0%	160	100.0%	437	100.0%

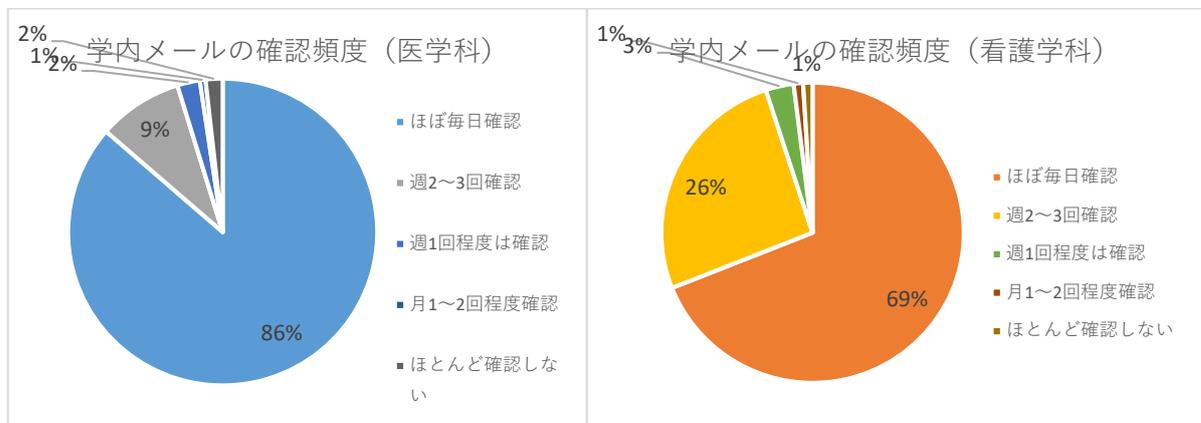


<学内情報の確認頻度>

学内メールの確認頻度は医学科学生の約8割、看護学科学生の約7割が「ほぼ毎日」と回答した。一方で、令和3年度より学生用掲示板の取扱いを縮小したため、約8割の学生が掲示板はほとんど確認しないと回答した。

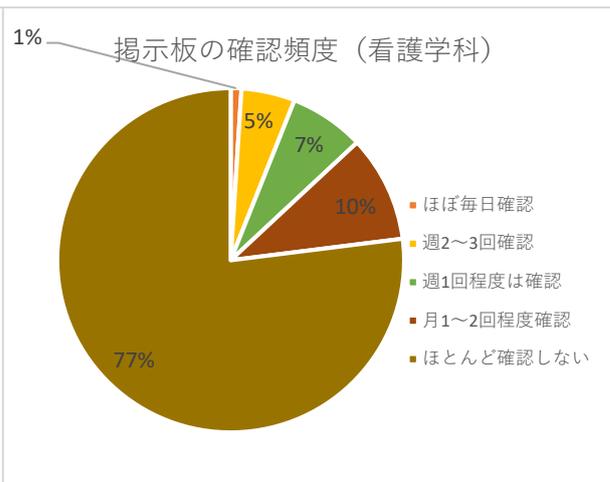
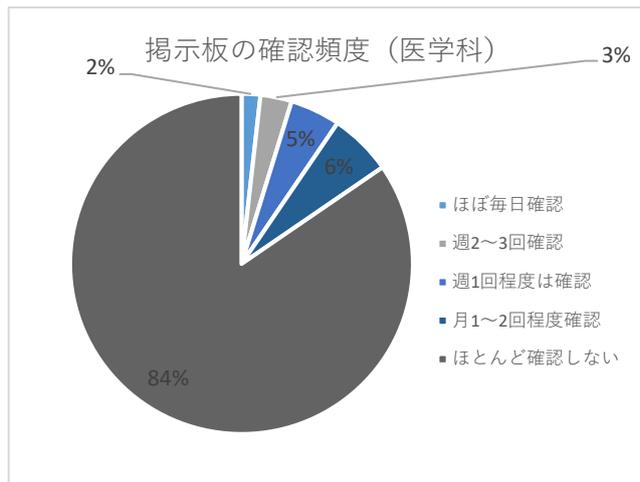
(学内メール)

	医学科		看護学科		計	
ほぼ毎日確認	146	86.4%	69	69.0%	215	79.9%
週2～3回確認	15	8.9%	26	26.0%	41	15.2%
週1回程度は確認	4	2.4%	3	3.0%	7	2.6%
月1～2回程度確認	1	0.6%	1	1.0%	2	0.7%
ほとんど確認しない	3	1.8%	1	1.0%	4	1.5%
計	169	100.0%	100	100.0%	269	100.0%



(掲示板)

	医学科		看護学科		計	
ほぼ毎日確認	3	1.8%	1	1.0%	4	1.5%
週2～3回確認	5	3.0%	5	5.0%	10	3.7%
週1回程度は確認	8	4.7%	7	7.0%	15	5.6%
月1～2回程度確認	10	5.9%	10	10.0%	20	7.4%
ほとんど確認しない	143	84.6%	77	77.0%	220	81.8%
計	169	100.0%	100	100.0%	269	100.0%



<福利棟の利用状況>

食堂については、医学科で約 5 割、看護学科で約 3 割の学生がほぼ毎日利用している。

購買部については、学科を問わず約半数の学生が週に 2～3 回以上の頻度で利用している。

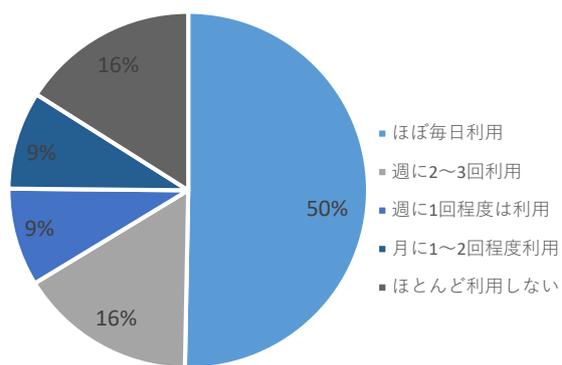
書籍部については、医学科で約 7 割、看護学科で約 9 割の学生がほとんど利用しないと回答した。

(生協利用頻度)

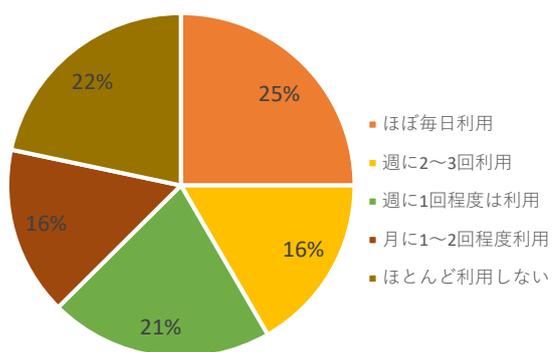
		医学科		看護学科		計	
食堂	ほぼ毎日利用	85	50.3%	30	25.0%	115	39.8%
	週に2～3回利用	27	16.0%	20	16.7%	47	16.3%
	週に1回程度は利用	15	8.9%	25	20.8%	40	13.8%
	月に1～2回程度利用	15	8.9%	19	15.8%	34	11.8%
	ほとんど利用しない	27	16.0%	26	21.7%	53	18.3%
	計	169	100.0%	120	100.0%	289	100.0%
購買部	ほぼ毎日利用	35	20.7%	18	18.0%	53	19.7%
	週に2～3回利用	53	31.4%	32	32.0%	85	31.6%
	週に1回程度は利用	29	17.2%	23	23.0%	52	19.3%
	月に1～2回程度利用	31	18.3%	18	18.0%	49	18.2%
	ほとんど利用しない	21	12.4%	9	9.0%	30	11.2%
	計	169	100.0%	100	100.0%	269	100.0%
書籍部	ほぼ毎日利用	0	0.0%	1	1.0%	1	0.4%
	週に2～3回利用	1	0.6%	3	3.0%	4	1.5%
	週に1回程度は利用	4	2.4%	0	0.0%	4	1.5%
	月に1～2回程度利用	40	23.7%	8	8.1%	48	17.9%
	ほとんど利用しない	124	73.4%	87	87.9%	211	78.7%
	計	169	100.0%	99	100.0%	268	100.0%



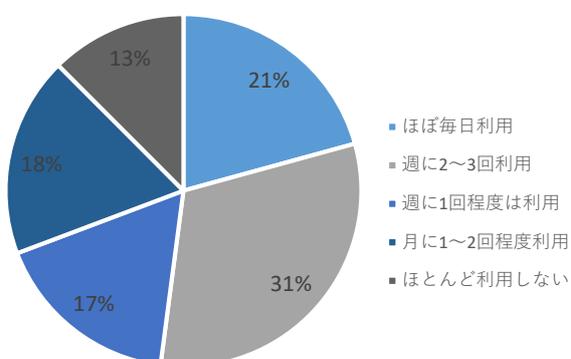
食堂の利用頻度（医学科）



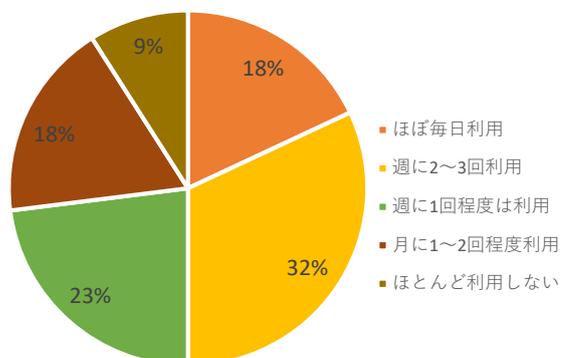
食堂の利用頻度（看護学科）



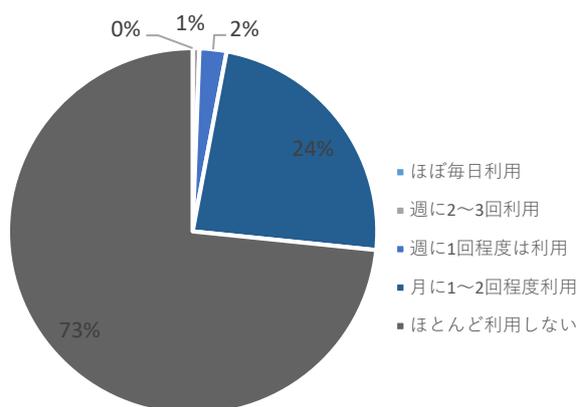
購買部の利用頻度（医学科）



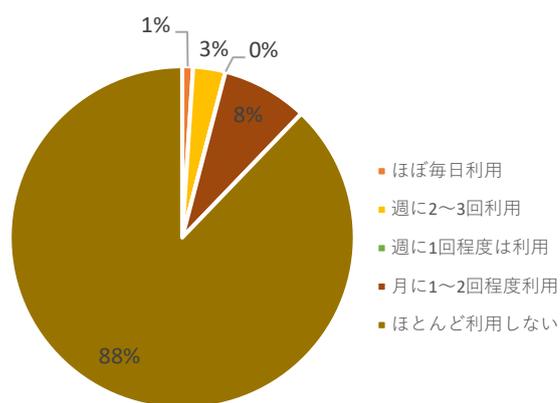
購買部の利用頻度（看護学科）



書籍部の利用頻度（医学科）



書籍部の利用頻度（看護学科）

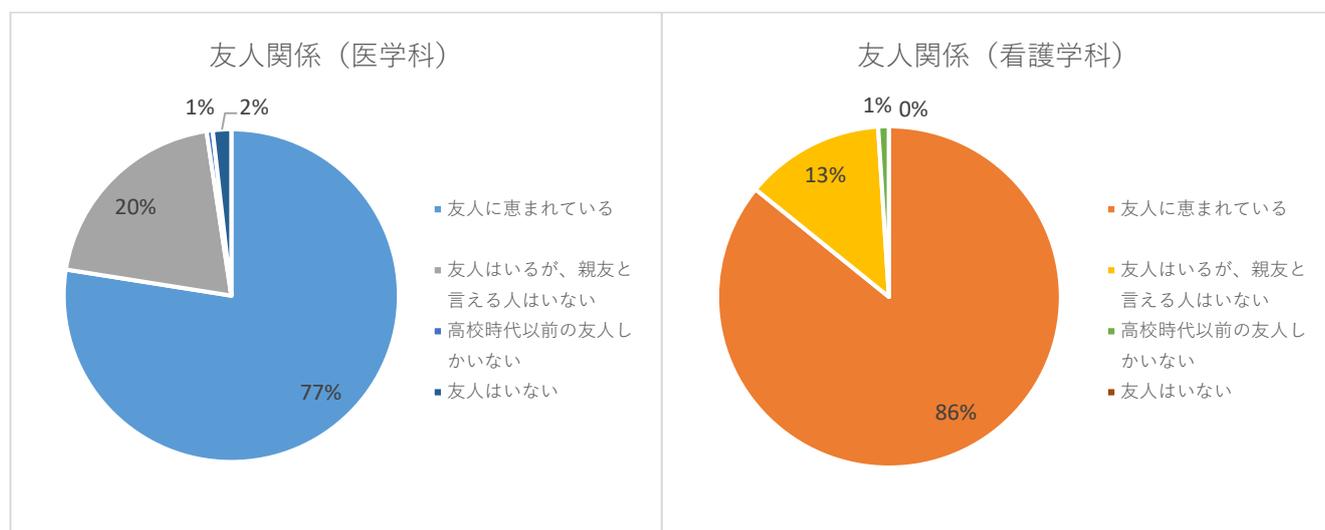


Ⅲ. 交友関係について

医学科では7割超、看護学科では8割超の学生が友人に恵まれていると回答しており、プライベートなことについて相談しやすい人は、両学科とも友人、恋人が最も多く、次いで家族との回答が多かった。

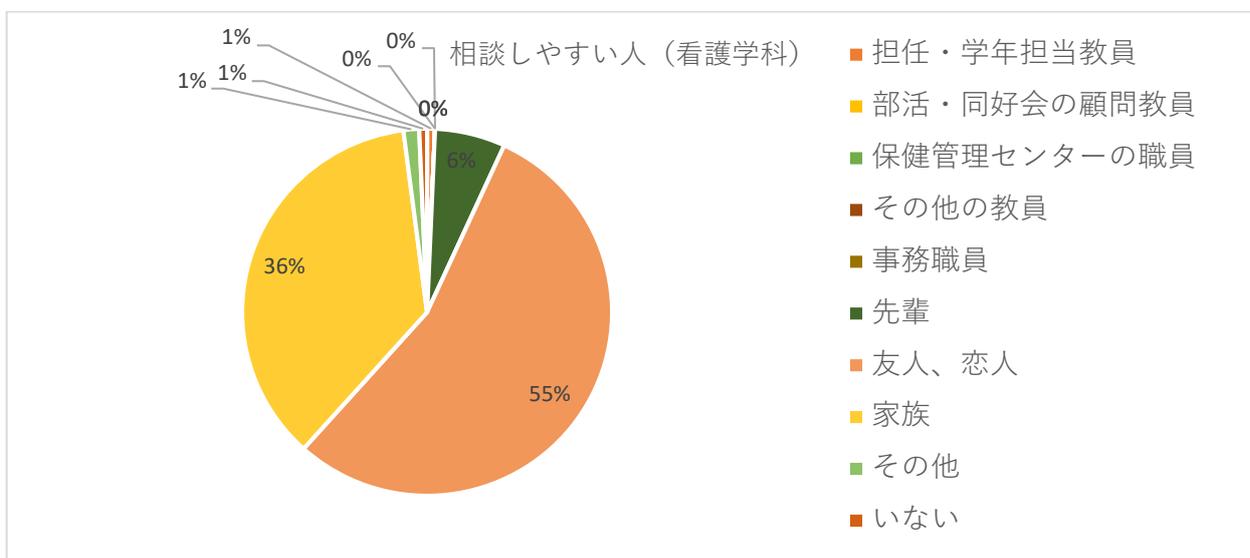
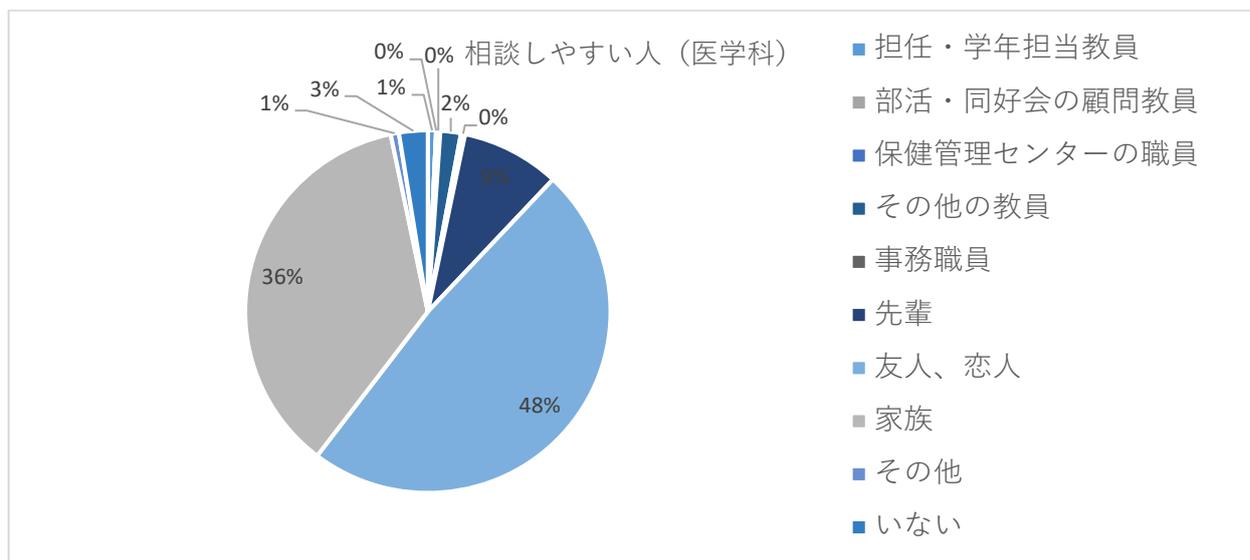
(友人の有無)

	医学科		看護学科		計	
友人に恵まれている	131	77.5%	85	85.9%	216	80.6%
友人はいるが、親友と言える人はいない	34	20.1%	13	13.1%	47	17.5%
高校時代以前の友人しかいない	1	0.6%	1	1.0%	2	0.7%
友人はいない	3	1.8%	0	0.0%	3	1.1%
計	169	100.0%	99	100.0%	268	100.0%



(相談しやすい人 (複数回答可))

	医学科		看護学科		計	
担任・学年担当教員	2	0.7%	1	0.7%	3	0.7%
部活・同好会の顧問教員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
保健管理センターの職員	1	0.4%	0	0.0%	1	0.2%
その他の教員	5	1.8%	0	0.0%	5	1.2%
事務職員	1	0.4%	0	0.0%	1	0.2%
先輩	24	8.7%	9	6.2%	33	7.8%
友人、恋人	133	48.4%	80	54.8%	213	50.6%
家族	100	36.4%	53	36.3%	153	36.3%
その他	2	0.7%	2	1.4%	4	1.0%
いない	7	2.5%	1	0.7%	8	1.9%
計	275	100.0%	146	100.0%	421	100.0%



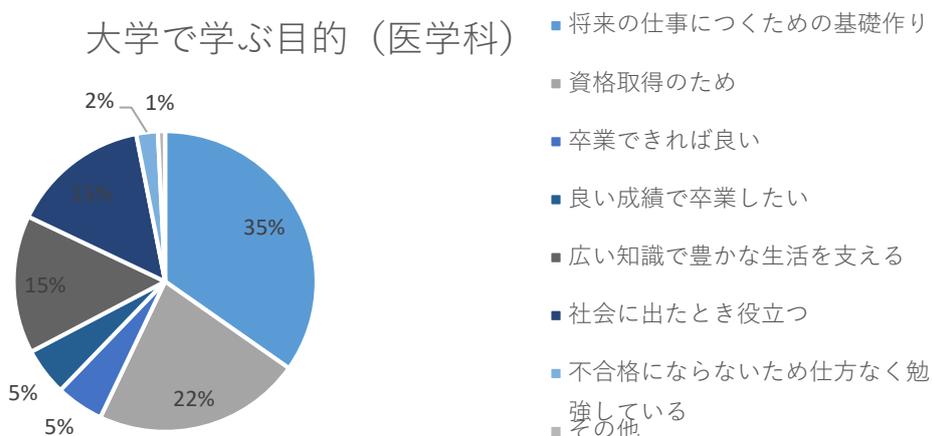
IV. 学業について

<大学で学ぶ目的>

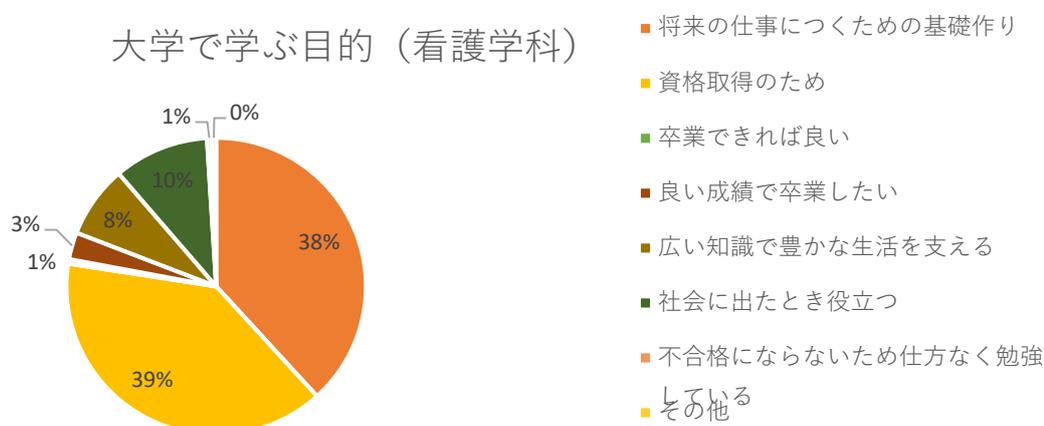
大学で学ぶ目的を問う設問では、「将来の仕事につくための基礎作り」「資格取得のため」の回答率が医学科学生は半数以上、看護学科学生は約8割で、卒業後を見据え、明確な目的を持って学業に取り組む学生が多いようであった。

	医学科		看護学科		計	
将来の仕事につくための基礎作り	136	34.8%	78	38.2%	214	36.0%
資格取得のため	87	22.3%	80	39.2%	167	28.1%
卒業できれば良い	20	5.1%	1	0.5%	21	3.5%
良い成績で卒業したい	20	5.1%	6	2.9%	26	4.4%
広い知識で豊かな生活を支える	58	14.8%	16	7.8%	74	12.4%
社会に出たとき役立つ	58	14.8%	21	10.3%	79	13.3%
不合格にならないため仕方なく勉強して	9	2.3%	1	0.5%	10	1.7%
その他	3	0.8%	1	0.5%	4	0.7%
計	391	100.0%	204	100.0%	595	100.0%

大学で学ぶ目的（医学科）



大学で学ぶ目的（看護学科）



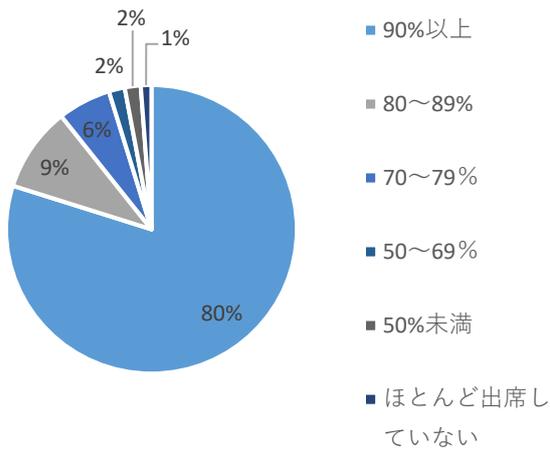
<授業の欠席について>

医学科では約 8 割、看護学科では 9 割以上の学生が 90%以上授業に出席していると回答したが、看護学科に比べて医学科の方が授業の欠席率は高かった。欠席理由は、医学科では「寝過ごし」「アルバイト」「講義がつまらない」の合計が 6 割超、看護学科では 5 割が「遊び」と回答している。また、自らの欠席についてどう考えるかという問いに対しては、両学科とも「うしろめたい」「自分の責任」の合計が 7 割を超えた。欠席した授業のキャッチアップ方法としては、両学科とも「友人に聞く」との回答が最も多いが、医学科では看護学科よりも「教科書等で自主学習」を行う割合が高かった。

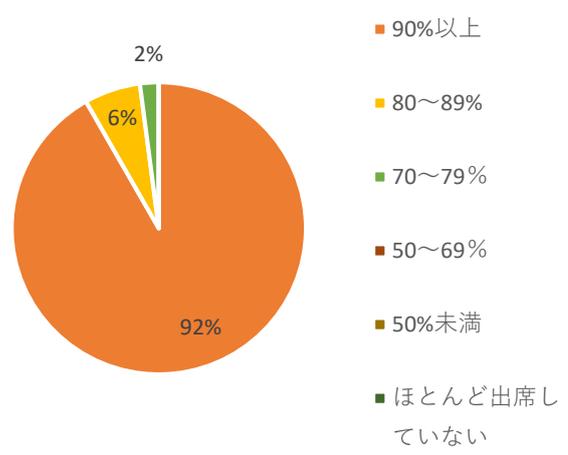
(出席率・欠席理由)

		医学科		看護学科		計	
出席率	90%以上	135	79.9%	89	91.8%	224	84.2%
	80～89%	16	9.5%	6	6.2%	22	8.3%
	70～79%	10	5.9%	2	2.1%	12	4.5%
	50～69%	3	1.8%	0	0.0%	3	1.1%
	50%未満	3	1.8%	0	0.0%	3	1.1%
	ほとんど出席していない	2	1.2%	0	0.0%	2	0.8%
	計	169	100.0%	97	100.0%	266	100.0%
欠席理由	アルバイト	6	20.0%	2	33.3%	8	22.2%
	遊び	5	16.7%	3	50.0%	8	22.2%
	寝過ごし	8	26.7%	0	0.0%	8	22.2%
	部活動	2	6.7%	0	0.0%	2	5.6%
	ボランティア活動	1	3.3%	0	0.0%	1	2.8%
	講義がつまらない	6	20.0%	0	0.0%	6	16.7%
	趣味	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	勉強意欲がわかない	1	3.3%	0	0.0%	1	2.8%
	ただなんとなく	1	3.3%	1	16.7%	2	5.6%
	計	30	100.0%	6	100.0%	36	100.0%

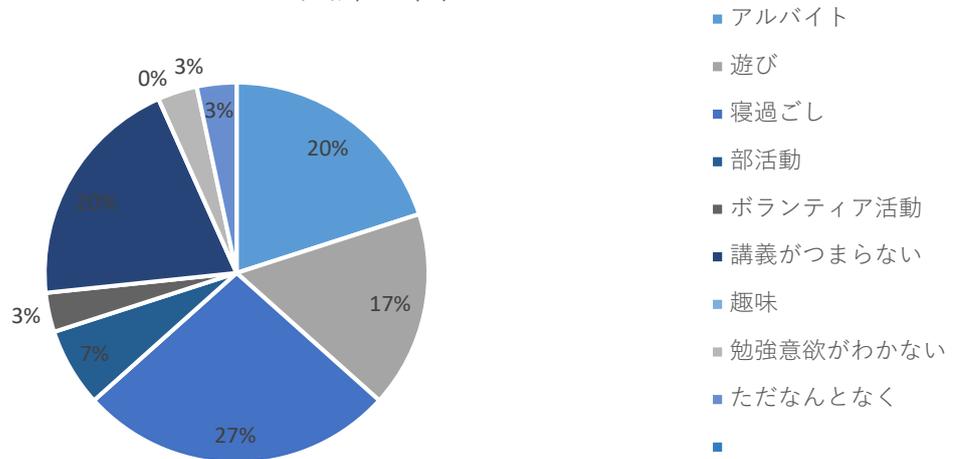
出席率（医学科）



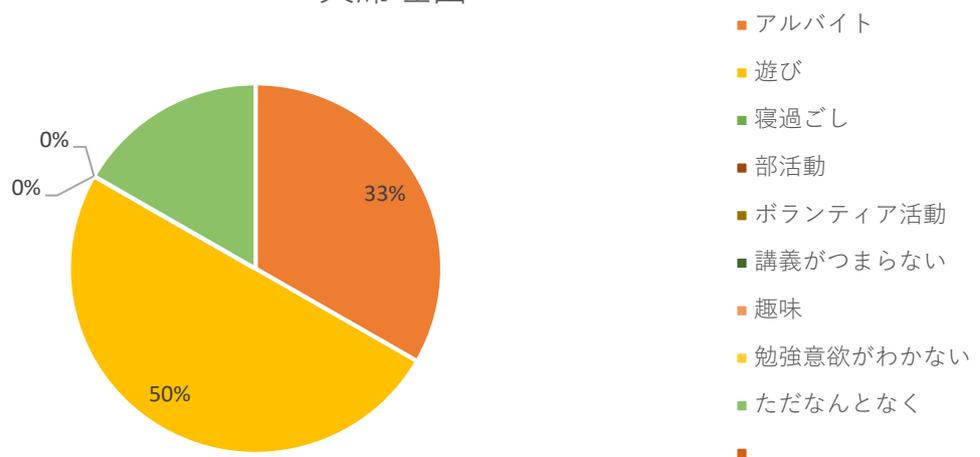
出席率（看護学科）



欠席理由

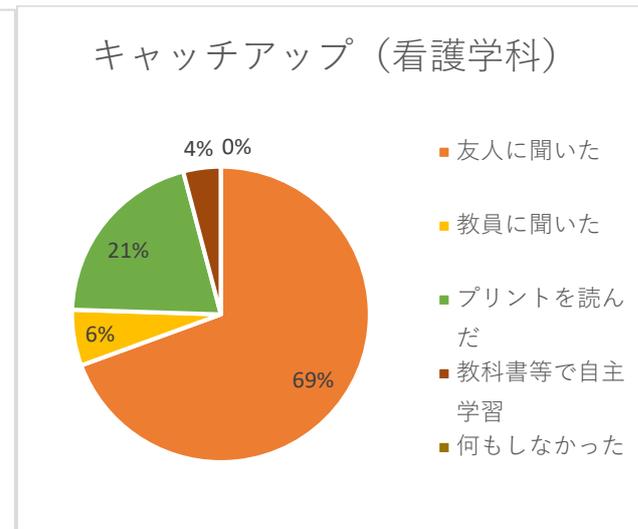
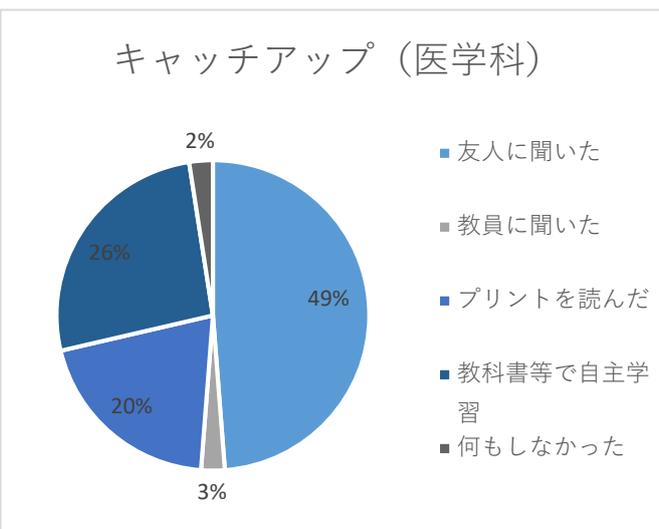
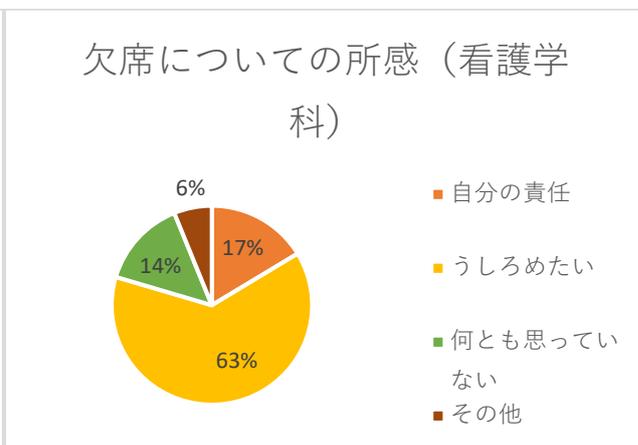
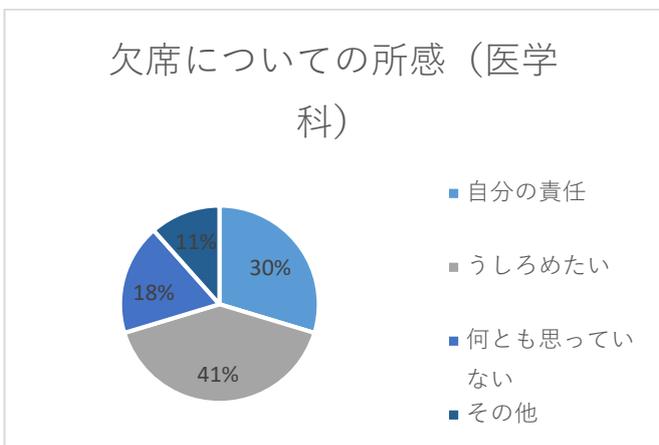


欠席理由



(欠席についての意識・キャッチアップ方法)

		医学科		看護学科		計	
欠席について	自分の責任	49	29.7%	16	16.3%	65	24.7%
	うしろめたい	67	40.6%	62	63.3%	129	49.0%
	何とも思っていない	30	18.2%	14	14.3%	44	16.7%
	その他	19	11.5%	6	6.1%	25	9.5%
	計	165	100.0%	98	100.0%	263	100.0%
キャッチアップ	友人に聞いた	80	48.8%	68	69.4%	148	56.5%
	教員に聞いた	4	2.4%	6	6.1%	10	3.8%
	プリントを読んだ	33	20.1%	20	20.4%	53	20.2%
	教科書等で自主学習	43	26.2%	4	4.1%	47	17.9%
	何もしなかった	4	2.4%	0	0.0%	4	1.5%
	計	164	100.0%	98	100.0%	262	100.0%

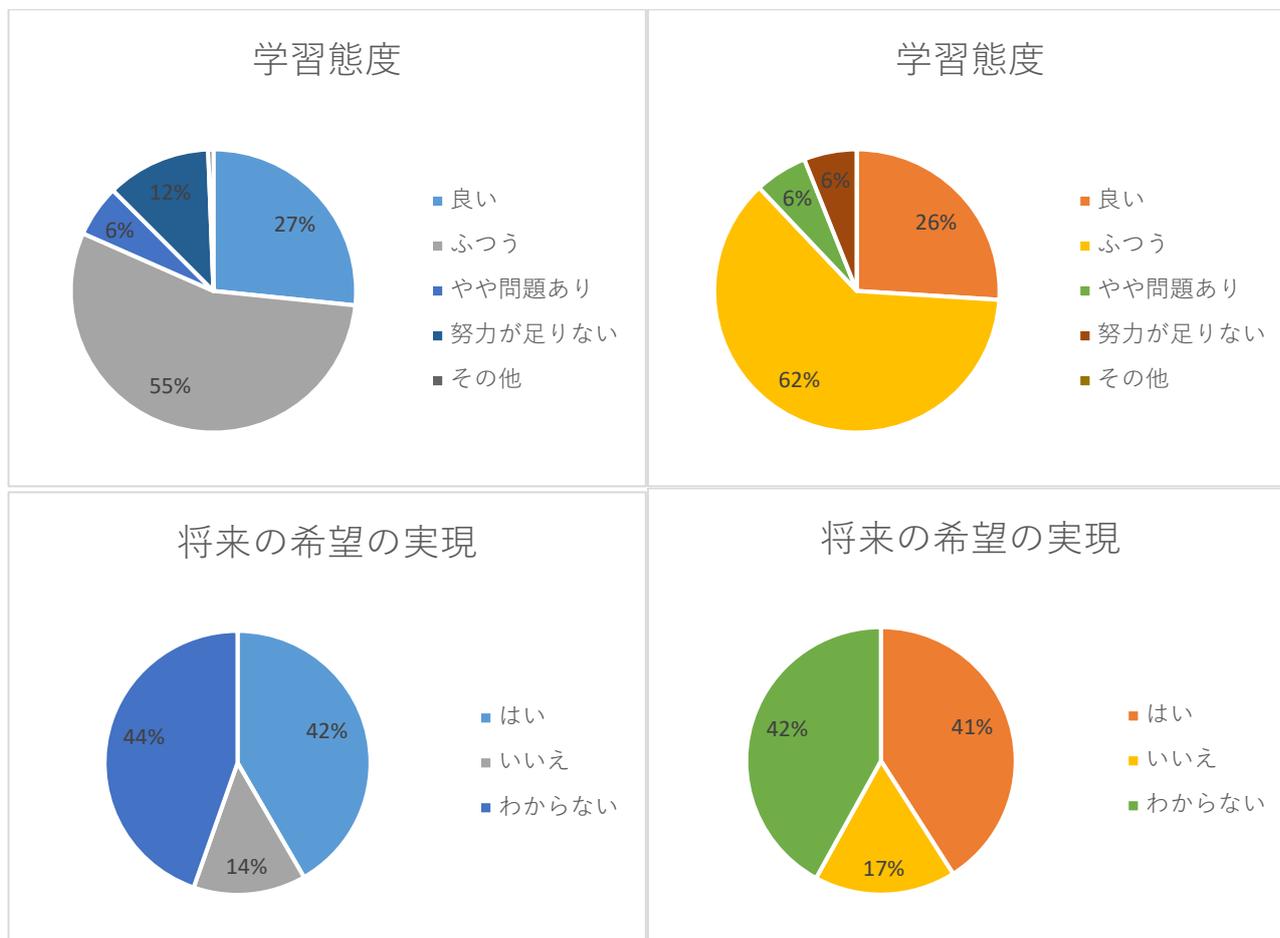


<学習態度について>

自らの学習態度について自己評価を行う設問では、「ふつう」が医学科では6割弱、看護学科では約6割、次いで「良い」が両学科とも3割弱と比較的高い評価を行っている。一方で、現在の学習態度で将来の希望が実現できそうかはわからないとの回答が4割を超えた。

(学習態度の自己評価・将来の希望実現)

		医学科		看護学科		計	
学習態度	良い	45	26.6%	26	26.0%	71	26.4%
	ふつう	93	55.0%	62	62.0%	155	57.6%
	やや問題あり	10	5.9%	6	6.0%	16	5.9%
	努力が足りない	20	11.8%	6	6.0%	26	9.7%
	その他	1	0.6%	0	0.0%	1	0.4%
	計	169	100.0%	100	100.0%	269	100.0%
希望 実現	はい	70	41.7%	41	41.0%	111	41.4%
	いいえ	23	13.7%	17	17.0%	40	14.9%
	わからない	75	44.6%	42	42.0%	117	43.7%
	計	168	100.0%	100	100.0%	268	100.0%



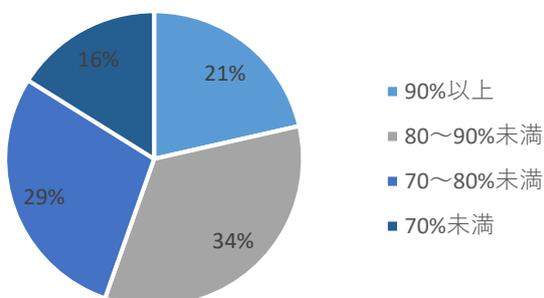
<授業内容の理解>

授業内容については、両学科とも大半の学生は理解できているようであるが、理解度は70%未満であると回答した学生が、医学科では2割弱、看護学科では1割弱存在している。授業内容が理解できない場合は、両学科とも約8割の学生が「友人や先輩に聞く」「自分で勉強する」と回答した。教員に質問しない理由としては「教員が忙しそう」「質問しにくい雰囲気」が多く挙げられた。

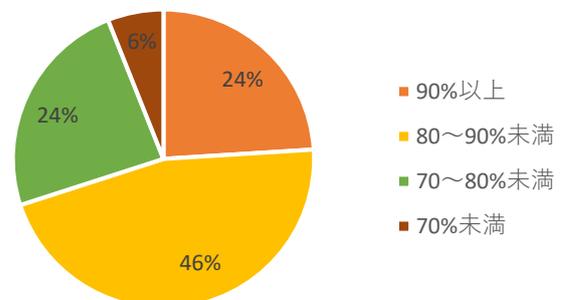
(授業内容の理解等)

		医学科		看護学科		計	
理解 できる 割合	90%以上	36	21.4%	24	24.0%	60	22.4%
	80~90%未満	57	33.9%	46	46.0%	103	38.4%
	70~80%未満	48	28.6%	24	24.0%	72	26.9%
	70%未満	27	16.1%	6	6.0%	33	12.3%
	計	168	100.0%	100	100.0%	268	100.0%
理解 できない 場合	授業中に聞く	16	9.0%	6	5.7%	22	7.8%
	授業後に聞く	18	10.2%	16	15.1%	34	12.0%
	友人や先輩に聞く	92	52.0%	62	58.5%	154	54.4%
	自分で勉強する	51	28.8%	22	20.8%	73	25.8%
	計	177	100.0%	106	100.0%	283	100.0%
質問 しない 理由	忙しそう	48	31.2%	32	32.7%	80	31.7%
	質問しにくい雰囲気	60	39.0%	37	37.8%	97	38.5%
	質問すると怒られそう	5	3.2%	5	5.1%	10	4.0%
	連絡方法がわからない	7	4.5%	6	6.1%	13	5.2%
	聞きに行こうと思わない	34	22.1%	18	18.4%	52	20.6%
	計	154	100.0%	98	100.0%	252	100.0%

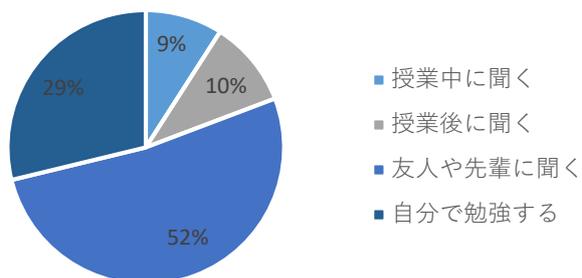
理解できる割合 (医学科)



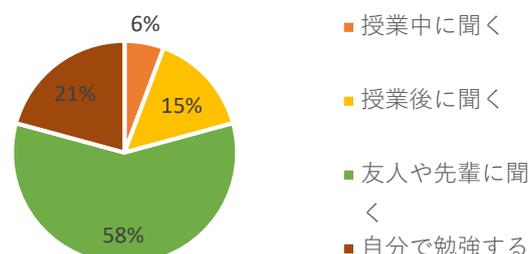
理解できる割合 (看護学科)



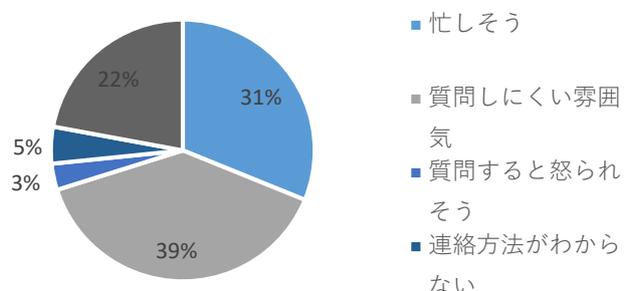
理解できない場合（医学科）



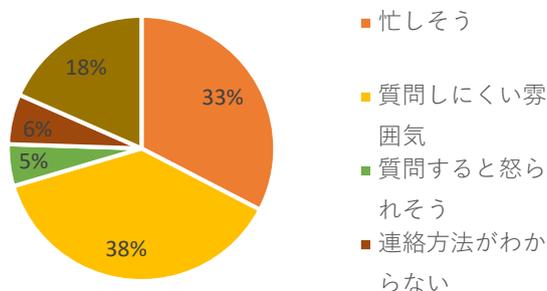
理解できない場合（看護学科）



教員に質問しない理由（医学科）



教員に質問しない理由（看護学科）



<授業の水準>

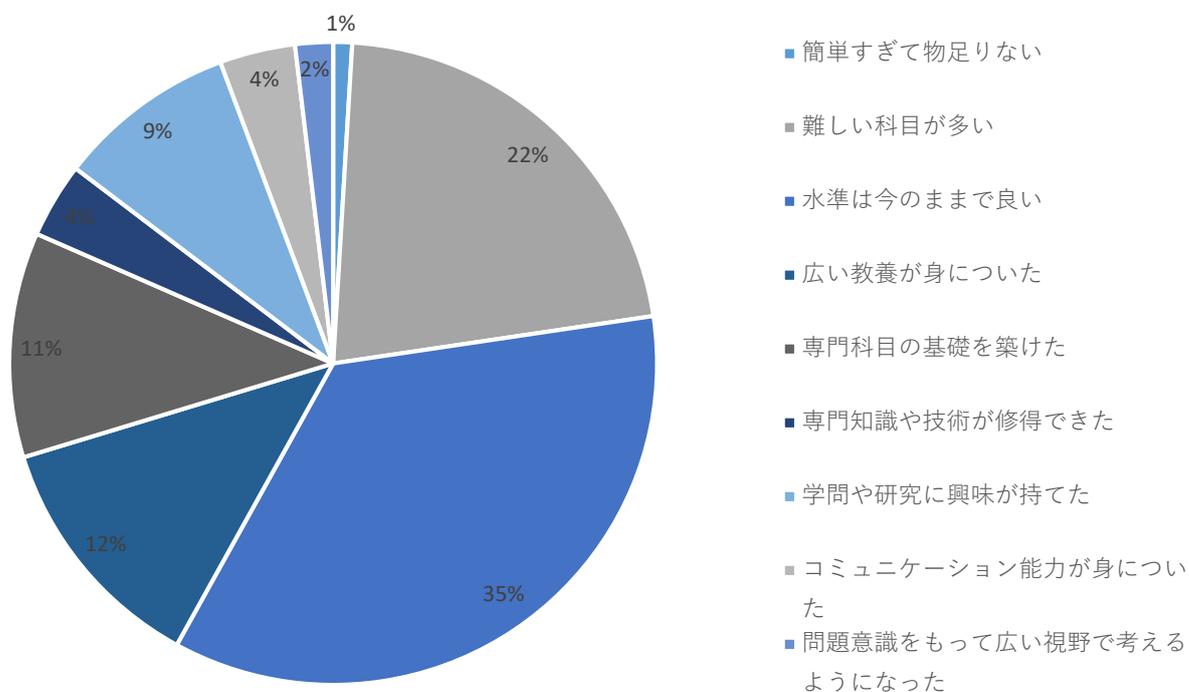
また、昨年度履修した教養科目について、「水準は今のままで良い」が両学科ともに3割を超え、次いで「難しい科目が多い」という回答が約2割であった。昨年度履修した専門科目については、医学科では「難しい科目が多い」が最も多く、看護学科では「水準は今のままで良い」が最も多かった。

昨年度履修した科目で得られたものについては、教養科目では、両学科とも、「広い教養が身についた」が最も多く、専門科目では、医学科は「専門科目の基礎を築けた」の回答が最も多く、看護学科は「専門知識や技術が修得できた」が最も多かった。

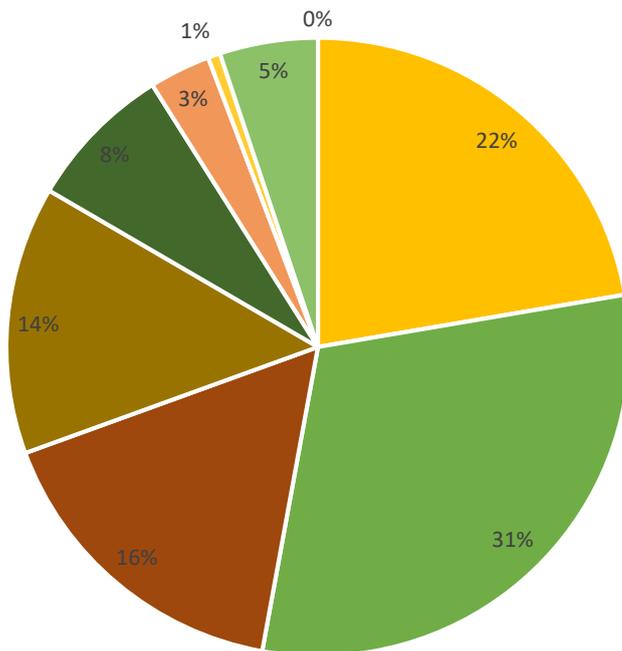
(昨年度履修した科目について (当てはまらない場合は回答無し))

		医学科		看護学科		計	
教養	簡単すぎて物足りない	2	0.9%	0	0.0%	2	0.5%
	難しい科目が多い	46	21.7%	35	22.3%	81	22.0%
	水準は今のままで良い	75	35.4%	48	30.6%	123	33.3%
	広い教養が身についた	26	12.3%	26	16.6%	52	14.1%
	専門科目の基礎を築けた	24	11.3%	22	14.0%	46	12.5%
	専門知識や技術が修得できた	8	3.8%	12	7.6%	20	5.4%
	学問や研究に興味を持てた	19	9.0%	5	3.2%	24	6.5%
	コミュニケーション能力が身についた	8	3.8%	1	0.6%	9	2.4%
	問題意識をもって広い視野で考えるようになった	4	1.9%	8	5.1%	12	3.3%
	計	212	100%	157	100.0%	369	100.0%
専門	簡単すぎて物足りない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	難しい科目が多い	62	26.7%	41	25.3%	103	26.1%
	水準は今のままで良い	61	26.3%	45	27.8%	106	26.9%
	広い教養が身についた	10	4.3%	14	8.6%	24	6.1%
	専門科目の基礎を築けた	52	22.4%	21	13.0%	73	18.5%
	専門知識や技術が修得できた	19	8.2%	27	16.7%	46	11.7%
	学問や研究に興味を持てた	21	9.1%	4	2.5%	25	6.3%
	コミュニケーション能力が身についた	3	1.3%	2	1.2%	5	1.3%
	問題意識をもって広い視野で考えるようになった	4	1.7%	8	4.9%	12	3.0%
	計	232	100.0%	162	100.0%	394	100.0%

教養科目について (医学科)

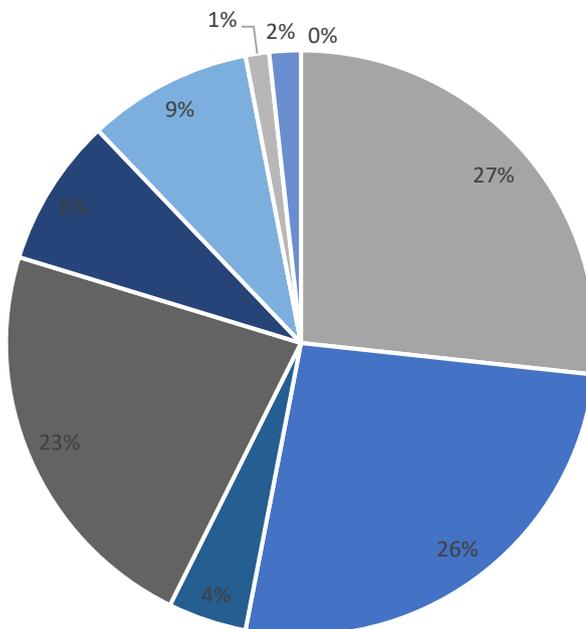


教養科目について（看護学科）



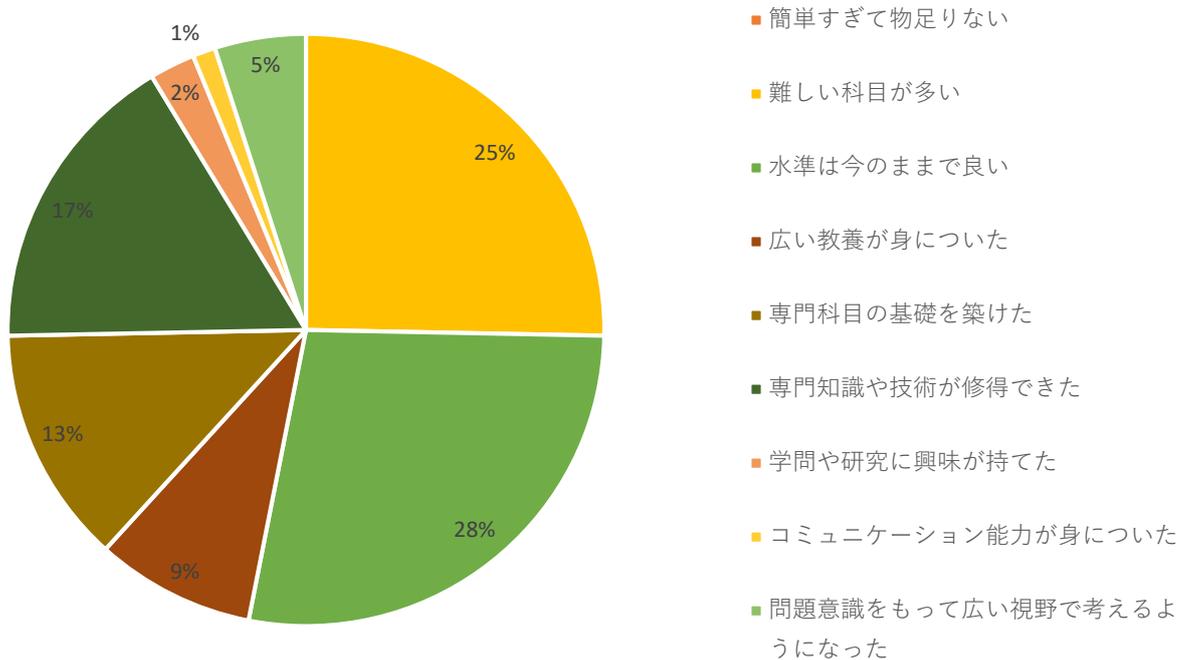
- 簡単すぎて物足りない
- 難しい科目が多い
- 水準は今のままで良い
- 広い教養が身についた
- 専門科目の基礎を築けた
- 専門知識や技術が修得できた
- 学問や研究に興味を持てた
- コミュニケーション能力が身についた
- 問題意識をもって広い視野で考えるようになった

専門科目について（医学科）



- 簡単すぎて物足りない
- 難しい科目が多い
- 水準は今のままで良い
- 広い教養が身についた
- 専門科目の基礎を築けた
- 専門知識や技術が修得できた
- 学問や研究に興味を持てた
- コミュニケーション能力が身についた
- 問題意識をもって広い視野で考えるようになった

専門科目について（看護学科）



<自主学習>

自主学習の程度については、両学科とも「復習のみ」の割合が高く、1日の自主学習時間では1時間以上勉強している割合が医学科の方で約7割、看護学科で約5割となった。なお、試験期間の1日の学習時間は両学科とも「3時間以上」が約9割と同程度であった。

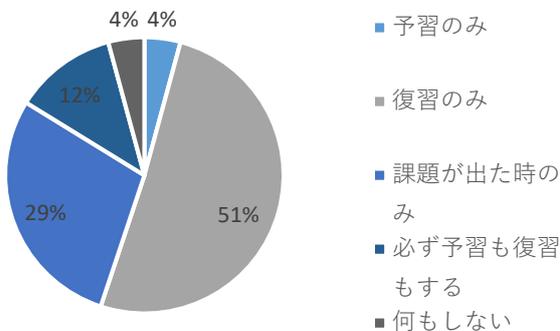
自主学習のために使用する場所については、「自宅」と回答した学生が医学科で約5割、看護学科で6割であり、「図書館」と回答した学生は医学科で約3割、看護学科では2割と、看護学科の学生は比較的自宅で学習する割合が高く、図書館の利用率はやや低いようである。

また、調べ物の情報源について、医学科では「教科書・参考書」の回答が約6割、看護学科で9割であった。さらに、1日のレポート作成時間を問う設問では、医学科よりも看護学科の方がよりレポート作成に時間をかけている傾向があった。

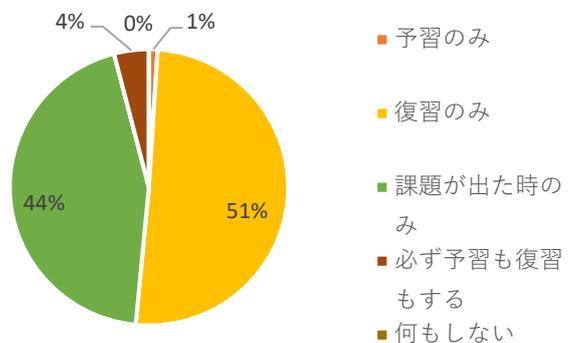
(自主学習の程度・場所等)

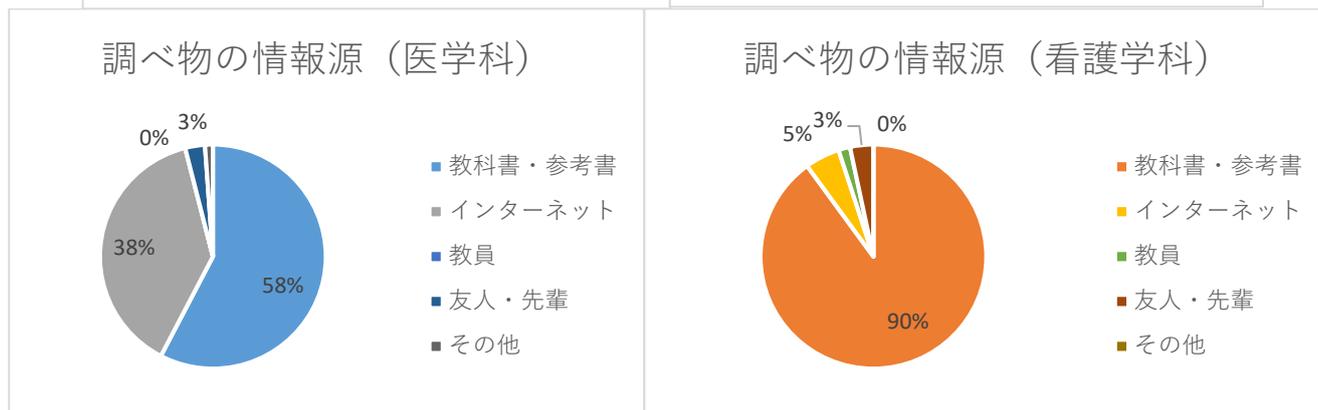
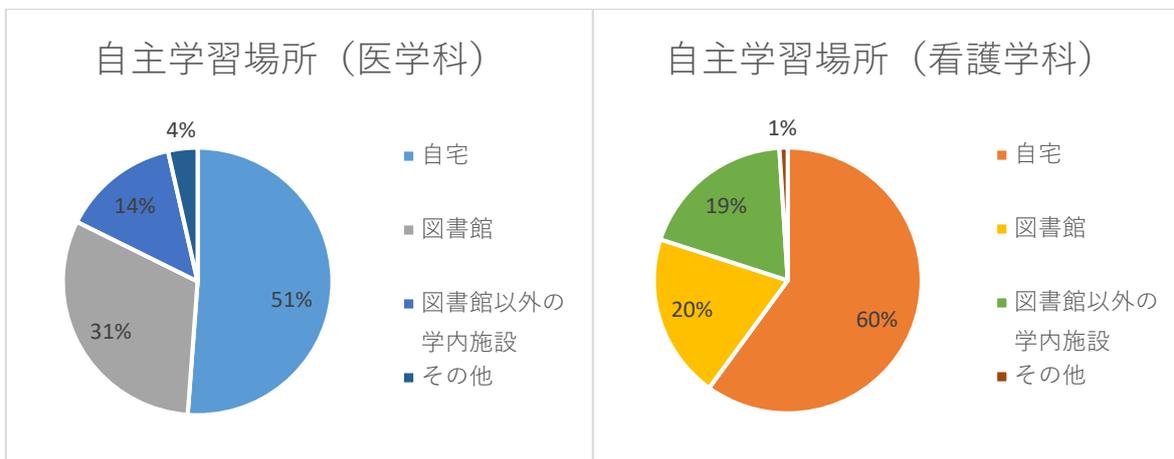
		医学科		看護学科		計	
自己学習 程度	予習のみ	7	4.2%	1	1.0%	8	3.0%
	復習のみ	85	50.9%	50	50.5%	135	50.8%
	課題が出た時のみ	48	28.7%	44	44.4%	92	34.6%
	必ず予習も復習もする	20	12.0%	4	4.0%	24	9.0%
	何もしない	7	4.2%	0	0.0%	7	2.6%
	計	167	100.0%	99	100.0%	266	100.0%
自己学習 場所	自宅	87	51.2%	60	60.0%	147	54.4%
	図書館	53	31.2%	20	20.0%	73	27.0%
	図書館以外の学内施設	24	14.1%	19	19.0%	43	15.9%
	その他	6	3.5%	1	1.0%	7	2.6%
	計	170	100.0%	100	100.0%	270	100.0%
調べ物 情報源	教科書・参考書	102	57.6%	54	90.0%	156	65.8%
	インターネット	68	38.4%	3	5.0%	71	30.0%
	教員	0	0.0%	1	1.7%	1	0.4%
	友人・先輩	5	2.8%	2	3.3%	7	3.0%
	その他	2	1.1%	0	0.0%	2	0.8%
	計	177	100.0%	60	100.0%	237	100.0%

自己学習の程度 (医学科)



自主学習の程度 (看護学科)

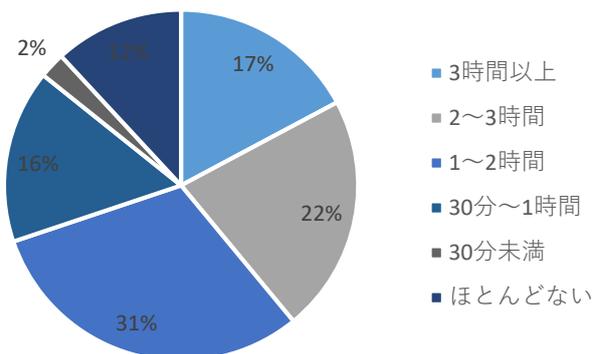




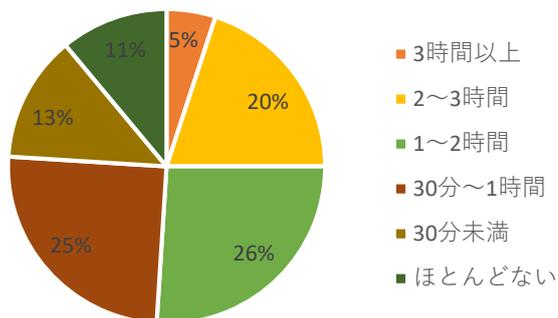
(授業以外の学習時間)

		医学科		看護学科		計	
授業以外	3時間以上	29	17.2%	5	5.0%	34	12.6%
	2～3時間	37	21.9%	20	20.0%	57	21.2%
	1～2時間	52	30.8%	26	26.0%	78	29.0%
	30分～1時間	27	16.0%	25	25.0%	52	19.3%
	30分未満	4	2.4%	13	13.0%	17	6.3%
	ほとんどない	20	11.8%	11	11.0%	31	11.5%
	計	169	100.0%	100	100.0%	269	100.0%
試験期間	3時間以上	156	92.3%	89	89.0%	245	91.1%
	2～3時間	9	5.3%	8	8.0%	17	6.3%
	1～2時間	1	0.6%	2	2.0%	3	1.1%
	30分～1時間	1	0.6%	1	1.0%	2	0.7%
	30分未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	ほとんどない	2	1.2%	0	0.0%	2	0.7%
	計	169	100.0%	100	100.0%	269	100.0%

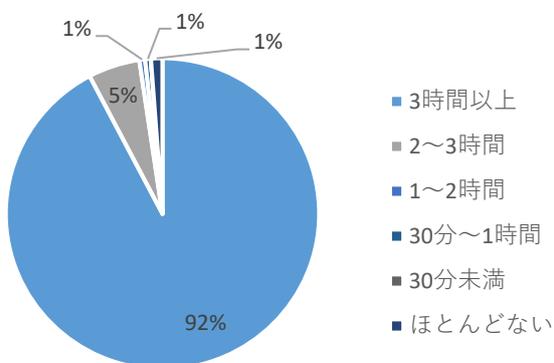
授業以外の学習時間（医学科）



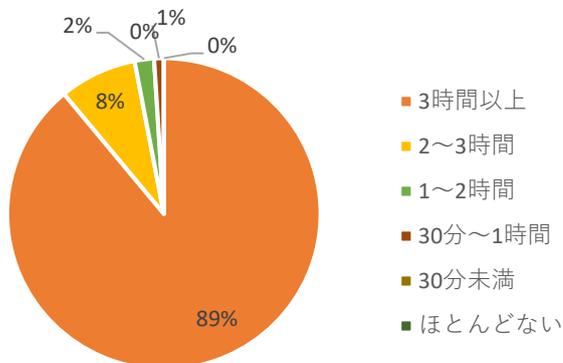
授業以外の学習時間（看護学科）



試験期間の学習時間（医学科）

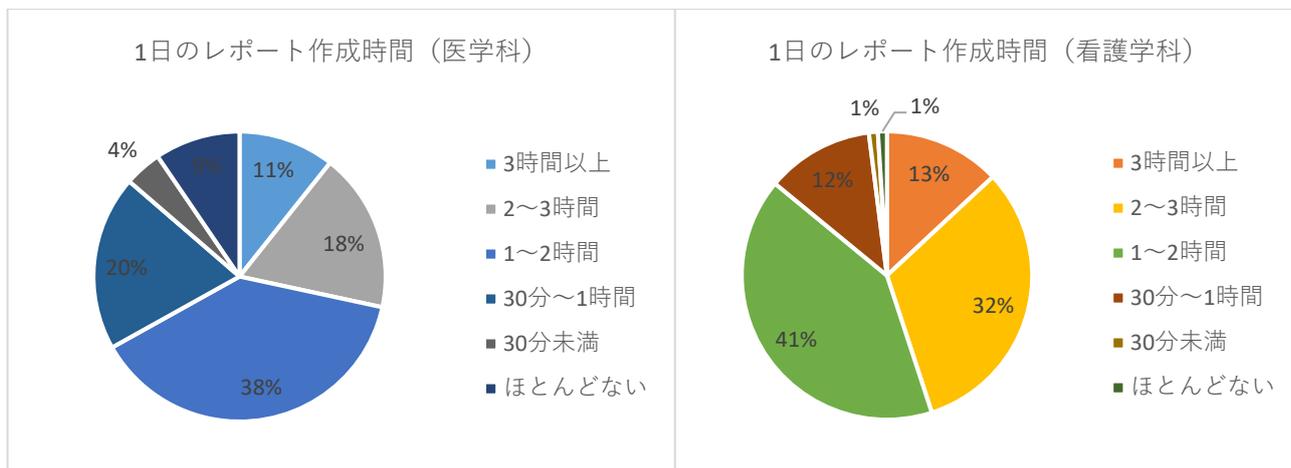


試験期間の学習時間（看護学科）



(1日のレポート作成時間)

		医学科		看護学科		計	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
レポート	3時間以上	18	10.7%	13	13.0%	31	11.5%
	2～3時間	30	17.8%	32	32.0%	62	23.0%
	1～2時間	65	38.5%	41	41.0%	106	39.4%
	30分～1時間	33	19.5%	12	12.0%	45	16.7%
	30分未満	7	4.1%	1	1.0%	8	3.0%
	ほとんどない	16	9.5%	1	1.0%	17	6.3%
	計	169	100.0%	100	100.0%	269	100.0%

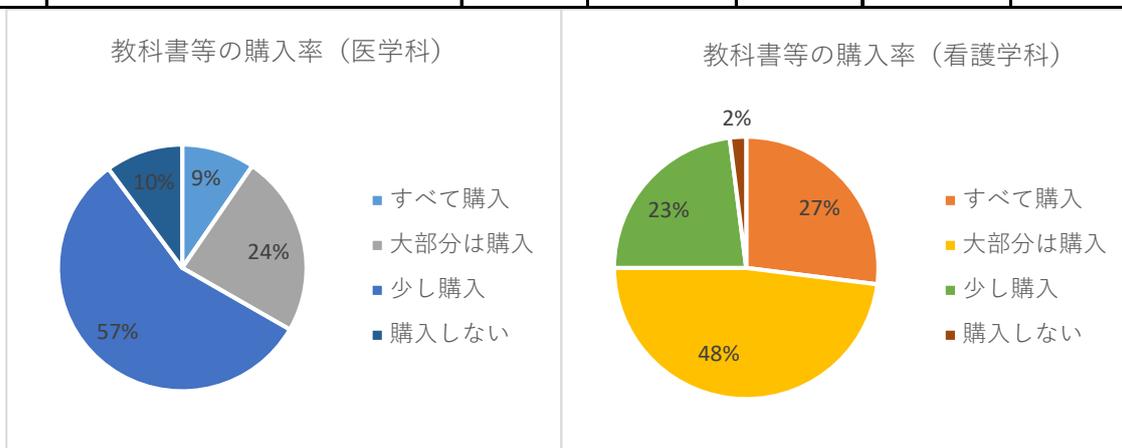


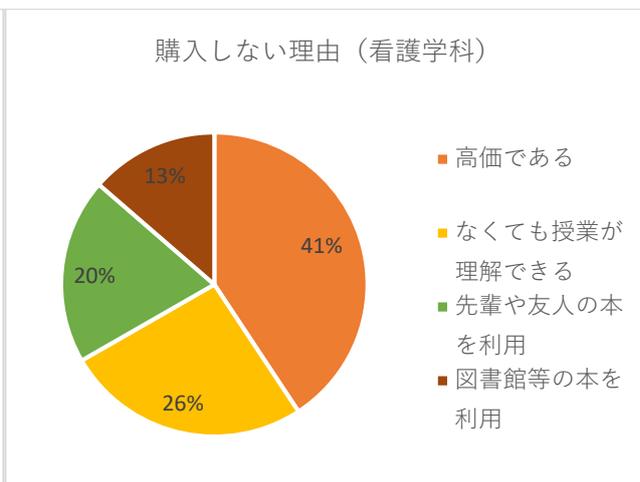
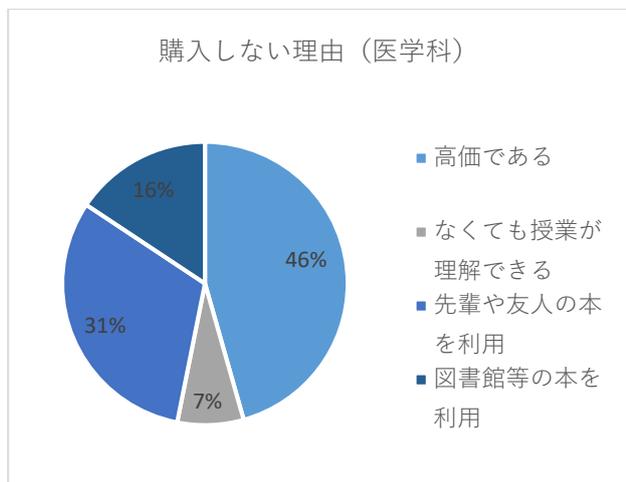
<教材・参考書等の活用>

教科書の購入率は、医学科では約半数の学生が「少し購入」と回答しており、看護学科では約半数の学生が「大部分は購入」と回答していることから、医学科の教科書購入率は看護学科よりも低いことが分かる。教科書を購入しない理由として、両学科ともに「高価である」が最も多く、次いで医学科では「先輩や友人の本を利用」、看護学科では「なくても授業が理解できる」の回答割合が高かった。また、講義概要の使用状況について、両学科とも「授業日程等の確認に利用」が最も多かった。

(教科書等の購入率)

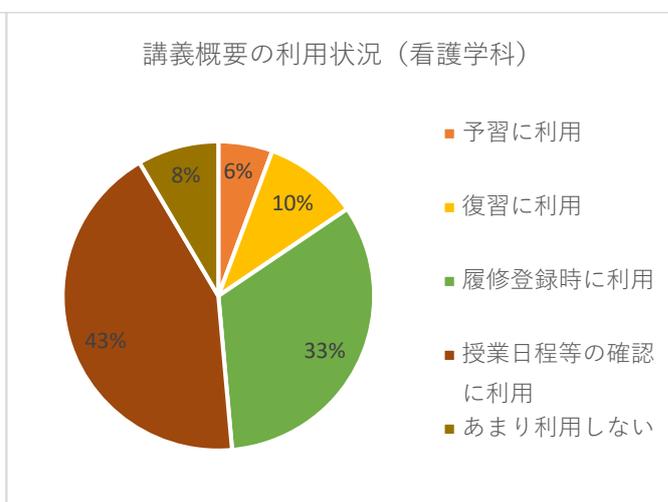
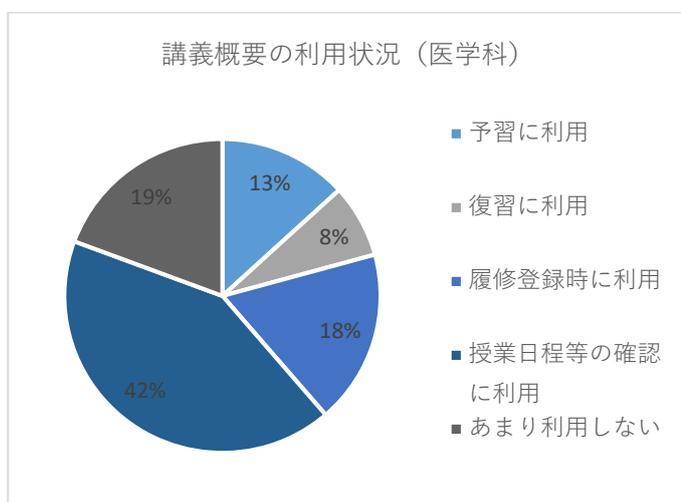
		医学科		看護学科		計	
購入率	すべて購入	16	9.5%	27	27.0%	43	16.0%
	大部分は購入	40	23.8%	48	48.0%	88	32.8%
	少し購入	95	56.5%	23	23.0%	118	44.0%
	購入しない	17	10.1%	2	2.0%	19	7.1%
	計	168	100.0%	100	100.0%	268	100.0%
購入しない理由	高価である	73	45.6%	33	40.7%	106	44.0%
	なくても授業が理解できる	12	7.5%	21	25.9%	33	13.7%
	先輩や友人の本を利用	50	31.3%	16	19.8%	66	27.4%
	図書館等の本を利用	25	15.6%	11	13.6%	36	14.9%
	計	160	100.0%	81	100.0%	241	100.0%





(講義概要の使用状況)

	医学科		看護学科		計	
予習に利用	28	13.2%	8	5.6%	36	10.2%
復習に利用	16	7.5%	14	9.9%	30	8.5%
履修登録時に利用	38	17.9%	47	33.1%	85	24.0%
授業日程等の確認に利用	89	42.0%	61	43.0%	150	42.4%
あまり利用しない	41	19.3%	12	8.5%	53	15.0%
計	212	100.0%	142	100.0%	354	100.0%



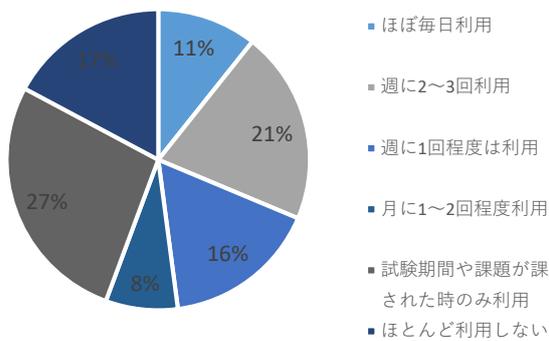
V. 図書館の利用について

図書館の利用率は、月に一回以上利用している学生が医学科で約 5 割、看護学科では約 3 割となった。
MMC の利用率は、月に一回以上利用している学生が両学科とも約 3 割となった。

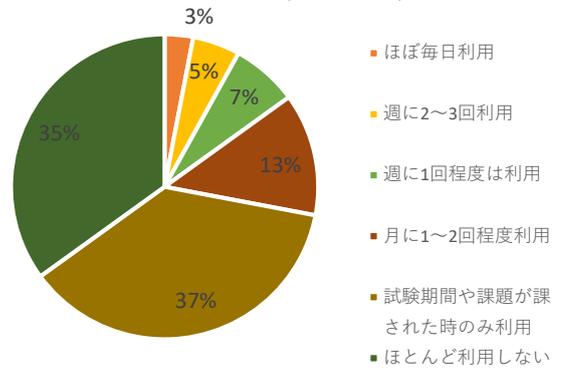
(図書館・MMC 利用率)

		医学科		看護学科		計	
図書館	ほぼ毎日利用	18	10.7%	3	3.0%	21	7.8%
	週に2~3回利用	35	20.7%	5	5.0%	40	14.9%
	週に1回程度は利用	28	16.6%	7	7.0%	35	13.0%
	月に1~2回程度利用	13	7.7%	13	13.0%	26	9.7%
	試験期間や課題が課された時のみ利用	46	27.2%	37	37.0%	83	30.9%
	ほとんど利用しない	29	17.2%	35	35.0%	64	23.8%
	計	169	100.0%	100	100.0%	269	100.0%
	MMC	ほぼ毎日利用	6	3.6%	2	2.0%	8
週に2~3回利用	6	3.6%	3	3.0%	9	3.3%	
週に1回程度は利用	20	11.8%	8	8.0%	28	10.4%	
月に1~2回程度利用	24	14.2%	12	12.0%	36	13.4%	
試験期間や課題が課された時のみ利用	50	29.6%	29	29.0%	79	29.4%	
授業で利用するのみ	27	16.0%	30	30.0%	57	21.2%	
ほとんど利用しない	36	21.3%	16	16.0%	52	19.3%	
計	169	100.0%	100	100.0%	269	100.0%	

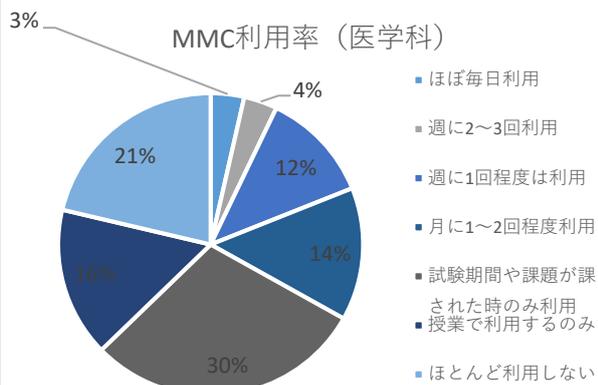
図書館利用率 (医学科)



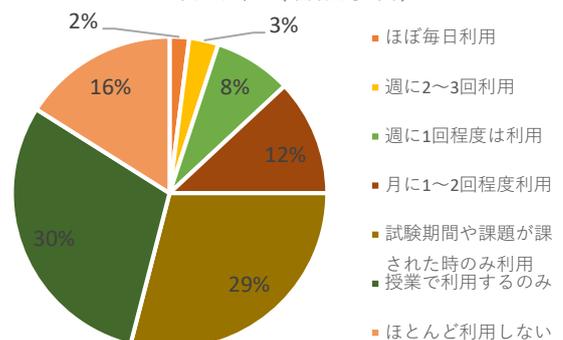
図書館利用率 (看護学科)



MMC利用率 (医学科)



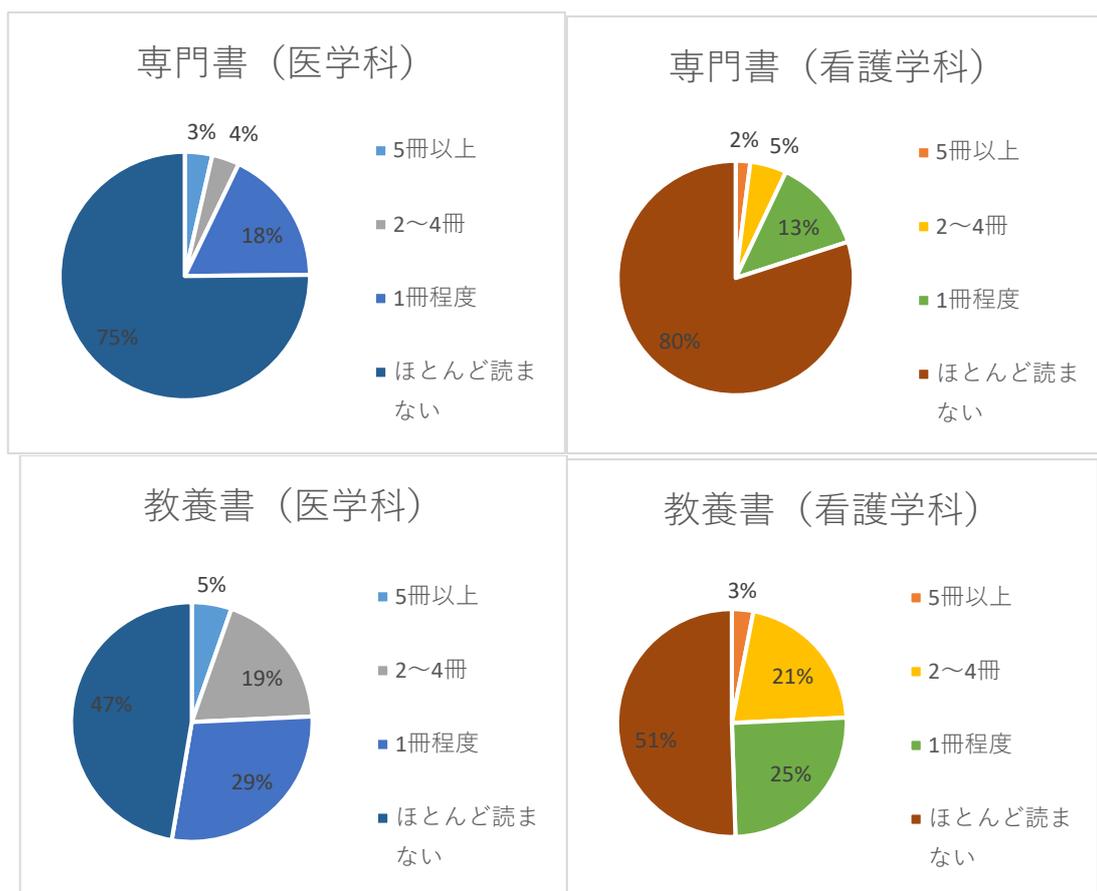
MMC利用率 (看護学科)



<読書習慣>

専門書は「ほとんど読まない」と回答した学生が医学科では7割を、看護学科では8割を超えており、教養書についてもほとんど読まないか読んだとしても月に1冊程度の学生が7割超という結果であった。

		医学科		看護学科		計	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
専門書	5冊以上	6	3.6%	2	2.0%	8	3.0%
	2～4冊	6	3.6%	5	5.0%	11	4.1%
	1冊程度	30	17.8%	13	13.0%	43	16.0%
	ほとんど読まない	127	75.1%	80	80.0%	207	77.0%
	計	169	100.0%	100	100.0%	269	100.0%
教養書	5冊以上	9	5.3%	3	3.0%	12	4.5%
	2～4冊	32	18.9%	21	21.2%	53	19.8%
	1冊程度	48	28.4%	25	25.3%	73	27.2%
	ほとんど読まない	80	47.3%	50	50.5%	130	48.5%
	計	169	100.0%	99	100.0%	268	100.0%



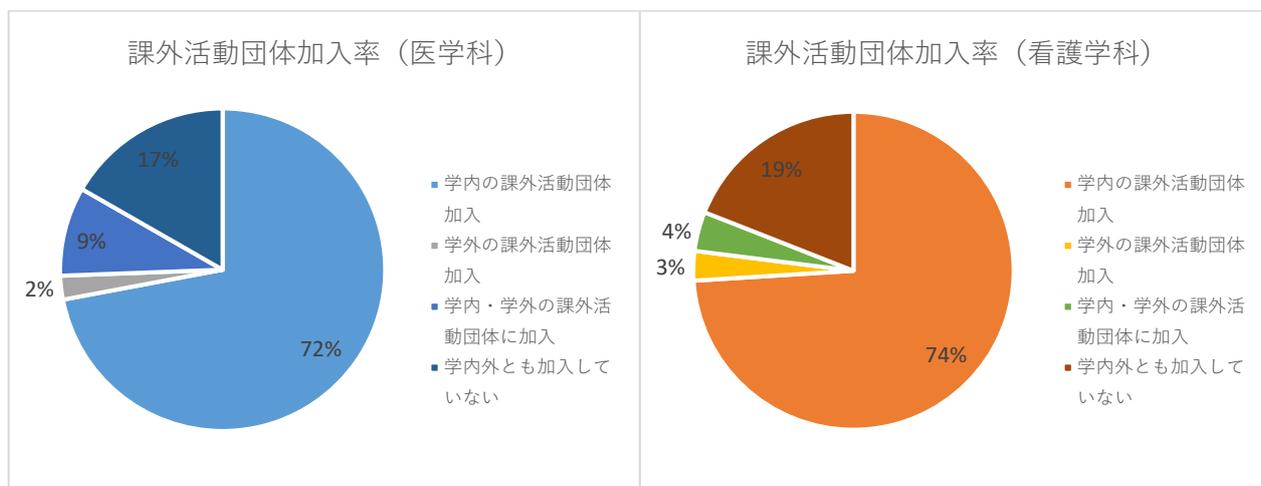
VI. 課外活動について

<課外活動団体について>

本学学生の課外活動団体加入率は両学科とも8割を超えている。所属理由の約半数は活動内容に関心があったことである。一方、加入していない学生の主な理由としては、医学科では「時間がない」との回答が多く、看護学科では「興味ある課外活動団体がない」「拘束されたくない」「人間関係が面倒」との回答が多かった。

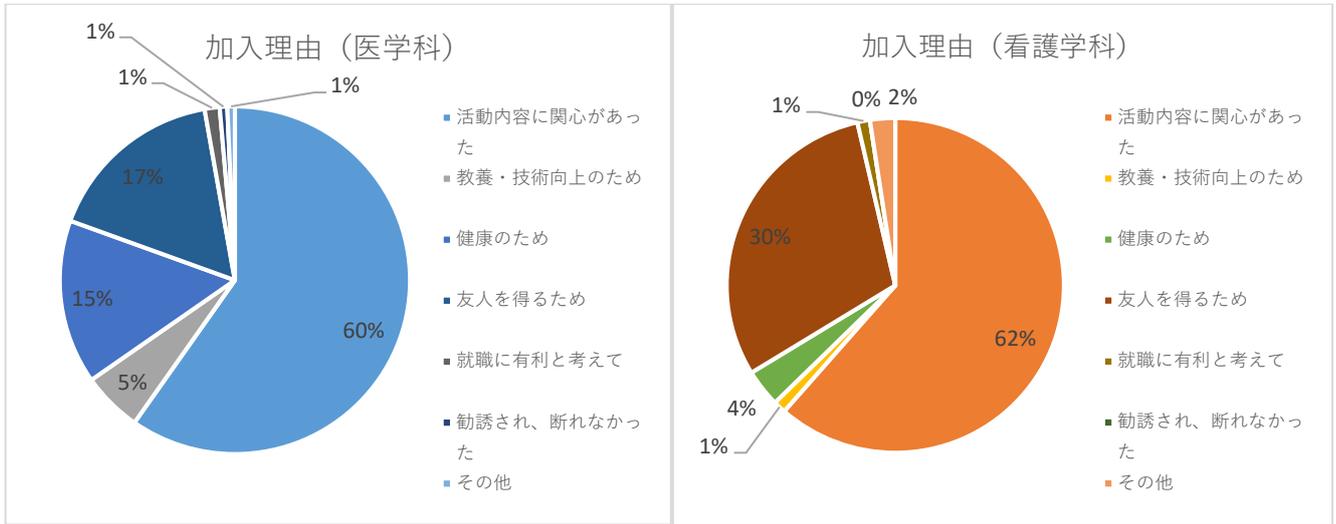
(課外活動団体加入率)

	医学科		看護学科		計	
学内の課外活動団体加入	121	72.0%	74	74.0%	195	72.8%
学外の課外活動団体加入	4	2.4%	3	3.0%	7	2.6%
学内・学外の課外活動団体に加入	15	8.9%	4	4.0%	19	7.1%
学内外とも加入していない	28	16.7%	19	19.0%	47	17.5%
計	168	100.0%	100	100.0%	268	100.0%



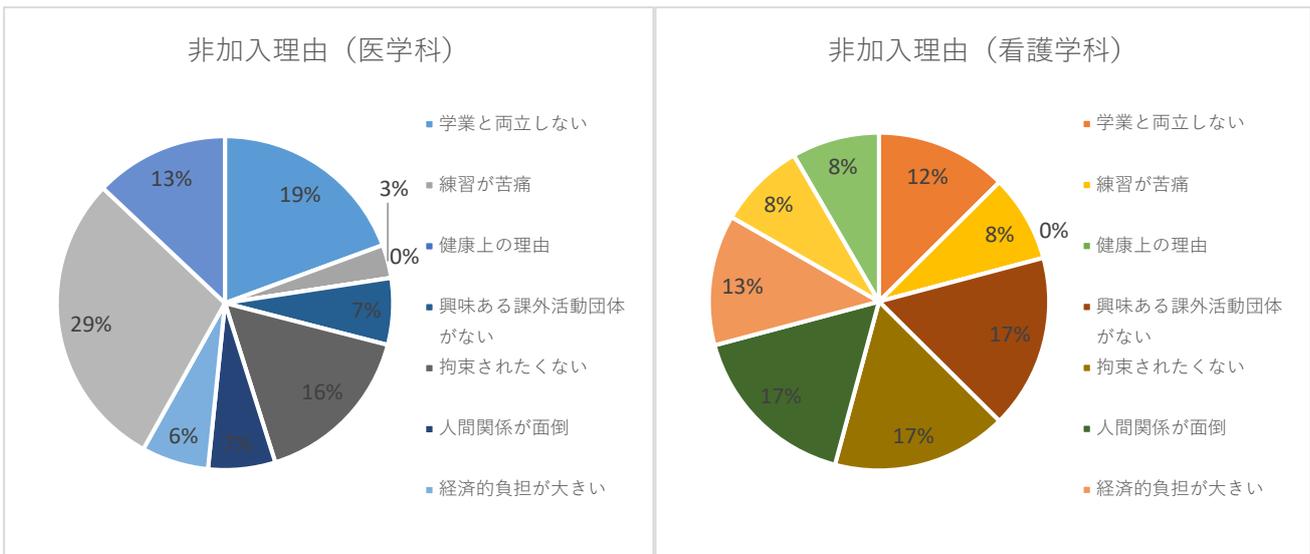
(加入の理由)

	医学科		看護学科		計	
活動内容に関心があった	86	59.7%	51	61.4%	137	60.4%
教養・技術向上のため	8	5.6%	1	1.2%	9	4.0%
健康のため	22	15.3%	3	3.6%	25	11.0%
友人を得るため	24	16.7%	25	30.1%	49	21.6%
就職に有利と考えて	2	1.4%	1	1.2%	3	1.3%
勧誘され、断れなかった	1	0.7%	0	0.0%	1	0.4%
その他	1	0.7%	2	2.4%	3	1.3%
計	144	100.0%	83	100.0%	227	100.0%



(非加入の理由)

	医学科		看護学科		計	
学業と両立しない	6	19.4%	3	12.5%	9	16.4%
練習が苦痛	1	3.2%	2	8.3%	3	5.5%
健康上の理由	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
興味ある課外活動団体がない	2	6.5%	4	16.7%	6	10.9%
拘束されたくない	5	16.1%	4	16.7%	9	16.4%
人間関係が面倒	2	6.5%	4	16.7%	6	10.9%
経済的負担が大きい	2	6.5%	3	12.5%	5	9.1%
時間がない	9	29.0%	2	8.3%	11	20.0%
特別の理由はない	4	12.9%	2	8.3%	6	10.9%
計	31	100.0%	24	100.0%	55	100.0%

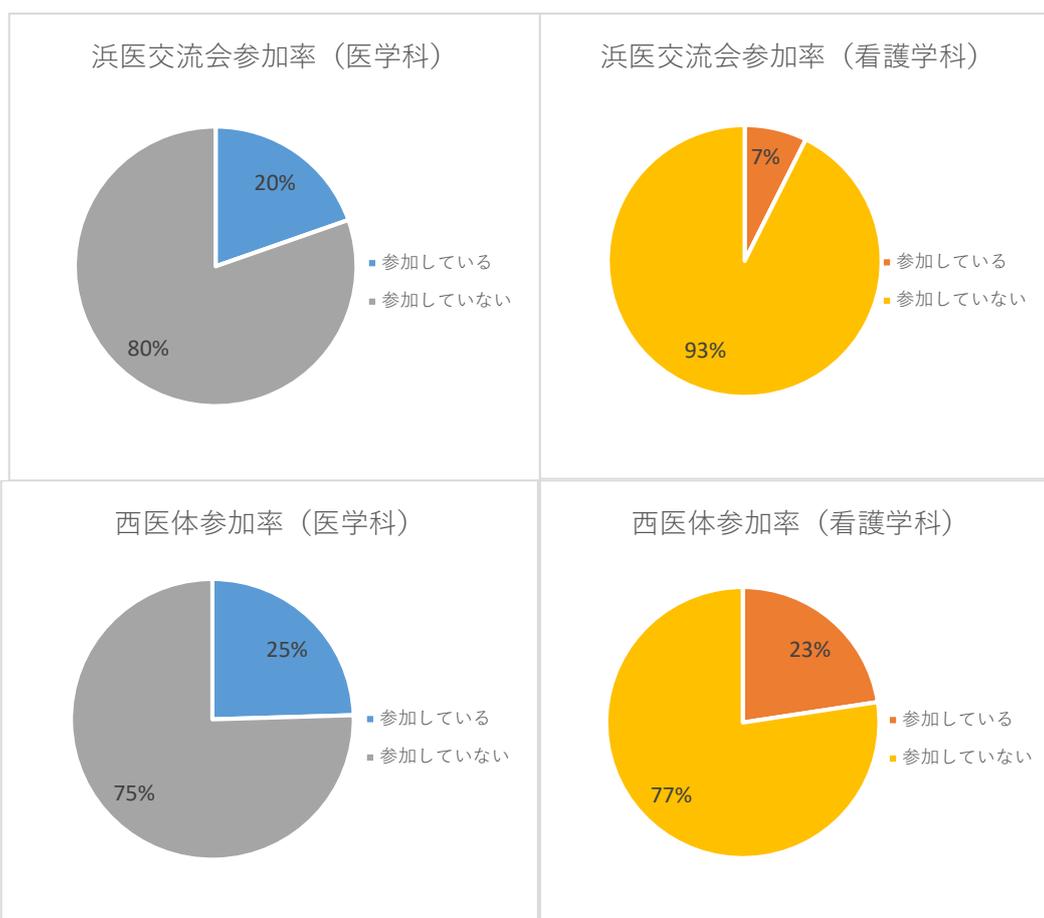


<浜松医科大学との交流会・西医体・若鮎祭への参加率>

浜松医科大学との交流会・西医体共に参加率は例年約 5 割程度であるが、新型コロナウイルス感染症の影響で令和 3 年度は開催中止となったこともあり、浜医交流会の参加率は 2 割に満たず、西医体の参加率は約 2 割となった。若鮎祭について、令和 3 年度はオンラインでの開催となり、両学科とも参加率は 2 割程度となっている。

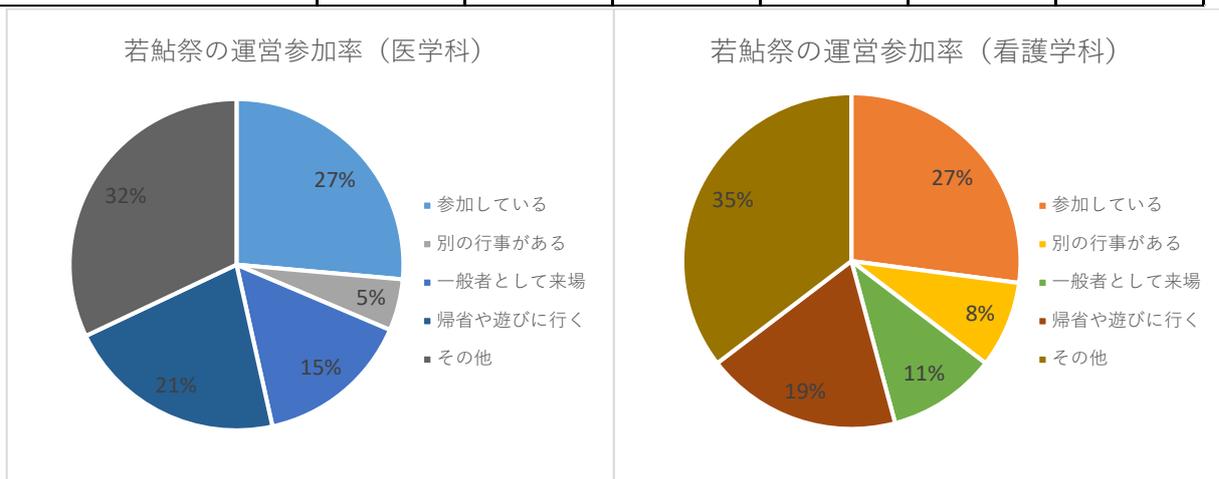
(浜医交流会参加率)

		医学科		看護学科		計	
浜医	参加している	31	19.6%	7	7.4%	38	15.0%
	参加していない	127	80.4%	88	92.6%	215	85.0%
	計	158	100.0%	95	100.0%	253	100.0%
西医体	参加している	39	24.5%	21	22.6%	60	23.8%
	参加していない	120	75.5%	72	77.4%	192	76.2%
	計	159	100.0%	93	100.0%	252	100.0%



(若鮎祭参加率)

	医学科		看護学科		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
参加している	42	26.4%	26	27.1%	68	26.7%
別の行事がある	8	5.0%	8	8.3%	16	6.3%
一般者として来場	24	15.1%	10	10.4%	34	13.3%
帰省や遊びに行く	34	21.4%	18	18.8%	52	20.4%
その他	51	32.1%	34	35.4%	85	33.3%
計	159	100.0%	96	100.0%	255	100.0%

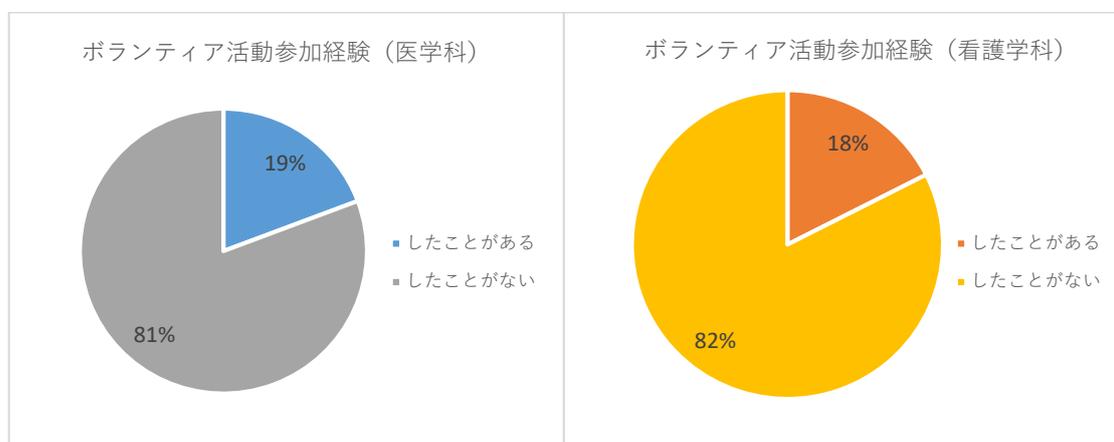


<ボランティア経験>

在学中にボランティアに携わったことがあると回答した学生は、両学科とも約 2 割であった。

(在学中のボランティア経験)

	医学科		看護学科		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
したことがある	32	19.3%	17	17.5%	49	18.6%
したことがない	134	80.7%	80	82.5%	214	81.4%
計	166	100.0%	97	100.0%	263	100.0%



Ⅶ. 卒業後の進路について

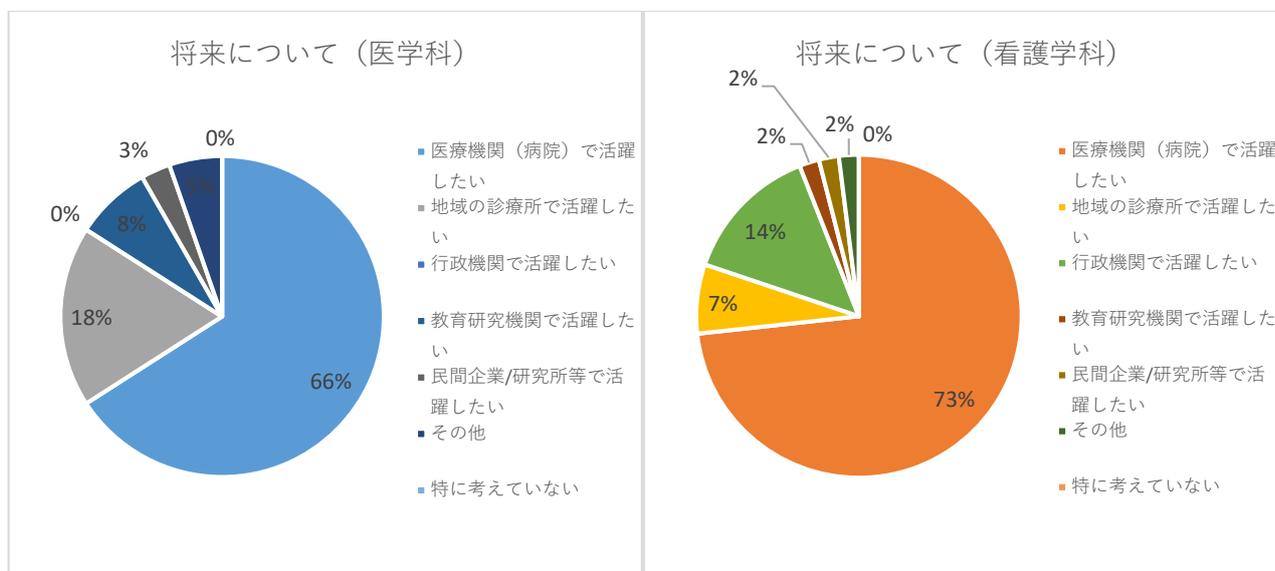
将来の理想像として、両学科ともに「医療機関（病院）で活躍したい」との回答が約7割であった。

希望就職先は、医学科では県外の病院との回答が約4割、県内の病院との回答が約1割、本学附属病院への就職希望は1割に満たず、他大学附属病院への就職希望は約2割であった。看護学科では県外の病院との回答が約2割、県内の病院との回答が1割、本学附属病院への就職希望は最も多く約3割、他大学附属病院への就職希望は2割であった。なお、進学希望者は両学科とも少数であった。

また、就職先を選ぶ基準は両学科とも共通して「学んだ知識や技術が生かせる」と、「人間関係が良い」の2項目が多数を占めた。

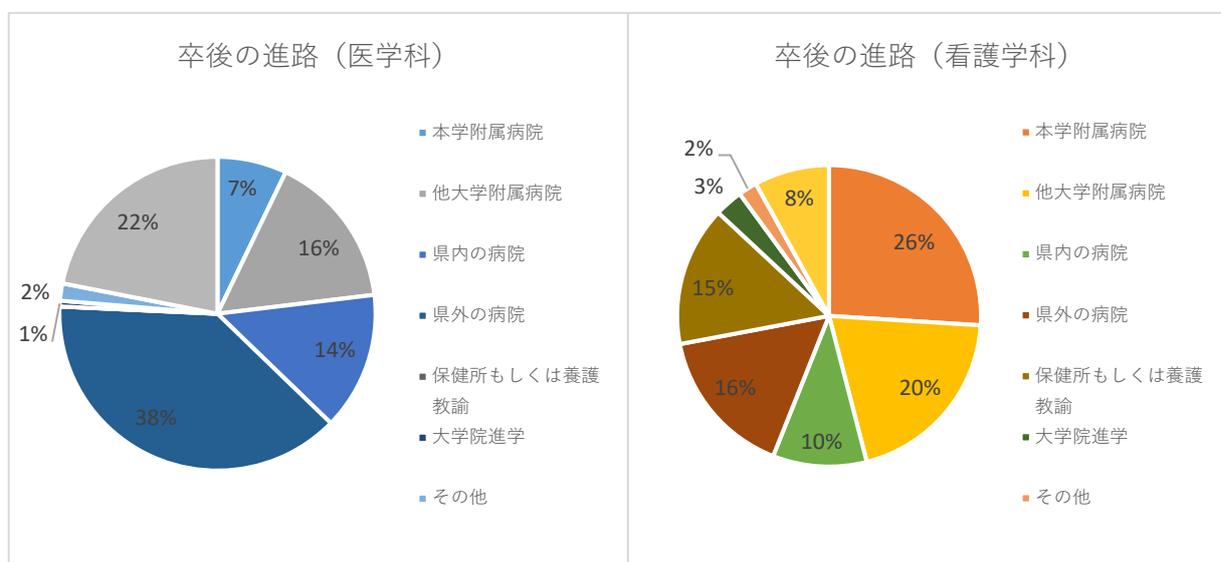
(将来の理想像)

	医学科		看護学科		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
医療機関（病院）で活躍したい	112	65.9%	74	73.3%	186	68.6%
地域の診療所で活躍したい	31	18.2%	7	6.9%	38	14.0%
行政機関で活躍したい	0	0.0%	14	13.9%	14	5.2%
教育研究機関で活躍したい	13	7.6%	2	2.0%	15	5.5%
民間企業/研究所等で活躍したい	5	2.9%	2	2.0%	7	2.6%
その他	9	5.3%	2	2.0%	11	4.1%
特に考えていない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	170	100.0%	101	100.0%	271	100.0%



(希望就職先)

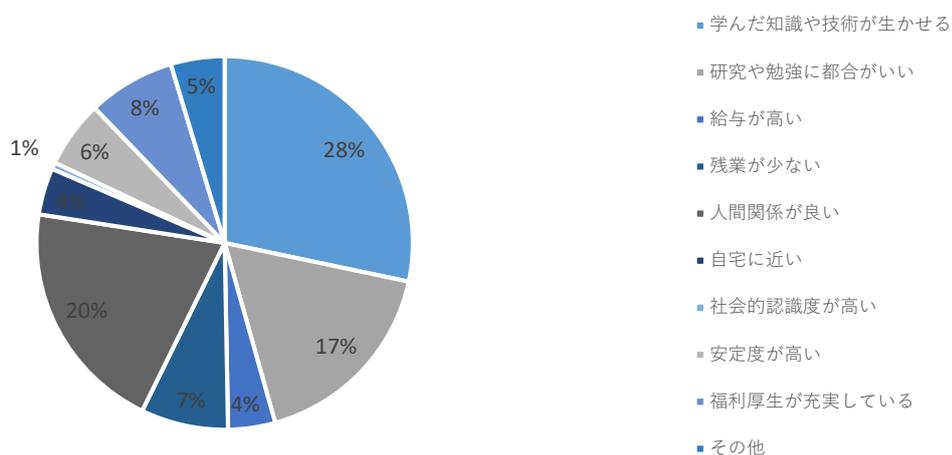
	医学科		看護学科		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
本学附属病院	12	7.1%	26	26.0%	38	14.1%
他大学附属病院	27	16.0%	20	20.0%	47	17.5%
県内の病院	24	14.2%	10	10.0%	34	12.6%
県外の病院	65	38.5%	16	16.0%	81	30.1%
保健所もしくは養護教諭	0	0.0%	15	15.0%	15	5.6%
大学院進学	1	0.6%	3	3.0%	4	1.5%
その他	3	1.8%	2	2.0%	5	1.9%
全く未定	37	21.9%	8	8.0%	45	16.7%
計	169	100.0%	100	100.0%	269	100.0%



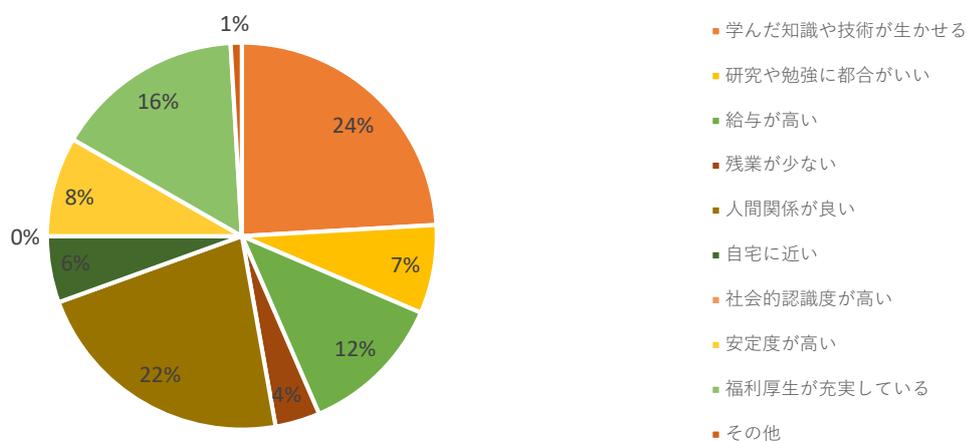
(就職先を選ぶ基準)

	医学科		看護学科		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
学んだ知識や技術が生かせる	49	28.3%	26	24.1%	75	26.7%
研究や勉強に都合がいい	30	17.3%	8	7.4%	38	13.5%
給与が高い	7	4.0%	13	12.0%	20	7.1%
残業が少ない	13	7.5%	4	3.7%	17	6.0%
人間関係が良い	35	20.2%	24	22.2%	59	21.0%
自宅に近い	7	4.0%	6	5.6%	13	4.6%
社会的認識度が高い	1	0.6%	0	0.0%	1	0.4%
安定度が高い	10	5.8%	9	8.3%	19	6.8%
福利厚生が充実している	13	7.5%	17	15.7%	30	10.7%
その他	8	4.6%	1	0.9%	9	3.2%
計	173	100.0%	108	100.0%	281	100.0%

就職先の選択基準 (医学科)



就職先の選択基準 (看護学科)



2022 年度

学修・学生生活実態調査

学修状況編

学修状況編については、旧「学習に関する実態調査」において実施されていた設問のうち、記述式の設問（問 65～74）についての集計結果を設問ごとに掲載しています。

なお、試験問題や評価方法等について回答された科目は、その具体的な理由は掲載していませんが、講義担当教員へは個別に通知し、講義内容の改善を図っています。

設問 65 高校で履修していないために、理解が困難だった科目がありましたか。(科目名を記入)

医学科	回答者数	物理未履修		化学未履修		生物未履修		未記入	
2年	51	16	31.4%			22	43.1%	13	25.5%
3年	43	7	16.3%	1	2.3%	10	23.3%	25	58.1%
4年	37	13	35.1%	2	5.4%	7	18.9%	18	48.6%
5年	5	1	20.0%					4	80.0%
6年	19	5	26.3%					14	73.7%
計	155	42	27.1%	3	1.9%	39	25.2%	74	47.7%

() 内の数字は科目を記入した人数を示す。

未履修科目	理解するのが困難だった科目名等
物理	物理全般 (17)、物理学基礎 (13)、物理学概論 (9)、物理化学 (1)、物理化学 (1)、物理化学 (1)、臓器生理学 1.2 (1)、生化学序論 (1)、細胞生物学基礎 (1)
	<ul style="list-style-type: none"> ● 後期の内容が特に難しかった。(勉強したがテストに対応できなかった) ● 物理を高校で学んでいなかったのもとても難しく、成績もとりにくかった。 ● スピードが早い。 ● 受験勉強の間に基礎をほぼ忘れてしていました。
化学	生化学序論 (1)、化学全般 (1)
生物	細胞生物学基礎 (20)、分子生物学基礎 (13)、生物学全般 (8)、核酸・病態生化学 (3)、基礎人体機能構造学 (3)、臓器生理学 I (1)、遺伝 (1)、核酸生化学 (1)、生化学全般 (1)、生理学 (1)
	<ul style="list-style-type: none"> ● 基礎がないため、授業内容の理解が苦しかった。 ● 全体的に難しかった。

看護学科	回答者数	物理未履修		化学未履修		生物未履修		未記入	
2年	39	25	64.1%	7	17.9%	9	23.1%	9	23.1%
3年	43	12	27.9%	6	14.0%	6	14.0%	26	60.5%
4年	14	5	35.7%	1	7.1%	1	7.1%	9	64.3%
計	96	42	43.8%	14	14.6%	16	16.7%	44	45.8%

() 内の数字は科目を記入した人数を示す。

未履修 科目	理解するのが困難だった科目名等
物理	物理全般 (32)、生命活動の物理学 (9)
	<ul style="list-style-type: none"> ● 基礎しか学修していないためどれも難しかった。 ● 留年するかと思って気が気じゃなかった。 ● すべてが理解しがたかった。 ● 目良先生の説明が分かりやすかったため大丈夫だった。
化学	化学全般 (6)、生化学・栄養学 (5)、生命活動の化学 (3)
	<ul style="list-style-type: none"> ● 基礎しか学んでおらず難しかった。
生物	生物全般 (8)、生物学 (5)、生化学 (2)、解剖生理学 (1)
	<ul style="list-style-type: none"> ● 覚えることが多く大変だった。範囲が広がった。

設問 66 困難だった科目を理解するために、どのように学習しましたか。(複数回答可)

医学科	2年	3年	4年	5年	6年	合計	
大学が開講している「自然科学入門」等で学修した。	18	7	9	2	4	40	44.0%
個人的に、高校の教科書や参考書等で学修した。	16	11	12	1	2	42	46.2%
その他	13	5	4		1	23	25.3%
合計	47	23	25	3	7	105	
未記入	12	20	17	3	12	64	

注) %は、回答者数から未記入者を除いたものを母数として算出した。(155-64=91)

その他の主な意見

- * インターネットでわからないところを調べた。
- * レジュメをがんばってよんだ
- * 学友や他大学の友人に質問した。
- * 高校で生物を履修していた友達から教わった。
- * 試験前に友人や先輩に聞いた

看護学科	2年	3年	4年	合計	
大学が開講している「自然科学入門」等で学修した。	1	2	1	4	6.7%
個人的に、高校の教科書や参考書等で学修した。	18	19	4	41	68.3%
その他	11	4	3	18	30.0%
合計	30	25	8	63	
未記入	9	20	7	36	60.0%

注) %は、回答者数から未記入者を除いたものを母数として算出した。(96-36=60)

その他の主な意見

- * YouTube で自己学習した。
- * ネットでわかりやすいサイトをみて理解した。
- * 授業に集中した。
- * 先生に教えてもらいにいった。
- * 授業の復習を行った。
- * 物理を分かる友人に質問しながら学習した。
- * 高校の教科書を見たり、先生に聞いたり、友達に聞いた。でも分からなかった。

設問 67 成績評価に関する満足度とその理由

医学科	2年	3年	4年	5年	6年	合計	
回答者数	51	43	37	5	19	155	100.0%
満足	11	15	12		5	43	27.7%
おおむね満足	29	21	16	3	8	77	49.7%
やや不満	8	2	5	2	1	18	11.6%
不満		1				1	0.6%
その他	2	3			1	6	3.9%
未記入	1	1	4		4	10	6.5%

満足と回答した者が記載した主な理由

- * だいたい自分はこれぐらいかなと予想している成績と一致していることが多いから。
- * 合格基準に達しているか否かが判別しやすかった。
- * 主に試験の点数がそのまま評価されているから。
- * 進級できたから。
- * 正当な評価だと思うから。
- * 先生方がちゃんとした基準により決めてらっしゃるため。
- * 努力の度合いと比例していたから。
- * 評価は公平にされていると感じるため。
- * 評価基準がはっきり示されていたため。
- * 予測通りの成績だった。

おおむね満足と回答した者が記載した主な理由

- * テストや課題の評価を考えると妥当だと思うから。
- * ほぼ予想通りだったため。
- * 一部不明瞭と感じる部分があったため「おおむね」としました。
- * 頑張って学習した教科が正当に評価されたから。
- * 思っていたよりもよい成績だった。
- * 自分の努力と結果に対して適切な評価がなされていた。
- * 特別不満に思うことがないから。
- * 評価基準が明確であるものが多く、努力次第で良い成績が取れるものが多いから。
- * 理不尽な評価をされたと思ったことはまだ一度もないから。
- * テストの点数が返ってこなくて確認できないと成績の評価がなぜこうなっているか確認できないため。
- * なぜその評価なのか理解できない科目もある。

- * レポートで評価する授業の成績評価がわかりにくい。また、英語実習がわかりにくい。
- * レポートや試験でどのように採点されているのかポイントがつかめないので難しかったです。
- * レポート類の評価方法を詳しく知りたい。
- * 絶対評価と相対評価のどちらかをシラバスに明記するか事前に通達して欲しい。
- * 全ての試験において、答案の開示がないから。
- * 特に英語系について、評価基準が明確でない。
- * 内容に不満はないが、時々急に見られなくなったり、気がつけば公開されているシステムに不満。
- * 評価の基準がよく分からない（履修要項をみても）ものがあつた。
- * 明らかに試験の難易度が高く、勉強したにもかかわらず良い成績が出なかった科目（線形代数）があつた。

やや不満と回答した者が記載した主な理由

- * どうしてその評価になったのかの理由が不明瞭であるから。
- * どのように採点されたかが答案返却がないため不明瞭である。
- * 科目によって基準がちがう。
- * 基準と解答・解説が明示されていない。
- * 自己評価と合わないことがあるため。評価基準を明言化してほしい。
- * 知識をつめているだけだから。
- * 点数の開示をしてくれる教員としてくれない教員がいる。
- * 勉強した／してないの度合いと成績の良／悪がかなり一致していないと感じるから。

不満と回答した者が記載した主な理由

- * 全人的医療体験学習の評価は明らかに不当。担当教員によって評価に差がありすぎる。

その他と回答した者が記載した主な理由

- * 成績評価の基準があまり理解できない。
- * 特に気にしていない。
- * 厳しいと感じる。

看護学科	2年	3年	4年	合計	
回答者数	39	43	14	96	100.0%
満足	6	6	4	16	16.7%
おおむね満足	31	29	8	68	70.8%
やや不満	2	5	1	8	8.3%
不満				0	0.0%
その他				0	0.0%
未記入		3	1	4	4.2%

満足と回答した者が記載した主な理由

- * 試験結果に伴う妥当な成績だったから。
- * 自分の努力に相応の成績だったから。
- * 納得できる評価だから。
- * 評価方法が予め開示されていたため。
- * 評価方法に則った評価であった。

おおむね満足と回答した者が記載した主な理由

- * 具体的な評価理由がわからないため。
- * 詳細を開示されないから。
- * 点数が開示されないため、正当に評価されているか分からないところがある。
- * 授業で取り扱った内容を試験で回答したにも関わらず、不当な成績をつけられた科目が一つあったため。

やや不満と回答した者が記載した主な理由

- * 成績をつける基準が厳しいと思うから。
- * 何が基準なのかわからない。
- * 過去問を解いた人と解いていない人とで大きく差がついたと思う。
- * どこを間違えたのか、どのような答えが求められているのか分からないまま、最終結果だけが示されるから。
- * 筆記試験の点数が分からないため、どのような評価がされ、成績をつけられているのかわからない。
- * コロナ禍で授業をオンライン受講していたことにより、成績が実際の受講態度や理解度より、低くつけられた気がする。
- * 物理基礎でダメだったので科学基礎と生物基礎を取ったのに、大学でいきなり専門の物理になって精神的に追い詰められた。全く理解できなかった。看護に物理は必要ですか？

設問 68 試験の範囲や問題の難易度 (最も適切であった科目と改善を要する科目、その理由)

設問 69 レポートの課題や分量 (最も適切であった科目と改善を要する科目、その理由)

設問 70 評価方法や評価基準 (最も適切であった科目と改善を要する科目、その理由)

本報告書においては、上記 3 項目は科目名と人数のみを掲載した。
記載された理由は、それぞれ担当教員に通知した。

設問 68 試験の範囲や問題の難易度

() 内の数字は科目を選んだ人数を示す。

学年	最も適切であった科目	改善を要する科目
医学科		
2 年	分子生物学基礎(10)、基礎有機化学(8)、 細胞生物学基礎(4)、基礎物理化学(3)、 フランス語 I a (2)、哲学入門(2)、 中国語 I a (2)、英語 I (1)、 社会学入門(1)、解析(1)、 ドイツ語 II b (1)、物理学基礎(1)、 中国語 II a (1)、歴史学(1)、 中国語 II b (1)、中国語 I b (1)、 フランス語 I b (1)、物理学概論(1)	線形代数(27)、解析(5)、 基礎人体機能構造学(3)、物理学概論(2)、 英語 II (1)
3 年	核酸・病態生化学(7)、代謝生化学(5)、 臓器生理学 II (4)、確率・統計(3)、 人体解剖学(2)、臓器生理学 I (2)、 組織学(1)、細胞生理学(1)、全て(1)、 中国語 II a (1)、倫理学(1)	核酸・病態生化学(11)、神経科学(4)、 臓器生理学 II (3)、臓器生理学 I (2)、 生化学序論(2)、代謝生化学実習(1)、 組織学(1)
4 年	薬理学(6)、眼・視覚系(3)、 皮膚・結合組織系(2)、内分泌・代謝系(2)、 循環器系(2)、耳鼻・咽喉系(1)、 分子生物学基礎(1)、病態発生学 I (1)、 医学英語(1)、歯科口腔系(1)、 血液と造血臓器系(1)、全て(1)、 研究室配属(1)、精神系(1)	耳鼻・咽喉系(3)、免疫学(2)、再生医学(2)、 腎・尿路系(2)、行動科学応用(2)、 皮膚・結合組織系(1)、代謝生化学(1)、 ドイツ語 II a (1)、医学英語(1)、 病態発生学 II (1)、歯科口腔系(1)

5年	法医学(1)、医療安全・感染対策系(1)、 分子生物学基礎(1)	日本語表現法・アカデミックライティング [*] (1)、 組織再建系(1)、麻酔・緩和医療学(1)
6年	全て(1)、保健医療と社会(1)	臓器生理学 I (1)

注) 網掛けは「特に良かった科目」と「改善してほしい科目」の両方に掲げられている科目を示す。

学年	最も適切であった科目	改善を要する科目
看護学科		
2年	解剖生理学 I (13)、 ランダム現象の数理 (9)、中国語 a (5)、 中国語 b (5)、スポーツ科学実践 (1)、 解剖生理学 II (1)、感染症学・免疫学 (1)、 基礎看護技術演習 I (1)、 基礎看護技術演習 II (1)、 生命活動の化学(1)、生命活動の物理学(1)	病理学 (11)、英語 I b (3)、英語 I a (2)、 英語実習 I a (2)、英語実習 I b (2)、 解剖生理学 II (2)、生物学 (2)、 生命活動の物理学 (2)、 感染症学・免疫学 (1)、 基礎看護技術演習 II (1)、 現代社会と科学 (1)、生涯発達論 (1)、 生命活動の化学 (1)
3年	成人保健看護学各論 (8)、 老年保健看護学各論 (5)、 在宅看護学概論 (4)、母性看護学演習 (4)、 ランダム現象の数理 (3)、疫学 (3)、 老年保健看護学概論 (2)、 解剖生理学 I (1)、解剖生理学 II (1)、 小児保健看護学各論 (1)、 地域保健看護学 (1)、中国語 b (1)、 保健統計学 (1)	診断と治療 I (10)、在宅看護学各論 (3)、 母性看護学演習 (3)、診断と治療 II (2)、 地域保健看護学 (2)、 社会福祉・社会保障論 (1)、 病態生理学特論 (1)、母性看護学概論 (1)
4年	フランス語 a (1)、フランス語 b (1)、 医療英語 (1)、成人保健看護学各論 (1)、 老年保健看護学演習 (1)	新生児学 (2)、病態生理学特論 (1)

注) 網掛けは「特に良かった科目」と「改善してほしい科目」の両方に掲げられている科目を示す。

設問 69 レポートの課題や分量

() 内の数字は科目を選んだ人数を示す。

学年	最も適切であった科目	改善を要する科目
医学科		
2年	哲学特論 (6)、医学概論Ⅱ (5)、 医学概論Ⅰ (4)、 全人的医療体験学習Ⅰ (3)、哲学入門 (3)、 中国語Ⅰ a (3)、社会学入門 (2)、 現代社会論 (2)、線形代数 (2)、 解析 (1)、生物学実習 (1)、 基礎人体機能構造学 (1)、人文地理学 (1)	文化人類学 (6)、化学実習 (4)、 物理学実習 (3)、医学概論Ⅱ (3)、 附属病院体験実習 (3)、物理学概論 (2)、 全て (1)、 日本語表現法・アカデミックライティング (1)、 現代社会と科学 (1)
3年	代謝生化学 (5)、確率・統計 (3)、 発生学 (3)、臓器生理学Ⅱ (2)、全て (1)、 臓器生理学実習Ⅱ (1)、 代謝生化学実習 (1)、行動科学基礎 (1)、 組織学 (1)、臓器生理学実習Ⅰ (1)、 核酸・病態生化学実習 (1)、 医学概論Ⅱ (1)、倫理学 (1)	行動科学基礎 (9)、代謝生化学実習 (3)、 倫理学 (1)、臓器生理学Ⅰ (1)、 臓器生理学Ⅱ (1)、臓器生理学実習Ⅰ (1)、 発生学 (1)
4年	筋・骨格系 (2)、腫瘍学 (2)、 医学英語 (1)、医の倫理Ⅰ (1)、 循環器系 (1)、診断学序論 (1)、 確率・統計 (1)、たいてい適切 (1)、 再生医学実習 (1)、研究室配属 (1)	行動科学応用 (9)、皮膚・結合組織系 (2)、 病態発生学Ⅱ (1)
5年	★医の倫理Ⅲ (1)、 医療イノベーションの基礎 (1)	少人数能動学習 (1)、早期体験学習 (1)
6年	全て (1)	

注) 網掛けは「特に良かった科目」と「改善してほしい科目」の両方に掲げられている科目を示す。

() 内の数字は科目を選んだ人数を示す。

学年	最も適切であった科目	改善を要する科目
看護学科		
2年	医療社会学(4)、基礎看護技術演習Ⅰ(4)、 基礎看護技術演習Ⅱ(4)、生物学(4)、 中国語a(4)、中国語b(4)、 スポーツ科学実践(2)、 現代社会と科学(2)、医学概論(1)、 医療の倫理Ⅰ(1)、地域保健看護学(1) 文化人類学(1)	生涯発達論(19)、英語実習Ⅰb(3)、 英語実習Ⅰa(3)、 アカデミック・スキル(1)、 医学概論(1)、看護学概論Ⅱ(1)、 中国語b(1)
3年	病態生理学特論(10)、 精神保健看護学各論(5)、 環境保健学(※保健師課程必修)(3)、 社会福祉・社会保障論(3)、 地域保健看護学(2)、 小児保健看護学各論(1)、 生命活動の物理学(1)、保健医療行政論(1)	看護過程演習Ⅱ(4)、 基礎看護学実習Ⅱ(2)、 在宅看護学概論(2)、在宅看護学各論(2)、 社会福祉・社会保障論(2)、 地域保健看護学(2)、保健統計学(2)、 母性看護学演習(2)、 看護学研究方法論(1)、看護研究(1)、 診断と治療Ⅰ(1)、生化学・栄養学(1)、 生涯発達論(1)
4年	在宅看護学実習(1)、 老年保健看護学実習Ⅱ(1)、 フランス語b(1)、フランス語a(1)	助産診断・技術学Ⅱ(1)、 小児保健看護学実習(1)、 成人保健看護学実習Ⅱ(1)、 母性看護学実習(1)

注) 網掛けは「特に良かった科目」と「改善してほしい科目」の両方に掲げられている科目を示す。

設問 70 評価方法や評価基準

() 内の数字は科目を選んだ人数を示す。

学年	最も適切であった科目	改善を要する科目
医学科		
2年	現代社会論 (5)、分子生物学基礎 (5)、文化人類学 (3)、フランス語Ⅱ a (2)、細胞生物学基礎 (2)、中国語Ⅰ a (2)、基礎人体機能構造学 (1)、中国語Ⅰ b (1)、全て (1)、哲学入門 (1)、中国語Ⅱ a (1)、基礎物理化学 (1)、地域論 (1)、中国語Ⅱ b (1)	線形代数 (7)、英語実習Ⅱ (6)、英語実習Ⅰ (3)、医学概論Ⅱ (2)、医学概論Ⅰ (2)、全人的医療体験学習Ⅰ (1)、英語Ⅰ (1)、文化人類学 (1)、現代社会論 (1)、全て (1)、英語実習Ⅲ (1)、基礎人体機能構造学 (1)
3年	核酸・病態生化学 (8)、臓器生理学Ⅱ (2)、線形代数 (1)、人体解剖学 (1)、代謝生化学実習 (1)、全て (1)、フランス語Ⅱ a (1)、代謝生化学 (1)	神経科学 (4)、行動科学基礎 (3)、組織学 (1)、倫理学 (1)、臓器生理学Ⅱ (1)、教育学 (1)、臓器生理学実習Ⅰ (1)、臓器生理学Ⅰ (1)、代謝生化学実習 (1)、生化学序論 (1)
4年	薬理学 (2)、皮膚・結合組織系 (1)、微生物学 (1)、統計講義全般 (1)、代謝生化学 (1)、全て (1)、免疫学 (1)	行動科学応用 (2)、薬理学実習 (2)、歯科口腔系 (1)、再生医学 (1)、医の倫理Ⅰ (1)、医学英語 (1)
5年	確率・統計 (1)、法医学 (1)、検査医学 (1)	日本語表現法・アカデミックライティング (1)、少人数能動学習 (1)、法医学 (1)
6年	全て (1)	★医の倫理Ⅲ (1)
学年	最も適切であった科目	改善を要する科目
看護学科		
2年	ランダム現象の数理 (9)、解剖生理学Ⅰ (9)、医療社会学 (2)、基礎看護技術演習Ⅱ (2)、中国語 a (2)、中国語 b (2)、スポーツ科学実践 (1)、解剖生理学Ⅱ (1)、生涯発達論 (1)、病理学 (1)	英語実習Ⅰ a (6)、英語実習Ⅰ b (5)、生涯発達論 (3)、現代社会と科学 (2)、病理学 (2)、医学概論 (1)、医療の倫理Ⅰ (1)、医療社会学 (1)、看護学概論Ⅱ (1)
3年	病態生理学特論 (3)、母性看護学演習 (3)、老年保健看護学各論 (2)、ランダム現象の数理 (1)、疫学 (1)、	小児保健看護学各論 (6)、看護過程演習Ⅱ (3)、ウィメンズヘルス学 (1)、

	在宅看護学概論（1）、 成人保健看護学各論（1）、 精神保健看護学各論（1）、 地域保健看護学（1）、保健統計学（1）	英語実習 I b（1）、基礎看護学実習Ⅱ（1）、 小児保健看護学概論（1）、心理学（1）、 地域保健看護学（1）
--	--	--

注) 網掛けは「特に良かった科目」と「改善してほしい科目」の両方に掲げられている科目を示す。

注) 看護学科4年生は記載者がいなかった。

設問 71 特に、印象に残っている科目は何ですか。

特に印象に残っている科目および理由は、上位3科目のみ本報告書に掲載した。

回答のあったすべての科目および理由は、それぞれ担当教員に通知した。

特に良かった科目として上位に挙げられた科目および主な理由

医学科	
科目名	「核酸・病態生化学」、「分子生物学基礎」、「生物学実習」
理由	<ul style="list-style-type: none"> ● 授業内容が充実していたから。 ● 難易度は高かったが非常に勉強になった。 ● 勉強がとても大変だったため。 ● 勉強は時間がかかったが、知識を得ることができたから。 ● やったことが一番頭に残っている。 ● 授業がとても分かりやすく、聞きやすい構成で話されていた。 ● 教員の面倒見がよく、授業も非常にわかりやすかった。 ● 物理選択者にも理解しやすく、講義、資料、試験、全てに平田先生の愛を感じた。 ● 大学でしかできない実習を行う貴重な機会であったから。 ● 大変ではあったが、実際に細胞を顕微鏡で見たり、ネズミを解剖したり学びも多く楽しかった。

看護学科	
科目名	「医療社会学」、「スポーツ科学実践」、「母性看護学演習」
理由	<ul style="list-style-type: none"> ● 福祉の視点から考えたことを話してくださったり、どのような意見も大切にしてくださいましたから。 ● 毎回の講義が楽しみで先生の話がとても考えさせられることだったから。 ● 講義が一番おもしろかったから。 ● 他の生徒の意見を知ることができて、医療や社会について多様な視点で物事をみることができた。 ● 普段と違う視点からのものの見方を学べた。 ● 授業のコメントに対して次の授業でコメントがあったから。 ● 楽しくできたから！ ● 毎週、運動できて楽しかったから。 ● 実施に体を動かしながら、体について学ぶことができたから。 ● 座学、アセスメント、演習と様々な学習方法だったため。 ● 先生方が親しみやすかった。 ● アクティブラーニングがとても分かりやすかった。 ● 自分が興味ある内容だったため。

改善してほしいとする科目の主な理由

医学科	
	<ul style="list-style-type: none"> ● テストに授業内容を超えた難易度の問題があったから。 ● もしかしたら習った範囲の中のものを使って解けるのかもしれないが、概念として習っていないものがテストにでていた。 ● 講義は良かったが、普通の試験をしてほしかった。 ● 授業でレジュメの内容を掘り下げることが少なく、どこがポイントなのか分かり辛かった。 ● 内容や授業はとても重要であるが、あまりに量が多く、他の教科をおざなりにせざるをえなかったから。 ● 量が多く、他の教科も満足に勉強できなかった。 ● テスト範囲が広すぎて心理的に辛かった。 ● テストを受ける意味があまり理解できなかった。 ● 恣意的な講義の不快。

看護学科

- 課題が分かりづらい。
- レポートの基準が厳しい分、特にはじめの方は「このレポートで大丈夫か」と不安に思
って大変だと感じた科目だったから。
- 履修して何の役にたつのが分からない。
- もっと英語で議論するなど、話す機会があればよかったと思うから。
- 何をしているのかよく分からなかった。
- あまり効果を感じられなかった。
- 資料の字が小さくて見にくい。
- 授業の始まりの時間に先生が遅れてくることがあった。
- 課題が多いにもかかわらず手書きでなければいけないことが、時代錯誤で理解できませ
ん。情報流出のリスクは手書きでもある上、病院ではパソコンを使っているのではない
ですか。教員によって差があるのではないかと感じてしまいます。
- 厳しすぎてトラウマになったから。

設問 72 特に、印象に残っている教員は誰ですか。

印象に残っているとして挙げられた教員および理由の詳細は、本報告書には掲載しないが
該当教員には通知した。

印象に残っている主な理由としては、以下のとおりである。

医学科

- イラストがわかりやすかったから。
- オーラがすごかった。
- レジュメが見やすく、授業も分かりやすかったから。
- 一番試験が難しいという噂を一年生の時から聞いていたから。
- 進級が厳しい為。
- シャベリ方が優しい。授業が面白い。
- 学生に語りかけながら、授業してくださった。
- 講義時に知識ではなく考え方を教えることが多かったから。
- 専門知識が豊富で、接しているなかで多くのことを学ぶことができるから。
- レジュメがわかりやすくまとめられていて、理解が進められた。わからない点をしっかり
最後まで説明してくださり、とても勉強になった。
- 質問に伺った際に親切に対応してくださったため。
- 丁寧な授業だと感じたから。

看護学科

- ウィメンズヘルスの講義を受け、その中で女性の身体がいかに尊いものなのかを学ぶことができた。
- 楽しい授業の上に、知識や考えが身につけてよかったため。
- 毎回の授業がおもしろく、興味をもてたから。学習への意欲があがったから。
- 授業後のコメントについて共有して考える時間が長くあり新鮮だったから。
- 話がおもしろい！授業が1番楽しみだったから。
- 技術演習の際、適切なアドバイスをくれた。優しく丁寧に教えて下さった。
- 授業中も授業外でも関わって下さったから。
- 印象に残るワードを残してくれたから。
- 授業が面白かった。進路に関する説明に答えていただいた。
- 授業での疑問に即対応して下さったり、グループワークでの悩みにも親身に相談のって下さったから。

設問 73. 本学に対する満足度と主な理由

医学科		2年	3年	4年	5年	6年	合計	
回答者数		51	43	37	5	19	155	100.0%
教育内容	満足	5	11	13		3	32	22.7%
	おおむね満足	32	26	9	3	10	80	56.7%
	やや不満	9	2	6			17	12.1%
	不満	1	0	4			5	3.5%
	わからない	3	1	1	1	1	7	5.0%
未記入		1	3	4	1	5	14	9.9%

注) %は、回答者数から未記入者を除いたものを母数として算出した。

【教育内容】

満足と回答した者が記載した主な理由

- * レジюмеで授業は難しいこともあるが、先生方が理解を促進させるような内容で話してくださいるので。
- * 学ぶべきことをきちんと教えていただけているから。
- * 現在困っていないのと、他大学の医学教育をあまり知らず比較できないから。
- * 授業内容が幅広い知識をカバーしているため。
- * 適度な難易度だと思うから。

おおむね満足と回答した者が記載した主な理由

- * 教員に情熱があり、しっかりと教えてもらっているという実感がある。
- * 講義・臨床実習ともに指導体制・教材ともによく作成されていたため。
- * 試験やレポートは苦勞したこともあるけど、充実していたから。
- * 授業が難しい部分もあるが、多くの先生方は分かりやすく、手厚く授業をされているから。
- * 自由度が高い点。
- * 範囲が広く、深く学べる。地域医療についても詳しく解説してくれたり、現地の人の話をきけたりできたから。
- * 授業内容をきちんと説明してくれる教員が多く、勉強しやすかったから。
- * 1年生は教養科目ばかりでもう少し専門的なことに触れた学習がしたかった。
- * コロナによる病院立ち入り禁止や制限が多かった。
- * そこまで多くの問題がある授業がなかったから。
- * もう少し受け身じゃないと嬉しい。
- * 一部の悪い科目では、学習したい人でさえ学習にならないカリキュラムになっているように感じた。その点以外は問題なし。
- * 国試対策に力をいれてほしい。
- * 試験の難易度が少し高いと感じる。選択式の間を増やしてほしい。
- * 選択単位を1. 2年全体でいくつとしてあると嬉しいと感じる。
- * 他大学に比べて教養科目の必修が多い。

やや不満と回答した者が記載した主な理由

- * 内容が多すぎるため、自分の興味を追求したり、ゆっくり復習する時間がない。また、人権教育（包括的性教育などを含む）の時間をもっと取ってほしい。
- * 理解しにくい科目も多くあった。
- * 細かすぎる知識が試験等に出されるが、試験が終わるとすぐ忘れるのもっと基礎の本当に大事な部分の理解を重視してほしい。
- * 一般教養の内容がやや多く、試験も難しい。
- * 英語の授業が何をしたいかよく分からないからです。
- * 系統別講義、内容の重複が多い
- * 授業内容は良いが、分量を考えてほしい。又、自主的に学ぶ時間をもっと確保してほしい。
- * 臨床科目は国家試験の範囲をこえ定期試験が難しいものが多い。国試で知識は十分とは

全く思わないが、まずは集中して必要最低限を固めてから発展内容を学びたいので、講義や実習の内容は発展的であってほしいが、試験はいつそ簡単にして（国試やC B Tの範囲）頂く方が学習効果は高いといえる。

不満と回答した者が記載した主な理由

- * 遠隔講義のOB講師に対し、学生を教室の前方に立たせ挨拶させた授業があったから。
- * 授業が長すぎ 多すぎです。（16：00以降に授業入れないでほしい）
- * 授業を通じて能動的に学習させようとする姿勢がない。スライドが多すぎる。結局は自己学習の質で学生の質が決まっている気がする。
- * 専門科目ごとの教員間の連携がとれていないように思える。同一科目であってもまとまっておらず学習しにくかった。

分からないと回答した者が記載した主な理由

- * 他学を知らないため。
- * 理想的な教育内容の基準をもっていないため判断不能。その先生方も一生懸命やってくださっていると感じている。

医学科		2年	3年	4年	5年	6年	合計	
	回答者数	51	43	37	5	19	155	100.0%
共用 修 施 環 設 境	満足	12	10	10		3	35	24.8%
	おおむね満足	30	20	14		8	72	51.1%
	やや不満	6	5	6	1	3	21	14.9%
	不満	1	5		3		9	6.4%
	わからない	1	0	2	1		4	2.8%
	未記入	1	3	5		5	14	9.9%

注) %は、回答者数から未記入者を除いたものを母数として算出した。

【学習環境・共用施設】

満足と回答した者が記載した主な理由

- * ラウンジや図書館といった、落ち着いて勉強できる環境があるので非常に有難い。
- * 学生ラウンジや多目的教室など、学生のニーズに合わせて環境を整えてくださっているため。
- * 校舎の改築もあり、使いやすいから。自習スペースも充実しているから。
- * 図書館は静かで勉強しやすいです。

おおむね満足と回答した者が記載した主な理由

- * 24Hの図書館がうれしい。
- * 常に清潔に保たれている。
- * ハイフレックス形式 録画視聴可能など最新の学習環境が整備されている。
- * 図書館、ラウンジ共に居心地がよかったため。
- * 設備がだんだんと新しくなっているため。
- * 多目的室の増室など大学の規模を考えれば十分な環境を提供してもらっていると感じられるため。
- * 勉強スペースがあり、学校だけでも十分な勉強をすることが可能である。
- * Wi-Fi が少し弱い。
- * ラウンジを多く利用していたが、ごみが散らかったままになっていることがよくあった。
- * 自習スペースが足りない。(特に12-2月)
- * 図書館で勉強する際にデジタルデバイス用のコンセントがない。
- * 特に不便を感じないから。

やや不満と回答した者が記載した主な理由

- * A 講義室の席座数が学生数に対して足りておらず、スペースが狭いから。
- * COVID-19の影響により利用が制限されているから。
- * MMCのPCの起動が遅い。
- * MMCの利用可の席がやや少ないように思われます。10時以降も学習室が使えればと思います。
- * トイレについて 男子トイレと女子トイレが階ごとに違ったりする。場所が偏っているのが嫌。
- * ラウンジが小さいからです。
- * 学習室ごとに備わっている家具を公平にしてほしい。
- * 学生がアクセスしやすい所にコンビニやなんらかのカフェ等があると嬉しいと感じる。
- * 自転車通学者が多いのに、空気入れや修理ができない。
- * 借りて使える教室がない。(あっても知らないのかも) パソコンが遅かったり、OSがアップデートされていなかったりする。授業プリントをよく印刷するが、すぐにポイント上限に達してしまう。
- * 図書館の自習席を増やしてほしい。使いやすい自習席を増やしてほしい。
- * 利用制限が急にかされる。(連絡が遅い) 部室での勉強も重要。
- * 立地が不便。車を使いたい。

不満と回答した者が記載した主な理由	
* あまりに課外活動を禁止しすぎだと感じてしまう。コロナウイルスの重篤者の減少を反映していないように感じる。2年前と対応が変わっていないのは違和感がある。	
* コピーや印刷が非常にやりにくい。	
* まともな部屋をもっと用意してほしい	
* 屋外施設（テニスコート）すら使えないから。	
* 自習できるスペースが少ない。コロナを理由に共有施設を使えない期間が長すぎる。	
* 食堂の混雑はいつまでも改善されず、食品類は少ない。営業時間、日程も短いので大学に残って勉強しようと気なくなります。食堂の改善は学修環境の改善につながると思うので、何とかして欲しいです。	
分からないと回答した者が記載した主な理由	
* 他学を知らないため。	

		医学科	2年	3年	4年	5年	6年	合計	
		回答者数	51	43	37	5	19	155	100.0%
学 生 支 援	満足	8	11	7		1		27	19.3%
	おおむね満足	25	18	12	2	9		66	47.1%
	やや不満	6	6	4		3		19	13.6%
	不満	4	3	4	1	1		13	9.3%
	わからない	8	2	3	2			15	10.7%
	未記入	0	3	7			5	15	10.7%

注) %は、回答者数から未記入者を除いたものを母数として算出した。

【学生支援】

満足と回答した者が記載した主な理由	
* いつも丁寧な説明をしてくださるため。	
* きちんと対応してくださる人がいて、メール等での連絡もこまめであるから。	
* 沢山支援されています。満足。	
* 今までに困ったことがとりあえずないから。	

おおむね満足と回答した者が記載した主な理由

- * シラバスを更新された際など、学生生活にとって重要なものについてはご一報いただきたく思うため。
- * メール等での周知が早い。
- * 学生と教務の職員の方々、教員の方々との距離感はこれぐらいが良いと思う。
- * 学生を支えようとして下さっている姿勢がうれしいです。
- * 学生課に行けば、だいたいことは解決する。
- * 学生課の方々には、様々な面で大学生活を支援していただいているので、感謝しています。17：30を過ぎると学生課前の通路が閉鎖されるのは不便です。
- * 質問したことには丁寧に答えてもらえるため。
- * 学費や学割などは手厚く、告知もあるが、それ以外はあまり支援の実体がわからない
- * 学生課からの連絡が遅いと感じるため。もう少し事前に送ってほしい。
- * 対応がしばしば遅いから。学生課の方々は大変優しくて、話しかけやすいし相談しやすい。

やや不満と回答した者が記載した主な理由

- * お葬式などが欠席扱いとなる点。
- * 課外活動の制限が過剰だと思うから。
- * 仕方ない面もあることだが、コロナ禍での部活動の制限が少し厳しいと感じた。他大学にくらべても厳しめだと思う。制限の緩和の目途も立たず、部活動の運営が大変だったこともあり、いつ次の決定がなされるかという目安があればより良かった。
- * 施設間で連携がとれていない。
- * 他大学のサークル、部活がもう制限されていない中、この大学だけ少し厳しすぎるように感じるから。
- * 病院見学に行き辛く、研修先が難しい。
- * 連絡が遅すぎる為。特に個人面談について。

不満と回答した者が記載した主な理由

- * Officeなどの教育上必要となる支援が少ないと感じたから。食堂や購買が貧弱だと感じたから。
- * WEB-CLASSが使いなさをすぎる。
- * 課外活動に対する制限が厳しいにもかかわらず、講義に対する制限はそこまで強くないので、つりあっておらず、講義外の支援に対して不満である。
- * 学生によりそうというより大学に従うという感じがする。

- * 実習の外病院（内科での実習含む）の交通費が、個々人で異なるのは納得できない。高額で生活に負担が生じている。
- * 非常に丁寧に対応してくださる方もいるが、なぜか上から目線で言われることが多い。学生課の対応が丁寧でないことは、多くの先輩からも聞くし自身も感じる。
- * 忙しいのは分かるが、最低限の連絡すら遅いことが多く、不満をたびたび感じるため。
- * 蔓延防止措置が全国的に解除されているにも関わらず、適切な説明もなく、課外活動が禁止されているから。
- * 融通がきかない。

分からないと回答した者が記載した主な理由

- * 3回目のワクチン接種が遅すぎる。
- * 他学を知らないため。
- * 受けている実態がないです。
- * 生協の店長の Twitter の情報は役立った。

看護学科		2年	3年	4年	合計	
回答者数		39	43	14	96	100.0%
教育内容	満足	12	11	4	27	31.4%
	おおむね満足	22	27	5	54	62.8%
	やや不満	1	1		2	2.3%
	不満					
	わからない	2		1	3	3.5%
未記入		2	4	4	10	

注) %は、回答者数から未記入者を除いたものを母数として算出した。

【教育内容】

満足と回答した者が記載した主な理由

- * 看護に関する必要な知識を得られている。
- * 専門科目で看護以外のことも学べるから。
- * 専門的なことを多く学べる。国試に繋がる学習が多い。
- * 様々な方面からの学習内容で、実際の医師や看護師の授業も受けられたため。
- * 理解しやすい授業だと思ったから。

おおむね満足と回答した者が記載した主な理由	
*	ゲストスピーカーが多く、専門的で充実した内容。
*	最新の知見などもからめた授業をしてくださったから。
*	授業内容も学びが多かった。テストの難易度も妥当。
*	丁寧に授業していた先生が多かったから。
*	幅広い知識を学べたから。
*	専門的でレベルの高い先生が多いから、
*	滋賀医科大学がすきだから。
*	一部 授業数が多すぎるものがあったが、それ以外は時間に見合ったものであると思う。
*	対面とオンラインの両方があり、体調がわるくても授業を受けることができたから。
*	英語学習の機会が不足していると感じるため。
やや不満と回答した者が記載した主な理由	
*	レジュメが白黒で見にくい。
わからないと回答した者が記載した主な理由	
*	他大学の教育とかを知らない。

看護学科		2年	3年	4年	合計	
回答者数		39	43	14	96	100.0%
共学 用修 施環 設境	満足	8	8	2	18	20.9%
	おおむね満足	23	21	5	49	57.0%
	やや不満	5	7	2	14	16.3%
	不満		3	1	4	4.7%
	わからない	1			1	1.2%
未記入		2	4	4	10	

注) %は、回答者数から未記入者を除いたものを母数として算出した。

【学習環境・共用施設】

満足と回答した者が記載した主な理由	
*	ラウンジ、図書館など勉強場所が多い。
*	ラウンジや図書館などの自習スペース（空き時間を過ごせる場所）があるから。
*	工事は多いがきれいになっている。
*	病院が隣にあるため、実際の現場を身近に感じながら学べる。

おおむね満足と回答した者が記載した主な理由

- * いくつかの場所を気分に合わせて使用できてよかった。
- * グループ活動や自主勉強ができるスペースが多いから。
- * ラウンジや図書館が使いやすい。
- * ラウンジが良い。でも人が多すぎる。
- * ネットワークが少し不満。
- * ラウンジのソファを増やしてほしい。
- * 雨の中図書館に少し行きづらい。
- * 図書館が遠い。
- * 看護棟の外壁や外装が少し気になります。
- * 看護棟新しくしてほしい。せめて外観だけでも。
- * 使用する教室に張り紙がされていないことがあり、使用する際に困ることがあったため。
- * 食堂を大きくしてほしい。
- * 図書館に飲食可能スペースを設けてほしい。

やや不満と回答した者が記載した主な理由

- * テニスコートが転倒しやすく危ない為。
- * もっときれいな環境で勉強したいから。
- * ルールを守ることが徹底されていないため。
- * 学生ラウンジがテスト期間埋まっており使えないことが多い。
- * 看護棟が図書館、食堂など全ての施設からキョリがあって不便、あと寒い。
- * 看護棟の机を軽いのにしてほしい。
- * 原則対面授業だから。
- * 古い、看護棟が遠い。
- * 実習室の開いている時間帯が短い。17:30以降学生課からラウンジにいけないため、雨が降っているときなどぬれる。
- * 食堂がせまい。図書館の席が少ない。

不満と回答した者が記載した主な理由

- * 看護棟だけ離れていたり、w i f i がつながりにくい。
- * 就職情報が少ない。食堂が狭い。
- * 福利棟の運営が十分に整っていない。

看護学科		2年	3年	4年	合計	
回答者数		39	43	14	96	100.0%
学生 支 援	満足	10	5	3	18	20.9%
	おおむね満足	15	19	3	37	43.0%
	やや不満	5	7	3	15	17.4%
	不満	1	4		5	5.8%
	わからない	6	4	1	11	12.8%
未記入		2	4	4	10	

注) %は、回答者数から未記入者を除いたものを母数として算出した。

【学生支援】

満足と回答した者が記載した主な理由	
<ul style="list-style-type: none"> * よく話をきいてくれた。 * 何不自由なく、生活を送れるようにしてくださっているから。 * 親切だから。 * 分からないことを聞いたらすぐに教えてもらえるから。 * 丁寧に対応してくれるため。 	
まあまあ満足と回答した者が記載した主な理由	
<ul style="list-style-type: none"> * 学生課に聞けば問題が解決することが多い。 * 少人数の担当教員制や、心理士さんによる相談の機会があるので、とてもよいが、うまく使いこなせていないのが課題です。 * 分からないことを聞きやすい。奨学金の説明がしっかりあってわかりやすかった。 * あまりよく知らない。 * 学割や証明書などすぐにだしてもらいたいです。 	
やや不満と回答した者が記載した主な理由	
<ul style="list-style-type: none"> * あらゆる連絡や決定事項が遅く、自分の予定がたてられなかったりする。 * 学外からの保健管理センターのHPへのアクセス方法が分かりにくい。 * 学生課に質問に行っても対応が分からない人が多く、時間がかかることが多い。就活の講義など、日程ぎりぎりにメールがきたり、連絡が遅く、何度か困っていました。 * 就職支援が不足していると感じるため。 * 連絡事項が遅い。 * 試験の成績結果で順位をだしてほしい。 * 学食が高い。 	

不満と回答した者が記載した主な理由

- * コロナワクチンの接種日が配慮されていない。オリエンテーションの日程や、試験日の日程をもう少し早く出してほしい。
- * ホウレンソウが出来ていない。遅い。・コロナワクチン接種後の副作用で生じる学業への影響について全く配慮されていない。自習期間中のワクチン接種なんてありえないし、学生の学業を阻害しているようにも思える。ふざけるのもほどほどにしてほしい。
- * 情報伝達が遅い。
- * 連絡が遅い、ワクチンの日程がなぜ毎度週の半ばなのか。
- * 連絡が遅すぎる。早く課外授業などの連絡をしていただかないと予定が立てられない。

わからないと回答した者が記載した主な理由

- * あまり利用したことがないので分からない。
- * 直接かかわりを実感することが少ない。
- * 利用することがほぼない。

設問 74.「授業評価実施報告書」

医学科	2年	3年	4年	5年	6年	合計	
回答者数	51	43	37	5	19	155	100.0%
印刷物で読んだ	3	2	1	1		7	4.5%
ホームページで見た	4	5	4		2	15	9.7%
知っているが内容は見ていない	13	7	10		6	36	23.2%
知らない	28	24	16	4	5	77	49.7%
未記入	3	5	6		6	20	12.9%

看護学科	2年	3年	4年	合計	
回答者数	39	43	14	96	100.0%
印刷物で読んだ	1	5		6	6.3%
ホームページで見た	2	3		5	5.2%
知っているが内容は見ていない	12	10	3	25	26.0%
知らない	22	21	7	50	52.1%
未記入	2	4	4	10	10.4%

感想・意見

- アクセスしづらい。見ていない人がほとんどなのではないか。
- どこにあるか分からない。
- 知名度が低いと思うので、もう少し広報した方がよいと感じる。
- 紙媒体を図書館においていただけると読む人が増えるかもしれません。(すでになされていたらすみません)。
- 先生の評価など共感できるのでおもしろい。と同時に、毎年学生が困らされていることは、改善していないのだと思う。
- 長かったので途中で読むのをやめた。
- それで改善されるとは思えない。
- 今日帰ったら見てみようとおもいます。
- わかりやすくまとまっていた。

2022 年度

学修・学生生活実態調査

自由記述編

自由記述編については、学生から提出された大学への意見・要望と、関係部署からの回答を掲載しました。今回提出された意見・要望は、大学の改善についての真摯な提案が数多く見受けられました。学生諸君からは今後ともボトムアップ型の組織改革に繋がるような、建設的で積極的な意見を期待しています。

1 遠隔型式併用授業について
学生からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・Zoom と対面のハイフレックス型講義の継続を希望します。Zoom の方が講義資料を見やすい時があること、録画視聴が可能だと復習やメモを取りきれなかった所の再度学習がしやすいです。 ・Zoom の録画映像を上げ忘れないようにしてほしい。
回答：学生課学部教育支援係
<p>コロナ禍を経て、遠隔授業のあり方については多々議論があるところです。</p> <p>「Zoom の方が講義資料を見やすい」、「録画視聴（オンデマンド）が可能だと復習やメモを取りきれなかった所の再度学習がしやすい」などはまさに遠隔授業のメリットだと考えます。</p> <p>ただし、一方で「学生間・学生教員間における同時双方向性が失われやすい」ことは、遠隔授業を運営するうえでの難しいポイントです。そして、同時双方向性が失われた授業は学修効果に悪影響を及ぼす可能性が想定されるほか、学生間の交流が限定的になったり、1日の多くの時間を自宅での学修時間に費やすようになっていたりすることで、精神的な不調を来す学生さんが全国的に見られるようにもなっています。</p> <p>大学としては、これらの対面授業・遠隔授業のメリット・デメリットを正しく把握し、今後の授業形態を検討していく必要があります。安易にハイフレックス型遠隔授業を継続することのお約束はできませんが、貴重なご意見として参考にさせていただきます。</p> <p>また、Zoom の録画映像のアップロードは SA が担当してくれています。アップロード対応が遅れないよう声掛けしていきますが、SA も自身の学修の合間の業務になりますので、ある程度の遅れは大目に見てもらえますと幸いです。</p>
2 講義について
学生からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に自主学習をするための時間を確保したいので、全体的な課題の量を調整してほしい。 ・可能な限り学生に目的意識を持たせながら学習させるようにしてほしい、プレッシャーを掛ける手法はしんどく感じる。自己効力感が持てるような仕組みにしてもらえると助かる。 ・グループワークにおいて、特定の学生に負担がかかりすぎないようにしてほしい。 ・自然科学入門は通年の必修科目にして、細胞生物学、分子生物学、物理学基礎、物理学概論と連動しながら授業を進めていくのが良いのではないかと思った。

回答：学生課学部教育支援係

- ・現在、学生に期待される学修時間（1単位当たり45時間とされています）に対して、同一期間中に修得しなければならない単位数が多すぎて適切な学修環境が提供できていない状況にあり、大学としても改善を検討しています。特定の科目について配慮が不足すると感じる場合は、担当教員への個別に相談してもらう方が良いかと思えます。
 - ・「学生に目的意識を持たせる」ということは授業運営上重要な要素であると考えます。大学として、今後も教員の授業の質向上に努めますが、一方で学生側としても「目的意識をもって学修する」という態度を修得していただきたいとも思えます。
 - ・「自然科学入門」は、受験の形態や高等学校の教育課程により「生物・物理・化学」のいずれかが未履修の状況にある学生に対して高校レベルの学修を提供する科目です。高校レベルの「生物・物理・化学」の知識をすでに有している学生については、学修時間を既知の知識のおさらいに充てるよりも、一歩進んだ学修の時間に充てる方が有意義だと考えるため、選択科目となっているところです。
- また、「自然科学入門を通年の必修科目にして、細胞生物学、分子生物学、物理学基礎、物理学概論と連動しながら授業を進めていく」という提案は興味深いと感じましたが、各授業に高校レベルの補足を付け加えながら授業を行うことで、現状の時間数（15回）の中で実施すれば現状よりも授業内容の水準が低下することが想定されます。そのため、やはり高校レベルのおさらいは細胞生物学、分子生物学、物理学基礎、物理学概論などの科目の予習として各自で対応していただくことが望ましいのかもしれない。
- 今後とも教育課程に関するご意見は積極的にお寄せいただくと大変助かります。学生目線ならではの意見をぜひお聞かせください。

3 進級、授業での評価について

学生からの意見

- ・真面目に授業に取り組み、予習、復習をしていれば再試験にかからずに進級できるようなシステムにしてほしい。
- ・授業中の取り組みについても加点するようにしてほしい。
- ・課題に対するフィードバックがあると助かる。

回答：学生課学部教育支援係

授業内容と本試験問題の信頼性については、大学としても改善の余地があると考えており、その検証を進めているところです。

また、授業中の能動的な態度の評価や課題に対するフィードバックについても必要性は認識しておりますので、対応していきたいと考えています。

個別の授業について改善点がある場合は是非「授業評価アンケート」にもご記載ください。

4 実習への出席について

学生からの意見

- ・臨床実習中、月1回程度は病院見学を単位認定する月を設けてもらいたい。見学が本格化する五回前期に5/2.6と盆休みしか機会がないのは他学の学生に対して不利である。また、学生を通じて全国の病院の情報を得ることは本学のためにもなると思われる。具体的には、見学先の責任者の署名を持ち帰れば出席とし、見学に出ないものは本学で従来通りの実習を受ければよい。
- ・クリクラの内科A～Cで行う外病院実習決めが1月で、私の班は2月スタートだったので、みんなバイトなどの用事の調整が大変でした。
- ・実習中に私語や居眠りをする学生はつまみ出してもらいたい。とても気が散るし意欲がそがれる。患者さん呼び捨てにする医師は学生の前に出さない方がよいと思う。学生の態度教育以前にごく一部の医師の言動を改めるべきである。

回答：学生課学部教育支援係

- ・臨床実習の休業期間が少ないという点について、まずは大学側の事情をご理解いただきたいと思います。すなわち、臨床実習の週数を一定数確保しないと本学の教育課程が国際認証を得られず、本学卒業生はUSMLEの受験資格を失ってしまうという事情です。そのため、現状の教育課程では病院見学のための休業期間を新設することができていません。また、病院見学を「臨床実習（ローテーション）」の単位として読替えを行うという提案についてですが、単位の読替えは「読み替え先の授業科目と同等の学修効果があること」が前提となります。このことを考慮すれば、「病院見学で得られる効用」と「診療参加型臨床実習における学修効果」に互換性が認められるとは言えないと思いますので、解決策として単位の読替えという方法は適切ではないと考えます。しかし、大学としても皆さんの就職活動を妨害するつもりは一切ありませんので、大学側の事情と学生側の提案の落としどころを見つけていければと思います。臨床実習の運営に関する委員会組織である「クリニカルクラークシップWG」には学生委員も参加いただいておりますので、議題の提案等をしていただき、皆さんとの積極的な議論ができればと期待します。
- ・地域医療教育研究拠点病院の割振りについては、確かに直前での割振になっており、皆さんに負担がかかっていると認識しています。とはいえ、「特定の診療科を拠点病院で経験したい」などの意向がある可能性も考慮すれば、大学側で一概に決めることもはばかられます。学生目線の意見を教えていただくと大変助かります。
- ・実習中の学生の態度に問題を感じた際は、仮に不本意であったとしても実習班はチームですので、チームの一員として相互に注意しあっていただきたいと考えます。対人スキルや調整能力は卒業してからも必要になるとともに日本の大学卒業者が備えるべきジェネリックスキルです。また、指導医に問題があると感じた際は、その都度報告いただければ対応できるかと思っておりますのでお知らせください。

<p>5 実習先の決め方について</p>
<p>学生からの意見</p>
<p>・外病院実習の決め方について、ランダム関数でつけた番号順に選んでいくのはいいと思いますが、優先権を取得した人はあらかじめ理由と実習先を公表すべきではないかと思えます。でないと、単に遠いからいやだという人がでてくるからです。遠い所がいやなのはみんな同じです。また、どこの実習先がすでに埋まっているのか分からないと不便だからです。家庭の事情などで遠い所に行けないのは仕方ないので、そのような人は学内アドバンスの決定の優先順位が低くなるなど、学外臨床実習で自分の好きな所をきめられるかわりに、別のことで他の学生が優先されることがないと、学年全体の不満が募ると思えます。</p>
<p>回答：学生課学部教育支援係</p>
<p>学外臨床実習の実習先の決め方については、毎年度対象学年に前年度の割振方法を参考として示したうえで決定の方法をお任せしています。</p> <p>そのため、必ずしも前年度の割振方法を踏襲する必要はありませんし、学年全体が納得できる方法があれば大学としてはそれを妨げることはしません。</p> <p>何か希望の割振方法があれば、その方法で割振を行えるよう準備しますので、学生課までご相談ください。</p>
<p>6 外病院実習の交通費について</p>
<p>学生からの意見</p>
<p>・クリクラやアドボリの外病院実習は大学のカリキュラムの一環だと思うので、宿泊費・交通費は学生ではなく大学が負担してほしいです。</p>
<p>回答：学生課学部教育支援係</p>
<p>臨床実習（ローテーション）における地域医療教育研究拠点までの交通費は大学から、診療所実習に関する交通費は後援会から支援されている状況かと思えます。オリエンテーションでも周知していますが、利用されていない場合はご参考ください。</p> <p>なお、実習等における費用に関しては、その負担方法（大学からの補助、受益者負担の原理による学生の負担、など）を見直す必要性は感じておりますので、検討していければと思います。</p>

<p>7 実習の中止について</p>
<p>学生からの意見</p>
<p>・国家試験において臨床実習の経験に基づく問題が多く出題されるようになってきている以上、コロナを理由に実習を中止すべきではない。またOSCEに役立つ経験も何一つできなかった。新卒者の国試合格率が今年低かったのも納得。</p>
<p>回答：学生課学部教育支援係</p>
<p>「コロナを理由に実習を中止すべきではない」という認識は大学としても持っており、コロナ禍においても可能な限り実習を継続できるよう附属病院と協議を行ってまいりました。しかし、院内における患者間でのクラスター発生、それによる病棟閉鎖や本院職員の新型コロナウイルス罹患による深刻な人員不足などにより、一時的に院内での実習に対応できない状況が発生してしまいました。</p> <p>そのような環境下においても、各診療科ではペーパーペイシェントを用いた臨床推論トレーニングなど必要最低限の代替措置を取っており、大学としても臨床手技データベース等の契約により皆さんの学修が完全に止まってしまうよう対応していたところであります。対応が不十分であったことは申し訳なく感じると思いますが、「OSCEに役立つ経験が何一つできなかった」という状況については、大学が提供した最低限の学修機会や大学が提供しえなかったが自己学習で補える可能性があった学修機会を十分に活用できていなかったのではないかと感じざるを得ません。</p>
<p>8 実習のあり方について</p>
<p>学生からの意見</p>
<p>・実習をただ単に長時間病院に見学と称して拘束している診療科も多かった。実際に話したり手を動かしたりして、経験したいことも多かったがそのような機会はなかった。</p>
<p>回答：学部教育支援係</p>
<p>その実習体形になってしまっていたのはコロナによる影響だったのでしょうか。</p> <p>コロナ禍の制限によって実際の患者さんとの接触が制限されるなどの状況があったとしても、シミュレータ実習の実施など代替措置などは可能かと思えます（診療科の人員不足等個別の事情があった場合はこのとおりではないとも思いますが）。</p> <p>「実際に話したり手を動かしたりして経験したいことも多かった」という意見はその場で、もしくは実習担当者へ直接言えなかったとしても学生課や実習統括教員へ伝えていただいたでしょうか。</p> <p>診療科が実習の質を担保する責任があることは言うまでもありませんが、学生としても与えられた環境にただ甘んじるのではなく、能動的に自らの学修をアレンジできる態度も重要だと考えます。</p> <p>大学としても教育の質の担保に努めますが、学生の立場としても授業や実習に改善の余地があると感じる場合、能動的に行動するよう心がけてください。</p>

9 多目的教室の利用について	
学生からの意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・多目的教室を24時間使わせてほしい。 	
回答：学生課学部教育支援係	
<p>「24時間の利用」とは、どのような用途を想定されているのでしょうか。RFLの運営など、適当な理由がある場合には許可をしている実績はありますのでご相談ください。</p>	

10 証明書の発行について	
学生からの意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・証明書を即日発行してもらいたいです。 ・他大学のように機械を導入してもらえたら便利で使いやすいと思います。 	
回答：学生課	
<ul style="list-style-type: none"> ・学割証については、原則翌窓口業務日発行とさせていただいておりますが、事情により必要な場合は可能な限り対応させていただきますので、当日必要である旨をお伝えください。 ・各種証明書の自動発行機は、現在導入に向けて予算折衝中です。 	

11 自動車通学、駐車場利用について	
学生からの意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 車通学を可能にしてほしい。 ・ 5年生も実習で朝が早いので車 OK にしてほしい。 ・ 土日祝日は駐車場の開放または、駐車料金を通常よりも安価にしてもらいたいと思っています。 	
回答：学生支援係	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 5年生の実習は早朝開始の場合は自動車利用を許可し、割引処理をしています。 ・ 土日開放や料金の変更は他の利用者との兼ね合いもあり困難です。 	

12 課外活動全般について	
学生からの意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 課外活動の再開が可能となるための具体的な指標を示してほしいです。 ・ 課外活動に関する報告が遅い。 	
回答：学生支援係	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 課外活動の再開については、国内・近隣府県・滋賀県内・学内等の状況を総合的に勘案して決定します。そのため、具体的な指標を示すことが難しいことをご理解いただければと思います。 ・ 報告の遅れについて、申し訳ございません。上記のとおり、様々な状況を総合的に勘案するため、どうしても通知に遅れが生じることがあります。可能な限り迅速に対応します。 	

13 課外活動施設について	
学生からの意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・テニスコートをきれいにしてください。特にハードコートをきれいにしてください。 ・部活動の施設を充実させてほしい。 	
回答：学生支援係	
<ul style="list-style-type: none"> ・テニスコートについては、段階的にはではありますが修繕を予定しています。 ・施設の拡張は敷地に限りがあるため困難ですが、現存の施設について気になる点がありましたらご相談ください。 	

14 学生ラウンジの利用方法について	
学生からの意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・学生ラウンジを 24 時間利用にしてほしい。 ・ラウンジで飲食ありにしてほしい。勉強中食べながらの方が集中できる。 	
回答：学生支援係	
<p>・一般教養棟学生ラウンジは福利厚生施設のひとつであり、福利厚生施設の使用時間は午前 8 時～午後 10 時と定められているため不可です。</p> <p>(参照：国立大学法人滋賀医科大学福利厚生施設使用規程第 6 条第 2 号)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、新型コロナウイルス感染拡大防止のため飲食を禁止しています。今後の状況次第では飲食を可能にすることも検討しています。 	

15	ロッカーの利用について
	学生からの意見
	<ul style="list-style-type: none"> ・ロッカーが人のよく通る位置にあって、部活の時に着替えるのが大変だったので、更衣スペースがあれば便利だと思いました。
	回答：学生支援係
	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館等使用団体の場合は、その更衣室を利用するなどの対応をお願いします。

16	就職コーナーについて
	学生からの意見
	<ul style="list-style-type: none"> ・看護学科棟の就職情報コーナーを増やしてほしい。
	回答：学生支援係
	<ul style="list-style-type: none"> ・施設面の関係から拡張はできませんが、内容の拡充に今後も努めたいと思います。

17 目安箱の設置について
学生からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・目安箱がほしい
回答：学生支援係
<p>・いただいたご意見に回答するためにも、匿名でない形でのご意見を求めているため、現在はメールで対応しています。</p> <p>ご意見がありましたら、hqsoudan@belle.shiga-med.ac.jp にメールをお願いします。</p>

18 中庭のレンガについて
学生からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・キャンパス内のレンガ舗装路は雨天時に滑りやすいため、滑りにくい素材を用いて再舗装してほしい。 ・大学の中庭がレンガ造りから芝生になるという噂があるのですが本当ですか？今のままがいい。
回答：施設課、総務企画課
<p>・開学50周年事業として、令和5,6年度に中庭は改修を予定しております。開学50周年記念事業準備委員会にて、芝生とインターロッキング舗装に改修されることが決まりました（インターロッキング舗装とは、舗装用の着色されたコンクリートブロックを敷き詰める舗装方法です）。</p>

19 駐輪場について
学生からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・駐輪場をもっと増やしてほしい。
回答：施設課
<p>駐輪場については、今年度の調査で体育館横の駐輪場等はかなりの空きスペースがあることを確認しています。構内の駐輪場の空きスペース（特に体育館横）に駐輪いただき、構内は徒歩移動に心掛けてもらえればと思います。</p> <p>また、ガソリンを燃料とする原付や自動二輪の置場は、関係法令の規制があることから駐輪場の増設は容易ではないことをご理解願います。</p>
20 看護学科棟について
学生からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・看護学科棟の外観をもっときれいにしてほしい。
回答：施設課
<p>インフラ長寿命化計画 2022 において、2024 年に外壁改修を計画しています。但し、予算採択の状況により、改修時期が変更になる可能性があります。</p>

21 コンビニやカフェの設置について
学生からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・学生のアクセスしやすいところにコンビニやカフェがあるといいように感じます。
回答：施設課、総務企画課
<ul style="list-style-type: none"> ・施設課の業務分掌外のためお答えできません。 <p>※「学生のためのコンビニ・カフェ」であれば、学生課で企画・立案し、事務局関係部署等と協議した後、学生関係委員会に諮り、企画競争等により選定をしていく流れになるのではないかと考えます。</p> <p>よって、まずは学生課にて要否の検討が必要と考えます。</p>
22 福利棟食堂について
学生からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・食堂を広げてほしい。
回答：施設課、総務企画課
<p>開学50周年事業として、令和6年度に福利棟食堂の改修を予定しており、増席の予定です。</p>

23 食堂のメニューについて
学生からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・学食の麺類を復活させてほしいです。 ・麺類を昼休みに食べたいです。 ・食堂のうどん復活してほしい。
回答：生協
<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>生協の二見です。</p> <p>麺類については生協としても復活をしたい所存です。</p> <p>ただ、現状求人状況が変わらず、生協の食堂部門の最低価格を引き上げ、少しでも応募を増やそうと努力をしております。</p> <p>毎月求人を出しておりますので生協としても求人の費用が多くかかっており、少しでも早く人材を確保したいと思っております。</p>
24 学食の値段について
学生からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・学食が高いと思うのでもう少し安くしてほしい。
回答：生協
<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>生協の二見です。</p> <p>学食の値段については希望にお答えできません。</p> <p>食堂の商品価格については全国の大学生協で統一して決定しており、滋賀医科大学生協だけで対応する事は基本的にはできません。</p> <p>昨今、物価高、輸入高、円安などの影響から原材料費や運送費も高騰しており、生協の商品価格を安く提供する事は難しくなっています。</p> <p>この間、大津市による「市内大学大学生食糧支援事業補助金」や大学の「新型コロナウイルス感染症拡大に係る経済支援」など、生協以外の行政や大学の努力により、学生にとって利用しやすいお値段での提供</p>

をさせていただいております。

コロナ禍以降、対面とオンラインのハイブリット授業を皮切りに、生協購買、食堂の利用が減少し、

大学生協の経営は直近3年間は非常に厳しく、累積の黒字を切り崩し、おそらく今年度で赤字に転落します。

滋賀医大生協単体での値段変更については少なくとも黒字転換をしない限りはできません。

今後とも生協のご利用をどうぞよろしくお願いいたします。

25 食堂の利用率向上について

学生からの意見

・食料品の充実、営業時間・日程の拡大など、学生や教職員が使いやすいと感じる食堂が利用率のUPにつながると思います。

回答：生協

ご意見ありがとうございます。

生協の二見です。

営業時間や日程の拡大については現状考えておりません。

生協の営業時間については時間帯別の客数確認をしており、例えば購買ですと18時以降の客数は1桁台になることが多いです。

食堂の夕食営業については、水光熱費や材料費、人件費を鑑みると最低でも80人以上の客数が無いと赤字が発生する中で

平均客数は一年間を通して40名ほどで営業をしております。（一年間で200万円以上の赤字要因が夕食営業です。）

夕食営業を休止することが生協の経営回復の最善策になるほどに営業時間はぎりぎりのところで営業しているのが現状です。

学生の皆様の福利厚生を担う機関ではありますが、生協を存続させることを最優先に考えると営業時間や日程の拡大は出来かねます。

商品の種類については少しでも皆様に満足いただけるように生協が納品できうる商品を隔週で納品しております。

さらに満足いただけますように新商品の毎週納品を検討いたします。

26 インターネットサービスの充実について
学生からの意見
<p>・このアンケートをはじめ、紙媒体のものも多く電子化が進んでいない。インターネットサービス（WebClass、Office365 の利用など）の充実が不十分。</p>
回答：情報課
<p>情報課としましては WebClass 等、電子化にあたって使用可能なサービスを提供しているところです。学生の皆様と関わる部署等におきまして、これらのサービスを活用していただけるよう、周知等させていただきます。</p> <p>現在、学術情報基盤システムの更新を行っているところです。Office365 については、学生の皆様に使っていただけるよう準備しておりますので、お待ちください。</p>

27 学内限定サイトについて
学生からの意見
<p>・学内メールからアクセスできるサイトが大抵学内からでしか開けないのを何とかしてほしい。</p>
回答：情報課
<p>情報セキュリティの観点から、学外よりアクセスできる範囲が限定されているところで、利便性、セキュリティのいずれを優先させるかは難しい問題であります。当課が担当している附属図書館及びマルチメディアセンターのホームページのうち、学外からアクセスしたいページがありましたら、ご教示いただければ、対応を検討させていただきます。</p>

2022年度滋賀医科大学 学習・学生生活実態調査報告書

発行年月：2023年2月

編集発行：滋賀医科大学 医学・看護学教育センター
〒520-2192 大津市瀬田月輪町

Tel 077-548-2070（学生課）

